

# 軌道最適化による動作生成 リファレンスマニュアル

平成 31 年 7 月 22 日

室岡雅樹

murooka@jsk.t.u-tokyo.ac.jp

## 目 次

1 軌道最適化による動作生成の基礎	1
1.1 タスク関数のノルムを最小にするコンフィギュレーションの探索	1
1.2 コンフィギュレーション二次形式の正則化項の追加	2
1.3 コンフィギュレーション更新量の正則項の追加	3
1.4 ソースコードと数式の対応	3
1.5 章の構成	4
2 コンフィギュレーションとタスク関数	4
2.1 瞬時コンフィギュレーションと瞬時タスク関数	4
2.2 軌道コンフィギュレーションと軌道タスク関数	22
3 勾配を用いた制約付き非線形最適化	29
3.1 逐次二次計画法	29
3.2 複数解候補を用いた逐次二次計画法	30
3.2.1 複数解候補を用いた逐次二次計画法の理論	30
3.2.2 複数解候補を用いた逐次二次計画法の実装	35
4 動作生成の拡張	35
4.1 マニピュレーションの動作生成	35
4.2 B スプラインを用いた関節軌道生成	46
4.2.1 B スプラインを用いた関節軌道生成の理論	46
4.2.2 B スプラインを用いた関節軌道生成の実装	55
4.3 B スプラインを用いた動的動作の生成	67
4.4 離散的な幾何目標に対する逆運動学計算	96
4.4.1 離散的な幾何目標に対する逆運動学計算の理論	96
4.4.2 離散的な幾何目標に対する逆運動学計算の実装	98

<b>5 補足</b>	<b>99</b>
5.1 既存のロボット基礎クラスの拡張 . . . . .	99
5.2 環境と接触するロボットの関節・リンク構造 . . . . .	102
5.3 irteus の inverse-kinematics 互換関数 . . . . .	104
5.4 関節トルク勾配の計算 . . . . .	109

# 1 軌道最適化による動作生成の基礎

## 1.1 タスク関数のノルムを最小にするコンフィギュレーションの探索

$q \in \mathbb{R}^{n_q}$  を設計対象のコンフィギュレーションとする。例えば一般的な逆運動学計算では、 $q$  はある瞬間のロボットの関節角度を表すベクトルで、コンフィギュレーションの次元  $n_q$  はロボットの関節自由度数となる。

動作生成問題を、所望のタスクに対応するタスク関数  $e(q) : \mathbb{R}^{n_q} \rightarrow \mathbb{R}^{n_e}$  について、次式を満たす  $q$  を得ることとして定義する。

$$e(q) = 0 \quad (1.1)$$

例えば一般的な逆運動学計算では、 $e(q)$  はエンドエフェクタの目標位置姿勢と現在位置姿勢の差を表す 6 次元ベクトルである。非線形方程式 (1.1) の解を解析的に得ることは難しく、反復計算による数値解法が採られる。式 (1.1) が解をもたないときでも最善のコンフィギュレーションを得られるように一般化すると、式 (1.1) の求解は次の最適化問題として表される<sup>1</sup>。

$$\min_{\mathbf{q}} F(\mathbf{q}) \quad (1.2a)$$

$$\text{where } F(\mathbf{q}) \stackrel{\text{def}}{=} \frac{1}{2} \|e(\mathbf{q})\|^2 \quad (1.2b)$$

コンフィギュレーションが最小値  $q_{min}$  と最大値  $q_{max}$  の間に含まれる必要があるとき、逆運動学計算は次の制約付き非線形最適化問題として表される。

$$\min_{\mathbf{q}} F(\mathbf{q}) \quad \text{s.t. } q_{min} \leq \mathbf{q} \leq q_{max} \quad (1.3)$$

例えば一般的な逆運動学計算では、 $q_{min}, q_{max}$  は関節角度の許容範囲の最小値、最大値を表す。以降では、式 (1.3) の制約を、より一般の形式である線形等式制約、線形不等式制約として次式のように表す<sup>2</sup>。

$$\min_{\mathbf{q}} F(\mathbf{q}) \quad (1.4a)$$

$$\text{s.t. } \mathbf{A}\mathbf{q} = \bar{\mathbf{b}} \quad (1.4b)$$

$$\mathbf{C}\mathbf{q} \geq \bar{\mathbf{d}} \quad (1.4c)$$

制約付き非線形最適化問題の解法のひとつである逐次二次計画法では、次の二次計画問題の最適解として得られる  $\Delta q_k^*$  を用いて、 $q_{k+1} = q_k + \Delta q_k^*$  として反復更新することで、式 (1.4) の最適解を導出する<sup>3</sup>。

$$\min_{\Delta \mathbf{q}_k} F(\mathbf{q}_k) + \nabla F(\mathbf{q}_k)^T \Delta \mathbf{q}_k + \frac{1}{2} \Delta \mathbf{q}_k^T \nabla^2 F(\mathbf{q}_k) \Delta \mathbf{q}_k \quad (1.5a)$$

$$\text{s.t. } \mathbf{A}\Delta \mathbf{q}_k = \bar{\mathbf{b}} - \mathbf{A}\mathbf{q}_k \quad (1.5b)$$

$$\mathbf{C}\Delta \mathbf{q}_k \geq \bar{\mathbf{d}} - \mathbf{C}\mathbf{q}_k \quad (1.5c)$$

<sup>1</sup> 任意の半正定値行列  $\mathbf{W}$  に対して、 $\|e(\mathbf{q})\|_{\mathbf{W}}^2 = e(\mathbf{q})^T \mathbf{W} e(\mathbf{q}) = e(\mathbf{q})^T S^T S e(\mathbf{q}) = \|Se(\mathbf{q})\|^2$  を満たす  $S$  が必ず存在するので、式 (1.2b) は任意の重み付きノルムを表現可能である。

<sup>2</sup> 式 (1.3) における関節角度の最小値、最大値に関する制約は次式のように表される。

$$\begin{aligned} & q_{min} \leq \mathbf{q} \leq q_{max} \\ \Leftrightarrow & \begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \end{pmatrix} \mathbf{q} \geq \begin{pmatrix} q_{min} \\ -q_{max} \end{pmatrix} \end{aligned}$$

<sup>3</sup> 式 (1.5a) は  $F(\mathbf{q})$  を  $q_k$  の周りでテーラー展開し三次以下の項を省略したものに一致する。逐次二次計画法については、以下の書籍の 18 章で詳しく説明されている。

Numerical optimization, S. Wright and J. Nocedal, Springer Science, vol. 35, 1999, [http://www.xn--vjq503akpc03w.top/literature/Nocedal\\_Wright\\_Numerical\\_optimization\\_v2.pdf](http://www.xn--vjq503akpc03w.top/literature/Nocedal_Wright_Numerical_optimization_v2.pdf).

$\nabla F(\mathbf{q}_k), \nabla^2 F(\mathbf{q}_k)$  はそれぞれ ,  $F(\mathbf{q}_k)$  の勾配 , ヘッセ行列<sup>4</sup> で , 次式で表される .

$$\nabla F(\mathbf{q}) = \left( \frac{\partial e(\mathbf{q})}{\partial \mathbf{q}} \right)^T e(\mathbf{q}) \quad (1.6a)$$

$$= \mathbf{J}(\mathbf{q})^T e(\mathbf{q}) \quad (1.6b)$$

$$\nabla^2 F(\mathbf{q}) = \sum_{i=1}^m e_i(\mathbf{q}) \nabla^2 e_i(\mathbf{q}) + \left( \frac{\partial e(\mathbf{q})}{\partial \mathbf{q}} \right)^T \frac{\partial e(\mathbf{q})}{\partial \mathbf{q}} \quad (1.6c)$$

$$\approx \left( \frac{\partial e(\mathbf{q})}{\partial \mathbf{q}} \right)^T \frac{\partial e(\mathbf{q})}{\partial \mathbf{q}} \quad (1.6d)$$

$$= \mathbf{J}(\mathbf{q})^T \mathbf{J}(\mathbf{q}) \quad (1.6e)$$

ただし ,  $e_i(\mathbf{q})$  ( $i = 1, 2, \dots, m$ ) は  $e(\mathbf{q})$  の  $i$  番目の要素である . 式 (1.6c) から式 (1.6d) への変形では  $e(\mathbf{q})$  の二階微分がゼロであると近似している .  $\mathbf{J}(\mathbf{q}) \stackrel{\text{def}}{=} \frac{\partial e(\mathbf{q})}{\partial \mathbf{q}} \in \mathbb{R}^{n_e \times n_q}$  は  $e(\mathbf{q})$  のヤコビ行列である .

式 (1.6a) , 式 (1.6d) から式 (1.5a) の目的関数は次式で表される<sup>5</sup> .

$$\frac{1}{2} \mathbf{e}_k^T \mathbf{e}_k + \mathbf{e}_k^T \mathbf{J}_k \Delta \mathbf{q}_k + \frac{1}{2} \Delta \mathbf{q}_k^T \mathbf{J}_k^T \mathbf{J}_k \Delta \mathbf{q}_k \quad (1.7a)$$

$$= \frac{1}{2} \| \mathbf{e}_k + \mathbf{J}_k \Delta \mathbf{q}_k \|^2 \quad (1.7b)$$

ただし ,  $\mathbf{e}_k \stackrel{\text{def}}{=} e(\mathbf{q}_k), \mathbf{J}_k \stackrel{\text{def}}{=} \mathbf{J}(\mathbf{q}_k)$  とした .

結局 , 逐次二次計画法で反復的に解かれる二次計画問題 (1.5) は次式で表される .

$$\min_{\Delta \mathbf{q}_k} \frac{1}{2} \Delta \mathbf{q}_k^T \mathbf{J}_k^T \mathbf{J}_k \Delta \mathbf{q}_k + \mathbf{e}_k^T \mathbf{J}_k \Delta \mathbf{q}_k \quad (1.8a)$$

$$\text{s.t. } \mathbf{A} \Delta \mathbf{q}_k = \mathbf{b} \quad (1.8b)$$

$$\mathbf{C} \Delta \mathbf{q}_k \geq \mathbf{d} \quad (1.8c)$$

ここで ,

$$\mathbf{b} = \bar{\mathbf{b}} - \mathbf{A} \mathbf{q}_k \quad (1.9)$$

$$\mathbf{d} = \bar{\mathbf{d}} - \mathbf{C} \mathbf{q}_k \quad (1.10)$$

とおいた .

## 1.2 コンフィギュレーション二次形式の正則化項の追加

式 (1.2a) の最適化問題の目的関数を , 次式の  $\hat{F}(\mathbf{q})$  で置き換える .

$$\hat{F}(\mathbf{q}) = F(\mathbf{q}) + F_{reg}(\mathbf{q}) \quad (1.11)$$

$$\text{where } F_{reg}(\mathbf{q}) = \frac{1}{2} \mathbf{q}^T \bar{\mathbf{W}}_{reg} \mathbf{q} \quad (1.12)$$

目的関数  $\hat{F}(\mathbf{q})$  の勾配 , ヘッセ行列は次式で表される .

$$\nabla \hat{F}(\mathbf{q}) = \nabla F(\mathbf{q}) + \nabla F_{reg}(\mathbf{q}) \quad (1.13a)$$

$$= \mathbf{J}(\mathbf{q})^T e(\mathbf{q}) + \bar{\mathbf{W}}_{reg} \mathbf{q} \quad (1.13b)$$

$$\nabla^2 \hat{F}(\mathbf{q}) = \nabla^2 F(\mathbf{q}) + \nabla^2 F_{reg}(\mathbf{q}) \quad (1.13c)$$

$$\approx \mathbf{J}(\mathbf{q})^T \mathbf{J}(\mathbf{q}) + \bar{\mathbf{W}}_{reg} \quad (1.13d)$$

<sup>4</sup>式 (1.5a) の  $\nabla^2 F(\mathbf{q}_k)$  の部分は一般にはラグランジュ関数の  $\mathbf{q}_k$  に関するヘッセ行列であるが , 等式・不等式制約が線形の場合は  $F(\mathbf{q}_k)$  のヘッセ行列と等価になる .

<sup>5</sup>式 (1.7b) は , 以下の論文で紹介されている二次計画法によってコンフィギュレーション速度を導出する逆運動学解法における目的関数と一致する .

Feasible pattern generation method for humanoid robots, F. Kanehiro et al., Proceedings of the 2009 IEEE-RAS International Conference on Humanoid Robots, pp. 542-548, 2009.

したがって、式 (1.8) の二次計画問題は次式で表される。

$$\min_{\Delta \mathbf{q}_k} \frac{1}{2} \Delta \mathbf{q}_k^T (\mathbf{J}_k^T \mathbf{J}_k + \bar{\mathbf{W}}_{reg}) \Delta \mathbf{q}_k + (\mathbf{J}_k^T \mathbf{e}_k + \bar{\mathbf{W}}_{reg} \mathbf{q}_k)^T \Delta \mathbf{q}_k \quad (1.14a)$$

$$\text{s.t. } \mathbf{A} \Delta \mathbf{q}_k = \mathbf{b} \quad (1.14b)$$

$$\mathbf{C} \Delta \mathbf{q}_k \geq \mathbf{d} \quad (1.14c)$$

### 1.3 コンフィギュレーション更新量の正則項の追加

Gauss-Newton 法と Levenberg-Marquardt 法の比較を参考に、式 (1.14a) の二次形式項の行列に、次式のように微小な係数をかけた単位行列を加えると、一部の適用例について逐次二次計画法の収束性が改善された<sup>6</sup>。

$$\min_{\Delta \mathbf{q}_k} \frac{1}{2} \Delta \mathbf{q}_k^T (\mathbf{J}_k^T \mathbf{J}_k + \bar{\mathbf{W}}_{reg} + \lambda \mathbf{I}) \Delta \mathbf{q}_k + (\mathbf{J}_k^T \mathbf{e}_k + \bar{\mathbf{W}}_{reg} \mathbf{q}_k)^T \Delta \mathbf{q}_k \quad (1.15a)$$

$$\text{s.t. } \mathbf{A} \Delta \mathbf{q}_k = \mathbf{b} \quad (1.15b)$$

$$\mathbf{C} \Delta \mathbf{q}_k \geq \mathbf{d} \quad (1.15c)$$

改良誤差減衰最小二乗法<sup>7</sup>を参考にすると、 $\lambda$ は次式のように決定される。

$$\lambda = \lambda_r F(\mathbf{q}_k) + w_r \quad (1.16)$$

$\lambda_r$  と  $w_r$  は正の定数である。

### 1.4 ソースコードと数式の対応

$$\mathbf{W}_{reg} \stackrel{\text{def}}{=} \bar{\mathbf{W}}_{reg} + \lambda \mathbf{I} \quad (1.17a)$$

$$\mathbf{v}_{reg} \stackrel{\text{def}}{=} \bar{\mathbf{W}}_{reg} \mathbf{q}_k \quad (1.17b)$$

とすると、式 (1.15) は次式で表される。

$$\min_{\Delta \mathbf{q}_k} \frac{1}{2} \Delta \mathbf{q}_k^T (\mathbf{J}_k^T \mathbf{J}_k + \mathbf{W}) \Delta \mathbf{q}_k + (\mathbf{J}_k^T \mathbf{e}_k + \mathbf{v}_{reg})^T \Delta \mathbf{q}_k \quad (1.18a)$$

$$\text{s.t. } \mathbf{A} \Delta \mathbf{q}_k = \mathbf{b} \quad (1.18b)$$

$$\mathbf{C} \Delta \mathbf{q}_k \geq \mathbf{d} \quad (1.18c)$$

第 2 節や第 4 章で説明する *\*\*\*-configuration-task* クラスのメソッドは式 (1.18) 中の記号と以下のように対応している。

:config-vector	get $\mathbf{q}$
:set-config	set $\mathbf{q}$
:task-value	get $\mathbf{e}(\mathbf{q})$
:task-jacobian	get $\mathbf{J}(\mathbf{q}) \stackrel{\text{def}}{=} \frac{\partial \mathbf{e}(\mathbf{q})}{\partial \mathbf{q}}$
:config-equality-constraint-matrix	get $\mathbf{A}$
:config-equality-constraint-vector	get $\mathbf{b}$
:config-inequality-constraint-matrix	get $\mathbf{C}$
:config-inequality-constraint-vector	get $\mathbf{d}$
:regular-matrix	get $\mathbf{W}_{reg}$
:regular-vector	get $\mathbf{v}_{reg}$

<sup>6</sup>これは、最適化における信頼領域 (trust region) に関連している。

<sup>7</sup> Levenberg-Marquardt 法による可解性を問わない逆運動学、杉原 知道、日本ロボット学会誌、vol. 29, no. 3, pp. 269-277, 2011.

## 1.5 章の構成

第2章では、コンフィギュレーション  $q$  の取得・更新、タスク関数  $e(q)$  の取得、タスク関数のヤコビ行列  $J(q) \stackrel{\text{def}}{=} \frac{\partial e(q)}{\partial q}$  の取得、コンフィギュレーションの等式・不等式制約  $A, b, C, d$  の取得のためのクラスを説明する。第2.1節ではコンフィギュレーション  $q$  が瞬時の情報、第2.2節ではコンフィギュレーション  $q$  が時系列の情報を表す場合をそれぞれ説明する。

第3章では、第2章で説明されるクラスを用いて逐次二次計画法により最適化を行うためのクラスを説明する。

第4章では、用途に応じて拡張されたコンフィギュレーションとタスク関数のクラスを説明する。第4.1節では、マニピュレーションのために、ロボットに加えて物体のコンフィギュレーションを計画する場合を説明する。第4.2節では、ロボットの関節位置の軌道をBスプライン関数でパラメトリックに表現する場合を説明する。いずれにおいても、最適化では第3章で説明された逐次二次計画法のクラスが利用される。

第5章では、その他の補足事項を説明する。第5.1節では、jskeusで定義されているクラスの拡張について説明する。第5.2節では、環境との接触を有するロボットの問題設定を記述するためのクラスについて説明する。第5.4節では、関節トルクを関節角度で微分したヤコビ行列を導出するための関数について説明する。

## 2 コンフィギュレーションとタスク関数

### 2.1 瞬時コンフィギュレーションと瞬時タスク関数

#### instant-configuration-task

[class]

```

:super    propertied-object
:slots    (_robot-env robot-environment instance)
          (_theta-vector  $\theta$  [rad] [m])
          (_wrench-vector  $\hat{w}$  [N] [Nm])
          (_torque-vector  $\tau$  [Nm])
          (_phi-vector  $\phi$  [rad] [m])
          (_num-kin  $N_{kin} := |\mathcal{T}^{kin-trg}| = |\mathcal{T}^{kin-att}|$ )
          (_num-contact  $N_{cnt} := |\mathcal{T}^{cnt-trg}| = |\mathcal{T}^{cnt-att}|$ )
          (_num-variant-joint  $N_{var-joint} := |\mathcal{J}_{var}|$ )
          (_num-invariant-joint  $N_{invar-joint} := |\mathcal{J}_{invar}|$ )
          (_num-drive-joint  $N_{drive-joint} := |\mathcal{J}_{drive}|$ )
          (_num-posture-joint  $N_{posture-joint} := |\mathcal{J}_{posture}|$ )
          (_num-external  $N_{ex} := \text{number of external wrenches}$ )
          (_num-collision  $N_{col} := \text{number of collision check pairs}$ )
          (_dim-theta  $\dim(\theta) = N_{var-joint}$ )
          (_dim-wrench  $\dim(\hat{w}) = 6N_{cnt}$ )
          (_dim-torque  $\dim(\tau) = N_{drive-joint}$ )
          (_dim-phi  $\dim(\phi) = N_{invar-joint}$ )
          (_dim-variant-config  $\dim(\mathbf{q}_{var})$ )
          (_dim-invariant-config  $\dim(\mathbf{q}_{invar})$ )
          (_dim-config  $\dim(\mathbf{q})$ )
          (_dim-task  $\dim(e)$ )
          (_kin-scale-mat-list  $K_{kin}$ )
          (_target-posture-scale-list  $k_{posture}$ )

```

```

(_norm-regular-scale-max  $k_{max}$ )
(_norm-regular-scale-coeff  $k_{coeff}$ )
(_norm-regular-scale-offset  $k_{off}$ )
(_torque-regular-scale  $k_{trq}$ )
(_wrench-maximize-scale  $k_{w-max}$ )
(_variant-joint-list  $\mathcal{J}_{var}$ )
(_invariant-joint-list  $\mathcal{J}_{invar}$ )
(_drive-joint-list  $\mathcal{J}_{drive}$ )
(_kin-target-coords-list  $\mathcal{T}^{kin-trg}$ )
(_kin-attention-coords-list  $\mathcal{T}^{kin-att}$ )
(_contact-target-coords-list  $\mathcal{T}^{cnt-trg}$ )
(_contact-attention-coords-list  $\mathcal{T}^{cnt-att}$ )
(_variant-joint-angle-margin margin of  $\theta$  [deg] [mm])
(_invariant-joint-angle-margin margin of  $\phi$  [deg] [mm])
(_delta-linear-joint trust region of linear joint configuration [mm])
(_delta-rotational-joint trust region of rotational joint configuration [deg])
(_contact-constraint-list list of contact-constraint instance)
(_posture-joint-list  $\mathcal{J}_{posture}$ )
(_posture-joint-angle-list  $\bar{\theta}^{trg}$ )
(_external-wrench-list  $\{\mathbf{w}_1^{ex}, \mathbf{w}_2^{ex}, \dots, \mathbf{w}_{N_{ex}}^{ex}\}$ )
(_external-coords-list  $\{T_1^{ex}, T_2^{ex}, \dots, T_{N_{ex}}^{ex}\}$ )
(_wrench-maximize-direction-list  $\{\mathbf{d}_1^{w-max}, \mathbf{d}_2^{w-max}, \dots, \mathbf{d}_{N_{cnt}}^{w-max}\}$ )
(_collision-pair-list list of bodyset-link or body pair)
(_collision-distance-margin-list list of collision distance margin)
(_only-kinematics? whether to consider only kinematics or not)
(_variant-task-jacobi buffer for  $\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}_{var}}$ )
(_invariant-task-jacobi buffer for  $\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}_{invar}}$ )
(_task-jacobi buffer for  $\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}}$ )
(_collision-theta-inequality-constraint-matrix buffer for  $\mathbf{C}_{col,\theta}$ )
(_collision-phi-inequality-constraint-matrix buffer for  $\mathbf{C}_{col,\phi}$ )
(_collision-inequality-constraint-vector buffer for  $\mathbf{C}_{col}$ )

```

瞬時コンフィギュレーション  $q^{(l)}$  と瞬時タスク関数  $e^{(l)}(q^{(l)})$  のクラス .

このクラスの説明で用いる全ての変数は , 時間ステップ  $l$  を表す添字をつけて  $x^{(l)}$  と表されるべきだが , このクラス内の説明では省略して  $x$  と表す . また , 以降では , 説明文やメソッド名で , “瞬時” や “instant” を省略する .

コンフィギュレーション  $q$  の取得・更新 , タスク関数  $e(q)$  の取得 , タスク関数のヤコビ行列  $\frac{\partial \mathbf{e}(q)}{\partial \mathbf{q}}$  の取得 , コンフィギュレーションの等式・不等式制約  $A, b, C, d$  の取得のためのメソッドが定義されている .

コンフィギュレーション・タスク関数を定めるために , 初期化時に以下を与える

- 口ボット・環境

**robot-environment** 口ボット・環境を表す robot-environment クラスのインスタンス

**variant-joint-list**  $\mathcal{J}_{var}$  時変関節

**invariant-joint-list**  $\mathcal{J}_{invar}$  時不变関節 (与えなければ時不变関節は考慮されない)

**drive-joint-list**  $\mathcal{J}_{drive}$  駆動関節 (与えなければ関節駆動トルクは考慮されない)

- 幾何拘束

kin-target-coords-list  $\mathcal{T}^{kin-trg}$  幾何到達目標位置姿勢リスト

kin-attention-coords-list  $\mathcal{T}^{kin-att}$  幾何到達着目位置姿勢リスト

kin-scale-mat-list  $K_{kin}$  幾何拘束の座標系，重みを表す変換行列のリスト

- 接触拘束

contact-target-coords-list  $\mathcal{T}^{cnt-trg}$  接触目標位置姿勢リスト

contact-attention-coords-list  $\mathcal{T}^{cnt-att}$  接触着目位置姿勢リスト

contact-constraint-list 接触レンチ制約リスト

- コンフィギュレーション拘束 (必要な場合のみ)

posture-joint-list  $\mathcal{J}_{posture}$  着目関節リスト

posture-joint-angle-list  $\bar{\theta}^{trg}$  着目関節の目標関節角

target-posture-scale  $k_{posture}$  コンフィギュレーション拘束の重み

- 干渉回避拘束 (必要な場合のみ)

collision-pair-list 干渉回避する bodyset-link もしくは body のペアのリスト

collision-distance-margin 干渉回避の距離マージン (全てのペアで同じ値の場合)

collision-distance-margin-list 干渉回避の距離マージンのリスト (ペアごとに異なる値の場合)

- 外レンチ (必要な場合のみ)

external-wrench-list 外レンチのリスト (ワールド座標系で表す)

external-coords-list 外レンチの作用点座標のリスト (位置のみを使用)

- 接触力最大化 (必要な場合のみ)

wrench-maximize-direction-list 接触レンチ最大化方向 (ワールド座標系で表す)

- 目的関数の重み

norm-regular-scale-max  $k_{max}$  コンフィギュレーション更新量正則化の重み最大値

norm-regular-scale-coeff  $k_{coeff}$  コンフィギュレーション更新量正則化の係数

norm-regular-scale-offset  $k_{off}$  コンフィギュレーション更新量正則化の重みオフセット

torque-regular-scale  $k_{trq}$  トルク正則化の重み

wrench-maximize-scale  $k_{w-max}$  接触レンチ最大化の重み

コンフィギュレーション  $q$  は以下から構成される .

$$\mathbf{q} := \begin{pmatrix} \boldsymbol{\theta}^T & \hat{\mathbf{w}}^T & \boldsymbol{\tau}^T & \boldsymbol{\phi}^T \end{pmatrix}^T \quad (2.1)$$

$\boldsymbol{\theta} \in \mathbb{R}^{N_{var-joint}}$  時変関節角度 [rad] [m]

$\hat{\mathbf{w}} \in \mathbb{R}^{6N_{cnt}}$  接触レンチ [N] [Nm]

$\boldsymbol{\tau} \in \mathbb{R}^{N_{drive-joint}}$  関節駆動トルク [Nm] [N]

$\boldsymbol{\phi} \in \mathbb{R}^{N_{invar-joint}}$  時不变関節角度 [rad] [m]

$\hat{\mathbf{w}}$  は次式のように，全接触部位でのワールド座標系での力・モーメントを並べたベクトルである .

$$\hat{\mathbf{w}} = \begin{pmatrix} \mathbf{w}_1^T & \mathbf{w}_2^T & \cdots & \mathbf{w}_{N_{cnt}}^T \end{pmatrix}^T \quad (2.2)$$

$$= \begin{pmatrix} \mathbf{f}_1^T & \mathbf{n}_1^T & \mathbf{f}_2^T & \mathbf{n}_2^T & \cdots & \mathbf{f}_{N_{cnt}}^T & \mathbf{n}_{N_{cnt}}^T \end{pmatrix}^T \quad (2.3)$$

タスク関数  $e(\mathbf{q})$  は以下から構成される .

$$\mathbf{e}(\mathbf{q}) := \begin{pmatrix} e^{kinT}(\mathbf{q}) & e^{eom-transT}(\mathbf{q}) & e^{eom-rotT}(\mathbf{q}) & e^{trqT}(\mathbf{q}) & e^{postureT}(\mathbf{q}) \end{pmatrix}^T \quad (2.4)$$

$e^{kin}(\mathbf{q}) \in \mathbb{R}^{6N_{kin}}$  幾何到達拘束 [rad] [m]  
 $e^{eom-trans}(\mathbf{q}) \in \mathbb{R}^3$  力の釣り合い [N]  
 $e^{eom-rot}(\mathbf{q}) \in \mathbb{R}^3$  モーメントの釣り合い [Nm]  
 $e^{trq}(\mathbf{q}) \in \mathbb{R}^{N_{drive-joint}}$  関節トルクの釣り合い [rad] [m]  
 $e^{posture}(\mathbf{q}) \in \mathbb{R}^{N_{posture-joint}}$  関節角目標 [rad] [m]

**:init**  $\mathcal{E}key$  (*name*) [method]

(*robot-env*)  
 (*variant-joint-list* (*send robot-env :variant-joint-list*))  
 (*invariant-joint-list* (*send robot-env :invariant-joint-list*))  
 (*drive-joint-list* (*send robot-env :drive-joint-list*))  
 (*only-kinematics?*)  
 (*kin-target-coords-list*)  
 (*kin-attention-coords-list*)  
 (*contact-target-coords-list*)  
 (*contact-attention-coords-list*)  
 (*variant-joint-angle-margin 3.0*)  
 (*invariant-joint-angle-margin 3.0*)  
 (*delta-linear-joint*)  
 (*delta-rotational-joint*)  
 (*contact-constraint-list* (*send-all contact-attention-coords-list :get :contact-constraint*))  
 (*posture-joint-list*)  
 (*posture-joint-angle-list*)  
 (*external-wrench-list*)  
 (*external-coords-list*)  
 (*wrench-maximize-direction-list*)  
 (*collision-pair-list*)  
 (*collision-distance-margin 0.01*)  
 (*collision-distance-margin-list*)  
 (*kin-scale 1.0*)  
 (*kin-scale-list*)  
 (*kin-scale-mat-list*)  
 (*target-posture-scale 0.001*)  
 (*target-posture-scale-list*)  
 (*norm-regular-scale-max (if only-kinematics? 0.001 1.000000e-05)*)  
 (*norm-regular-scale-coeff 1.0*)  
 (*norm-regular-scale-offset 1.000000e-07*)  
 (*torque-regular-scale 1.000000e-04*)  
 (*wrench-maximize-scale 0*)  
 $\mathcal{E}allow-other-keys$

Initialize instance

**:robot-env** [method]

return robot-environment instance

**:variant-joint-list** [method]

```

    return  $\mathcal{J}_{var}$ 

:invariant-joint-list [method]
    return  $\mathcal{J}_{invar}$ 

:drive-joint-list [method]
    return  $\mathcal{J}_{drive}$ 

:only-kinematics? [method]
    return whether to consider only kinematics or not

:theta [method]
    return  $\boldsymbol{\theta}$ 

:wrench [method]
    return  $\hat{\mathbf{w}}$ 

:torque [method]
    return  $\boldsymbol{\tau}$ 

:phi [method]
    return  $\phi$ 

:num-kin [method]
    return  $N_{kin} := |\mathcal{T}^{kin-trg}| = |\mathcal{T}^{kin-att}|$ 

:num-contact [method]
    return  $N_{cnt} := |\mathcal{T}^{cnt-trg}| = |\mathcal{T}^{cnt-att}|$ 

:num-variant-joint [method]
    return  $N_{var-joint} := |\mathcal{J}_{var}|$ 

:num-invariant-joint [method]
    return  $N_{invar-joint} := |\mathcal{J}_{invar}|$ 

:num-drive-joint [method]
    return  $N_{drive-joint} := |\mathcal{J}_{drive}|$ 

:num-posture-joint [method]
    return  $N_{target-joint} := |\mathcal{J}_{target}|$ 

:num-external [method]
    return  $N_{ex} :=$  number of external wrench

:num-collision [method]
    return  $N_{col} :=$  number of collision check pairs

:dim-variant-config [method]

```

$$dim(\mathbf{q}_{var}) := dim(\boldsymbol{\theta}) + dim(\hat{\mathbf{w}}) + dim(\boldsymbol{\tau}) \quad (2.5)$$

$$= N_{var-joint} + 6N_{cnt} + N_{drive-joint} \quad (2.6)$$

return  $dim(\mathbf{q}_{var})$

**:dim-invariant-config** [method]  
 return  $\dim(\mathbf{q}_{invar}) := \dim(\phi) = N_{invar-joint}$

**:dim-config** [method]  
 return  $\dim(\mathbf{q}) := \dim(\mathbf{q}_{var}) + \dim(\mathbf{q}_{invar})$

**:dim-task** [method]

$$\begin{aligned} \dim(\mathbf{e}) &:= \dim(\mathbf{e}^{kin}) + \dim(\mathbf{e}^{eom-trans}) + \dim(\mathbf{e}^{eom-rot}) + \dim(\mathbf{e}^{trq}) + \dim(\mathbf{e}^{posture}) & (2.7) \\ &= 6N_{kin} + 3 + 3 + N_{drive-joint} + N_{posture-joint} & (2.8) \end{aligned}$$

return  $\dim(\mathbf{e})$

**:variant-config-vector** [method]  
 return  $\mathbf{q}_{var} := \begin{pmatrix} \theta \\ \hat{\mathbf{w}} \\ \tau \end{pmatrix}$

**:invariant-config-vector** [method]  
 return  $\mathbf{q}_{invar} := \phi$

**:config-vector** [method]  
 return  $\mathbf{q} := \begin{pmatrix} \mathbf{q}_{var} \\ \mathbf{q}_{invar} \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \theta \\ \hat{\mathbf{w}} \\ \tau \\ \phi \end{pmatrix}$

**:set-theta**  $\theta$ -new &key (relative? nil)  
 (apply-to-robot? t) [method]  
 Set  $\theta$ .

**:set-wrench** wrench-new &key (relative? nil)  
 Set  $\hat{\mathbf{w}}$ . [method]

**:set-torque** torque-new &key (relative? nil)  
 Set  $\tau$ . [method]

**:set-phi** phi-new &key (relative? nil)  
 (apply-to-robot? t) [method]  
 Set  $\phi$ .

**:set-variant-config** variant-config-new &key (relative? nil)  
 (apply-to-robot? t) [method]  
 Set  $\mathbf{q}_{var}$ .

**:set-invariant-config** invariant-config-new &key (relative? nil)  
 (apply-to-robot? t) [method]  
 Set  $\mathbf{q}_{invar}$ .

**:set-config** config-new &key (relative? nil)  
 (apply-to-robot? t) [method]

Set  $\mathbf{q}$ .

**:kin-target-coords-list**

[method]

$$T_m^{kin-trg} = \{\mathbf{p}_m^{kin-trg}, \mathbf{R}_m^{kin-trg}\} \quad (m = 1, 2, \dots, N_{kin}) \quad (2.9)$$

return  $\mathcal{T}^{kin-trg} := \{T_1^{kin-trg}, T_2^{kin-trg}, \dots, T_{N_{kin}}^{kin-trg}\}$

**:kin-attention-coords-list**

[method]

$$T_m^{kin-att} = \{\mathbf{p}_m^{kin-att}, \mathbf{R}_m^{kin-att}\} \quad (m = 1, 2, \dots, N_{kin}) \quad (2.10)$$

return  $\mathcal{T}^{kin-att} := \{T_1^{kin-att}, T_2^{kin-att}, \dots, T_{N_{kin}}^{kin-att}\}$

**:contact-target-coords-list**

[method]

$$T_m^{cnt-trg} = \{\mathbf{p}_m^{cnt-trg}, \mathbf{R}_m^{cnt-trg}\} \quad (m = 1, 2, \dots, N_{cnt}) \quad (2.11)$$

return  $\mathcal{T}^{cnt-trg} := \{T_1^{cnt-trg}, T_2^{cnt-trg}, \dots, T_{N_{cnt}}^{cnt-trg}\}$

**:contact-attention-coords-list**

[method]

$$T_m^{cnt-att} = \{\mathbf{p}_m^{cnt-att}, \mathbf{R}_m^{cnt-att}\} \quad (m = 1, 2, \dots, N_{cnt}) \quad (2.12)$$

return  $\mathcal{T}^{cnt-att} := \{T_1^{cnt-att}, T_2^{cnt-att}, \dots, T_{N_{cnt}}^{cnt-att}\}$

**:contact-constraint-list**

[method]

return list of contact-constraint instance

**:wrench-list**

[method]

return  $\{\mathbf{w}_1, \mathbf{w}_2, \dots, \mathbf{w}_{N_{cnt}}\}$

**:force-list**

[method]

return  $\{\mathbf{f}_1, \mathbf{f}_2, \dots, \mathbf{f}_{N_{cnt}}\}$

**:moment-list**

[method]

return  $\{\mathbf{n}_1, \mathbf{n}_2, \dots, \mathbf{n}_{N_{cnt}}\}$

**:external-wrench-list** *&optional (new-external-wrench-list :nil)*

[method]

set / get  $\{\mathbf{w}_1^{ex}, \mathbf{w}_2^{ex}, \dots, \mathbf{w}_{N_{ex}}^{ex}\}$

**:external-force-list**

[method]

return  $\{\mathbf{f}_1^{ex}, \mathbf{f}_2^{ex}, \dots, \mathbf{f}_{N_{ex}}^{ex}\}$

**:external-moment-list**

[method]

return  $\{\mathbf{n}_1^{ex}, \mathbf{n}_2^{ex}, \dots, \mathbf{n}_{N_{ex}}^{ex}\}$

**:mg-vec**

[method]

return  $mg$

**:cog** *&key (update? t)*

[method]

return  $\mathbf{p}_G(\mathbf{q})$

:kinematics-task-value  $\&key\ (update?\ t)$

[method]

$$\mathbf{e}^{kin}(\mathbf{q}) = \mathbf{e}^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) \quad (2.13)$$

$$= \begin{pmatrix} \mathbf{e}_1^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) \\ \mathbf{e}_2^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) \\ \vdots \\ \mathbf{e}_{N_{kin}}^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) \end{pmatrix} \quad (2.14)$$

$$\mathbf{e}_m^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) = K_{kin} \left( \frac{\mathbf{p}_m^{kin-trg}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) - \mathbf{p}_m^{kin-att}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi})}{\mathbf{a}(\mathbf{R}_m^{kin-trg}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) \mathbf{R}_m^{kin-att}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi})^T)} \right) \in \mathbb{R}^6 \quad (m = 1, 2, \dots, N_{kin}) \quad (2.15)$$

$\mathbf{a}(\mathbf{R})$  は姿勢行列  $\mathbf{R}$  の等価角軸ベクトルを表す .

return  $\mathbf{e}^{kin}(\mathbf{q}) \in \mathbb{R}^{6N_{kin}}$

:eom-trans-task-value  $\&key\ (update?\ t)$

[method]

$$\mathbf{e}^{eom-trans}(\mathbf{q}) = \mathbf{e}^{eom-trans}(\hat{\mathbf{w}}) \quad (2.16)$$

$$= \sum_{m=1}^{N_{cnt}} \mathbf{f}_m - m\mathbf{g} + \sum_{m=1}^{N_{ex}} \mathbf{f}_m^{ex} \quad (2.17)$$

return  $\mathbf{e}^{eom-trans}(\mathbf{q}) \in \mathbb{R}^3$

:eom-rot-task-value  $\&key\ (update?\ t)$

[method]

$$\mathbf{e}^{eom-rot}(\mathbf{q}) = \mathbf{e}^{eom-rot}(\boldsymbol{\theta}, \hat{\mathbf{w}}, \boldsymbol{\phi}) \quad (2.18)$$

$$= \sum_{m=1}^{N_{cnt}} \{ (\mathbf{p}_m^{cnt-trg}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) - \mathbf{p}_G(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi})) \times \mathbf{f}_m + \mathbf{n}_m \} \\ + \sum_{m=1}^{N_{ex}} \{ (\mathbf{p}_m^{ex}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) - \mathbf{p}_G(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi})) \times \mathbf{f}_m^{ex} + \mathbf{n}_m^{ex} \} \quad (2.19)$$

return  $\mathbf{e}^{eom-rot}(\mathbf{q}) \in \mathbb{R}^3$

:torque-task-value  $\&key\ (update?\ t)$

[method]

$$\mathbf{e}^{trq}(\mathbf{q}) = \mathbf{e}^{trq}(\boldsymbol{\theta}, \hat{\mathbf{w}}, \boldsymbol{\tau}, \boldsymbol{\phi}) \quad (2.20)$$

$$= \boldsymbol{\tau} + \sum_{m=1}^{N_{cnt}} \boldsymbol{\tau}_m^{cnt}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) - \boldsymbol{\tau}^{grav}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) + \sum_{m=1}^{N_{ex}} \boldsymbol{\tau}_m^{ex}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) \quad (2.21)$$

$$= \boldsymbol{\tau} + \sum_{m=1}^{N_{cnt}} \mathbf{J}_{drive-joint,m}^{cnt-trg}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi})^T \mathbf{w}_m - \boldsymbol{\tau}^{grav}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) + \sum_{m=1}^{N_{ex}} \mathbf{J}_{drive-joint,m}^{ex}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi})^T \mathbf{w}_m^{ex} \quad (2.22)$$

$\boldsymbol{\tau}_m^{cnt}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi})$  は  $m$  番目の接触部位にかかる接触レンチ  $\mathbf{w}_m$  による関節トルク ,  $\boldsymbol{\tau}_m^{grav}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi})$  は自重による関節トルクを表す .

return  $\mathbf{e}^{trq}(\mathbf{q}) \in \mathbb{R}^{N_{drive-joint}}$

:posture-task-value  $\&key\ (update?\ t)$

[method]

$$\mathbf{e}^{posture}(\mathbf{q}) = \mathbf{e}^{posture}(\boldsymbol{\theta}) \quad (2.23)$$

$$= k_{posture} (\bar{\boldsymbol{\theta}}^{trg} - \bar{\boldsymbol{\theta}}) \quad (2.24)$$

$\bar{\boldsymbol{\theta}}^{trg}, \bar{\boldsymbol{\theta}}$  は着目関節リスト  $\mathcal{J}_{posture}$  の目標関節角と現在の関節角 .

return  $\mathbf{e}^{posture}(\mathbf{q}) \in \mathbb{R}^{N_{posture-joint}}$

:task-value  $\mathcal{E}key$  (*update?*  $t$ )

$$\text{return } \mathbf{e}(\mathbf{q}) := \begin{pmatrix} \mathbf{e}^{kin}(\mathbf{q}) \\ \mathbf{e}^{eom-trans}(\mathbf{q}) \\ \mathbf{e}^{eom-rot}(\mathbf{q}) \\ \mathbf{e}^{trq}(\mathbf{q}) \\ \mathbf{e}^{posture}(\mathbf{q}) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \mathbf{e}^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \phi) \\ \mathbf{e}^{eom-trans}(\hat{\mathbf{w}}) \\ \mathbf{e}^{eom-rot}(\boldsymbol{\theta}, \hat{\mathbf{w}}, \phi) \\ \mathbf{e}^{trq}(\boldsymbol{\theta}, \hat{\mathbf{w}}, \tau, \phi) \\ \mathbf{e}^{posture}(\boldsymbol{\theta}) \end{pmatrix}$$

[method]

:kinematics-task-jacobian-with-theta

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \boldsymbol{\theta}} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \mathbf{e}_1^{kin}}{\partial \boldsymbol{\theta}} \\ \frac{\partial \mathbf{e}_2^{kin}}{\partial \boldsymbol{\theta}} \\ \vdots \\ \frac{\partial \mathbf{e}_{N_{kin}}^{kin}}{\partial \boldsymbol{\theta}} \end{pmatrix} \quad (2.25)$$

$$\frac{\partial \mathbf{e}_m^{kin}}{\partial \boldsymbol{\theta}} = K_{kin} \left\{ \mathbf{J}_{\theta, m}^{kin-trg}(\boldsymbol{\theta}, \phi) - \mathbf{J}_{\theta, m}^{kin-att}(\boldsymbol{\theta}, \phi) \right\} \quad (m = 1, 2, \dots, N_{kin}) \quad (2.26)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \boldsymbol{\theta}} \in \mathbb{R}^{6N_{kin} \times N_{var-joint}}$

:kinematics-task-jacobian-with-phi

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \phi} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \mathbf{e}_1^{kin}}{\partial \phi} \\ \frac{\partial \mathbf{e}_2^{kin}}{\partial \phi} \\ \vdots \\ \frac{\partial \mathbf{e}_{N_{kin}}^{kin}}{\partial \phi} \end{pmatrix} \quad (2.27)$$

$$\frac{\partial \mathbf{e}_m^{kin}}{\partial \phi} = K_{kin} \left\{ \mathbf{J}_{\phi, m}^{kin-trg}(\boldsymbol{\theta}, \phi) - \mathbf{J}_{\phi, m}^{kin-att}(\boldsymbol{\theta}, \phi) \right\} \quad (m = 1, 2, \dots, N_{kin}) \quad (2.28)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \phi} \in \mathbb{R}^{6N_{kin} \times N_{invar-joint}}$

:eom-trans-task-jacobian-with-wrench

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{eom-trans}}{\partial \hat{\mathbf{w}}} = \left( \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-trans}}{\partial \mathbf{f}_1} \quad \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-trans}}{\partial \mathbf{n}_1} \quad \dots \quad \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-trans}}{\partial \mathbf{f}_{N_{cnt}}} \quad \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-trans}}{\partial \mathbf{n}_{N_{cnt}}} \right) \quad (2.29)$$

$$= \begin{pmatrix} \mathbf{I}_3 & \mathbf{O}_3 & \dots & \mathbf{I}_3 & \mathbf{O}_3 \end{pmatrix} \quad (2.30)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{eom-trans}}{\partial \hat{\mathbf{w}}} \in \mathbb{R}^{3 \times 6N_{cnt}}$

:eom-rot-task-jacobian-with-theta

[method]

$$\begin{aligned} \frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \boldsymbol{\theta}} &= \sum_{m=1}^{N_{cnt}} \left\{ -[\mathbf{f}_m \times] (\mathbf{J}_{\theta,m}^{cnt\text{-}trg}(\boldsymbol{\theta}, \phi) - \mathbf{J}_{G\theta}(\boldsymbol{\theta}, \phi)) \right\} \\ &\quad + \sum_{m=1}^{N_{ex}} \left\{ -[\mathbf{f}_m^{ex} \times] (\mathbf{J}_{\theta,m}^{ex}(\boldsymbol{\theta}, \phi) - \mathbf{J}_{G\theta}(\boldsymbol{\theta}, \phi)) \right\} \end{aligned} \quad (2.31)$$

$$\begin{aligned} &= \left[ \left( \sum_{m=1}^{N_{cnt}} \mathbf{f}_m + \sum_{m=1}^{N_{ex}} \mathbf{f}_m^{ex} \right) \times \right] \mathbf{J}_{G\theta}(\boldsymbol{\theta}, \phi) \\ &\quad - \sum_{m=1}^{N_{cnt}} [\mathbf{f}_m \times] \mathbf{J}_{\theta,m}^{cnt\text{-}trg}(\boldsymbol{\theta}, \phi) - \sum_{m=1}^{N_{ex}} [\mathbf{f}_m^{ex} \times] \mathbf{J}_{\theta,m}^{ex}(\boldsymbol{\theta}, \phi) \end{aligned} \quad (2.32)$$

$\sum_{m=1}^{N_{cnt}} \mathbf{f}_m + \sum_{m=1}^{N_{ex}} \mathbf{f}_m^{ex} = mg$  つまり, eom-trans-task が成立すると仮定すると次式が成り立つ.

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \boldsymbol{\theta}} = [mg \times] \mathbf{J}_{G\theta}(\boldsymbol{\theta}, \phi) - \sum_{m=1}^{N_{cnt}} [\mathbf{f}_m \times] \mathbf{J}_{\theta,m}^{cnt\text{-}trg}(\boldsymbol{\theta}, \phi) - \sum_{m=1}^{N_{ex}} [\mathbf{f}_m^{ex} \times] \mathbf{J}_{\theta,m}^{ex}(\boldsymbol{\theta}, \phi) \quad (2.33)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \boldsymbol{\theta}} \in \mathbb{R}^{3 \times N_{var\text{-}joint}}$

:eom-rot-task-jacobian-with-wrench

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \hat{\mathbf{w}}} = \left( \frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \mathbf{f}_1} \quad \frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \mathbf{n}_1} \quad \dots \quad \frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \mathbf{f}_{N_{cnt}}} \quad \frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \mathbf{n}_{N_{cnt}}} \right) \quad (2.34)$$

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \mathbf{f}_m} = [(\mathbf{p}_m^{cnt\text{-}trg}(\boldsymbol{\theta}, \phi) - \mathbf{p}_G(\boldsymbol{\theta}, \phi)) \times] \quad (m = 1, 2, \dots, N_{cnt}) \quad (2.35)$$

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \mathbf{n}_m} = \mathbf{I}_3 \quad (m = 1, 2, \dots, N_{cnt}) \quad (2.36)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \hat{\mathbf{w}}} \in \mathbb{R}^{3 \times 6N_{cnt}}$

:eom-rot-task-jacobian-with-phi

[method]

$$\begin{aligned} \frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \boldsymbol{\phi}} &= \sum_{m=1}^{N_{cnt}} \left\{ -[\mathbf{f}_m \times] (\mathbf{J}_{\phi,m}^{cnt\text{-}trg}(\boldsymbol{\theta}, \phi) - \mathbf{J}_{G\phi}(\boldsymbol{\theta}, \phi)) \right\} \\ &\quad + \sum_{m=1}^{N_{ex}} \left\{ -[\mathbf{f}_m^{ex} \times] (\mathbf{J}_{\phi,m}^{ex}(\boldsymbol{\theta}, \phi) - \mathbf{J}_{G\phi}(\boldsymbol{\theta}, \phi)) \right\} \end{aligned} \quad (2.37)$$

$$\begin{aligned} &= \left[ \left( \sum_{m=1}^{N_{cnt}} \mathbf{f}_m + \sum_{m=1}^{N_{ex}} \mathbf{f}_m^{ex} \right) \times \right] \mathbf{J}_{G\phi}(\boldsymbol{\theta}, \phi) \\ &\quad - \sum_{m=1}^{N_{cnt}} [\mathbf{f}_m \times] \mathbf{J}_{\phi,m}^{cnt\text{-}trg}(\boldsymbol{\theta}, \phi) - \sum_{m=1}^{N_{ex}} [\mathbf{f}_m^{ex} \times] \mathbf{J}_{\phi,m}^{ex}(\boldsymbol{\theta}, \phi) \end{aligned} \quad (2.38)$$

$\sum_{m=1}^{N_{cnt}} \mathbf{f}_m + \sum_{m=1}^{N_{ex}} \mathbf{f}_m^{ex} = mg$  つまり, eom-trans-task が成立すると仮定すると次式が成り立つ.

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \boldsymbol{\phi}} = [mg \times] \mathbf{J}_{G\phi}(\boldsymbol{\theta}, \phi) - \sum_{m=1}^{N_{cnt}} [\mathbf{f}_m \times] \mathbf{J}_{\phi,m}^{cnt\text{-}trg}(\boldsymbol{\theta}, \phi) - \sum_{m=1}^{N_{ex}} [\mathbf{f}_m^{ex} \times] \mathbf{J}_{\phi,m}^{ex}(\boldsymbol{\theta}, \phi) \quad (2.39)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \boldsymbol{\phi}} \in \mathbb{R}^{3 \times N_{invar\text{-}joint}}$

:torque-task-jacobian-with-theta

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \boldsymbol{\theta}} = \sum_{m=1}^{N_{cnt}} \frac{\partial \boldsymbol{\tau}_m^{cnt}}{\partial \boldsymbol{\theta}} - \frac{\partial \boldsymbol{\tau}^{grav}}{\partial \boldsymbol{\theta}} + \sum_{m=1}^{N_{ex}} \frac{\partial \boldsymbol{\tau}_m^{ex}}{\partial \boldsymbol{\theta}} \quad (2.40)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \boldsymbol{\theta}} \in \mathbb{R}^{N_{drive-joint} \times N_{var-joint}}$

:torque-task-jacobian-with-wrench

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \hat{\mathbf{w}}} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \mathbf{w}_1} & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \mathbf{w}_2} & \cdots & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \mathbf{w}_{N_{cnt}}} \end{pmatrix} \quad (2.41)$$

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \mathbf{w}_m} = \mathbf{J}_{drive-joint,m}^{cnt-trq}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi})^T \quad (m = 1, 2, \dots, N_{cnt}) \quad (2.42)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \hat{\mathbf{w}}} \in \mathbb{R}^{N_{drive-joint} \times N_{cnt}}$

:torque-task-jacobian-with-phi

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \boldsymbol{\phi}} = \sum_{m=1}^{N_{cnt}} \frac{\partial \boldsymbol{\tau}_m^{cnt}}{\partial \boldsymbol{\phi}} - \frac{\partial \boldsymbol{\tau}^{grav}}{\partial \boldsymbol{\phi}} + \sum_{m=1}^{N_{ex}} \frac{\partial \boldsymbol{\tau}_m^{ex}}{\partial \boldsymbol{\phi}} \quad (2.43)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \boldsymbol{\phi}} \in \mathbb{R}^{N_{drive-joint} \times N_{invar-joint}}$

:torque-task-jacobian-with-torque

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \boldsymbol{\tau}} = \mathbf{I}_{N_{drive-joint}} \quad (2.44)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \boldsymbol{\tau}} \in \mathbb{R}^{N_{drive-joint} \times N_{drive-joint}}$

:posture-task-jacobian-with-theta *key* (*update?* *nil*)

[method]

$$\left( \frac{\partial \mathbf{e}^{posture}}{\partial \boldsymbol{\theta}} \right)_{i,j} = \begin{cases} -k_{posture} & (\mathcal{J}_{posture,i} = \mathcal{J}_{var,j}) \\ 0 & \text{otherwise} \end{cases} \quad (2.45)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{posture}}{\partial \boldsymbol{\theta}} \in \mathbb{R}^{N_{posture-joint} \times N_{var-joint}}$

:variant-task-jacobian

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}_{var}} = \begin{matrix} 6N_{kin} & N_{var-joint} & 6N_{cnt} & N_{drive-joint} \\ 3 & \frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \boldsymbol{\theta}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{com-trans}}{\partial \hat{\mathbf{w}}} & \\ N_{drive-joint} & \frac{\partial \mathbf{e}^{com-rot}}{\partial \boldsymbol{\theta}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{com-rot}}{\partial \hat{\mathbf{w}}} & \\ N_{posture-joint} & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \boldsymbol{\theta}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \hat{\mathbf{w}}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \boldsymbol{\tau}} \end{matrix} \quad (2.46)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}_{var}} \in \mathbb{R}^{(6N_{kin}+3+N_{drive-joint}+N_{posture-joint}) \times (N_{var-joint}+6N_{cnt}+N_{drive-joint})}$

:invariant-task-jacobian

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}_{invar}} = \begin{matrix} 6N_{kin} \\ 3 \\ N_{drive-joint} \\ N_{posture-joint} \end{matrix} \left( \begin{array}{c} \frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \boldsymbol{\phi}} \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{com-rot}}{\partial \boldsymbol{\phi}} \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \boldsymbol{\phi}} \end{array} \right) \quad (2.47)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}_{invar}} \in \mathbb{R}^{(6N_{kin}+3+3+N_{drive-joint}+N_{posture-joint}) \times N_{invar-joint}}$

:task-jacobian

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}} = \left( \frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}_{var}} \quad \frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}_{invar}} \right) \quad (2.48)$$

$$= \begin{matrix} 6N_{kin} \\ 3 \\ N_{drive-joint} \\ N_{posture-joint} \end{matrix} \left( \begin{array}{cccc} N_{var-joint} & 6N_{cnt} & N_{drive-joint} & N_{invar-joint} \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \boldsymbol{\theta}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{com-trans}}{\partial \hat{\mathbf{w}}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{com-rot}}{\partial \hat{\mathbf{w}}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \boldsymbol{\phi}} \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{com-rot}}{\partial \boldsymbol{\theta}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \hat{\mathbf{w}}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \boldsymbol{\tau}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{com-rot}}{\partial \boldsymbol{\phi}} \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \boldsymbol{\theta}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \boldsymbol{\tau}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \boldsymbol{\phi}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \boldsymbol{\phi}} \end{array} \right) \quad (2.49)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}} \in \mathbb{R}^{(6N_{kin}+3+3+N_{drive-joint}+N_{posture-joint}) \times (N_{var-joint}+6N_{cnt}+N_{drive-joint}+N_{invar-joint})}$

:theta-max-vector  $\mathcal{E}key$  (*update?* nil)

[method]

return  $\boldsymbol{\theta}_{max} \in \mathbb{R}^{N_{var-joint}}$

:theta-min-vector  $\mathcal{E}key$  (*update?* nil)

[method]

return  $\boldsymbol{\theta}_{min} \in \mathbb{R}^{N_{var-joint}}$

:delta-theta-limit-vector  $\mathcal{E}key$  (*update?* nil)

[method]

get trust region of  $\boldsymbol{\theta}$

return  $\Delta\boldsymbol{\theta}_{limit}$

:theta-inequality-constraint-matrix  $\mathcal{E}key$  (*update?* nil)

[method]

$$\begin{cases} \boldsymbol{\theta}_{min} \leq \boldsymbol{\theta} + \Delta\boldsymbol{\theta} \leq \boldsymbol{\theta}_{max} \\ -\Delta\boldsymbol{\theta}_{limit} \leq \Delta\boldsymbol{\theta} \leq \Delta\boldsymbol{\theta}_{limit} \end{cases} \quad (\text{if } \Delta\boldsymbol{\theta}_{limit} \text{ is set}) \quad (2.50)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \\ \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \end{pmatrix} \Delta\boldsymbol{\theta} \geq \begin{pmatrix} \boldsymbol{\theta}_{min} - \boldsymbol{\theta} \\ -(\boldsymbol{\theta}_{max} - \boldsymbol{\theta}) \\ -\Delta\boldsymbol{\theta}_{limit} \\ -\Delta\boldsymbol{\theta}_{limit} \end{pmatrix} \quad (2.51)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{C}_{\boldsymbol{\theta}} \Delta\boldsymbol{\theta} \geq \mathbf{d}_{\boldsymbol{\theta}} \quad (2.52)$$

$$\text{return } \mathbf{C}_{\boldsymbol{\theta}} := \begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \\ \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{4N_{var-joint} \times N_{var-joint}}$$

:theta-inequality-constraint-vector  $\mathcal{E}key$  (*update?*  $t$ ) [method]

$$\text{return } \mathbf{d}_\theta := \begin{pmatrix} \theta_{min} - \theta \\ -(\theta_{max} - \theta) \\ -\Delta\theta_{limit} \\ -\Delta\theta_{limit} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{4N_{var-joint}}$$

:wrench-inequality-constraint-matrix  $\mathcal{E}key$  (*update?*  $t$ ) [method]

接触レンチ  $w \in \mathbb{R}^6$  が満たすべき制約（非負制約，摩擦制約，圧力中心制約）が次式のように表されるとする。

$$\mathbf{C}_w w \geq \mathbf{d}_w \quad (2.53)$$

$N_{cnt}$  箇所の接触部位の接触レンチを並べたベクトル  $\hat{w}$  の不等式制約は次式で表される。

$$\mathbf{C}_{w,m}(\mathbf{w}_m + \Delta\mathbf{w}_m) \geq \mathbf{d}_{w,m} \quad (m = 1, 2, \dots, N_{cnt}) \quad (2.54)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{C}_{w,m}\Delta\mathbf{w}_m \geq \mathbf{d}_{w,m} - \mathbf{C}_{w,m}\mathbf{w}_m \quad (m = 1, 2, \dots, N_{cnt}) \quad (2.55)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} \mathbf{C}_{w,1} & & & \\ & \mathbf{C}_{w,2} & & \\ & & \ddots & \\ & & & \mathbf{C}_{w,N_{cnt}} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \Delta\mathbf{w}_1 \\ \Delta\mathbf{w}_2 \\ \vdots \\ \Delta\mathbf{w}_{N_{cnt}} \end{pmatrix} \geq \begin{pmatrix} \mathbf{d}_{w,1} - \mathbf{C}_{w,1}\mathbf{w}_1 \\ \mathbf{d}_{w,2} - \mathbf{C}_{w,2}\mathbf{w}_2 \\ \vdots \\ \mathbf{d}_{w,N_{cnt}} - \mathbf{C}_{w,N_{cnt}}\mathbf{w}_{N_{cnt}} \end{pmatrix} \quad (2.56)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{C}_{\hat{w}}\Delta\hat{w} \geq \mathbf{d}_{\hat{w}} \quad (2.57)$$

$$\text{return } \mathbf{C}_{\hat{w}} := \begin{pmatrix} \mathbf{C}_{w,1} & & & \\ & \mathbf{C}_{w,2} & & \\ & & \ddots & \\ & & & \mathbf{C}_{w,N_{cnt}} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{wrench-ineq} \times \dim(\hat{w})}$$

:wrench-inequality-constraint-vector  $\mathcal{E}key$  (*update?*  $t$ ) [method]

$$\text{return } \mathbf{d}_{\hat{w}} := \begin{pmatrix} \mathbf{d}_{w,1} - \mathbf{C}_{w,1}\mathbf{w}_1 \\ \mathbf{d}_{w,2} - \mathbf{C}_{w,2}\mathbf{w}_2 \\ \vdots \\ \mathbf{d}_{w,N_{cnt}} - \mathbf{C}_{w,N_{cnt}}\mathbf{w}_{N_{cnt}} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{wrench-ineq}}$$

:torque-max-vector  $\mathcal{E}key$  (*update?* *nil*) [method]

$$\text{return } \boldsymbol{\tau}_{max} \in \mathbb{R}^{N_{drive-joint}}$$

:torque-min-vector  $\mathcal{E}key$  (*update?* *nil*) [method]

$$\text{return } \boldsymbol{\tau}_{min} \in \mathbb{R}^{N_{drive-joint}}$$

:torque-inequality-constraint-matrix  $\mathcal{E}key$  (*update?* *nil*) [method]

$$\boldsymbol{\tau}_{min} \leq \boldsymbol{\tau} + \Delta\boldsymbol{\tau} \leq \boldsymbol{\tau}_{max} \quad (2.58)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \end{pmatrix} \Delta\boldsymbol{\tau} \geq \begin{pmatrix} \boldsymbol{\tau}_{min} - \boldsymbol{\tau} \\ -(\boldsymbol{\tau}_{max} - \boldsymbol{\tau}) \end{pmatrix} \quad (2.59)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{C}_\tau \Delta\boldsymbol{\tau} \geq \mathbf{d}_\tau \quad (2.60)$$

$$\text{return } \mathbf{C}_\tau := \begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{2N_{drive-joint} \times N_{drive-joint}}$$

:torque-inequality-constraint-vector  $\mathcal{E}key$  (*update?*  $t$ ) [method]

return  $\mathbf{d}_\tau := \begin{pmatrix} \boldsymbol{\tau}_{min} - \boldsymbol{\tau} \\ -(\boldsymbol{\tau}_{max} - \boldsymbol{\tau}) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{2N_{drive-joint}}$

**:phi-max-vector**  $\&key (update? nil)$  [method]

return  $\phi_{max} \in \mathbb{R}^{N_{invar-joint}}$

**:phi-min-vector**  $\&key (update? nil)$  [method]

return  $\phi_{min} \in \mathbb{R}^{N_{invar-joint}}$

**:delta-phi-limit-vector**  $\&key (update? nil)$  [method]

get trust region of  $\phi$

return  $\Delta\phi_{limit}$

**:phi-inequality-constraint-matrix**  $\&key (update? nil)$  [method]

$$\begin{cases} \phi_{min} \leq \phi + \Delta\phi \leq \phi_{max} \\ -\Delta\phi_{limit} \leq \Delta\phi \leq \Delta\phi_{limit} \quad (\text{if } \Delta\phi_{limit} \text{ is set}) \end{cases} \quad (2.61)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \\ \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \end{pmatrix} \Delta\phi \geq \begin{pmatrix} \phi_{min} - \phi \\ -(\phi_{max} - \phi) \\ -\Delta\phi_{limit} \\ -\Delta\phi_{limit} \end{pmatrix} \quad (2.62)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{C}_\phi \Delta\phi \geq \mathbf{d}_\phi \quad (2.63)$$

$$\text{return } \mathbf{C}_\phi := \begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \\ \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{4N_{invar-joint} \times N_{invar-joint}}$$

**:phi-inequality-constraint-vector**  $\&key (update? t)$  [method]

return  $\mathbf{d}_\phi := \begin{pmatrix} \phi_{min} - \phi \\ -(\phi_{max} - \phi) \\ -\Delta\phi_{limit} \\ -\Delta\phi_{limit} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{4N_{invar-joint}}$

**:variant-config-inequality-constraint-matrix**  $\&key (update? nil)$  [method]

$$\begin{cases} C_\theta \Delta\theta \geq \mathbf{d}_\theta \\ C_{\hat{w}} \Delta\hat{w} \geq \mathbf{d}_{\hat{w}} \\ C_\tau \Delta\tau \geq \mathbf{d}_\tau \end{cases} \quad (2.64)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} C_\theta & & \\ & C_{\hat{w}} & \\ & & C_\tau \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \Delta\theta \\ \Delta\hat{w} \\ \Delta\tau \end{pmatrix} \geq \begin{pmatrix} \mathbf{d}_\theta \\ \mathbf{d}_{\hat{w}} \\ \mathbf{d}_\tau \end{pmatrix} \quad (2.65)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{C}_{var} \Delta\mathbf{q}_{var} \geq \mathbf{d}_{var} \quad (2.66)$$

$$\text{return } \mathbf{C}_{var} := \begin{pmatrix} C_\theta & & \\ & C_{\hat{w}} & \\ & & C_\tau \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{var-ineq} \times \dim(\mathbf{q}_{var})}$$

**:variant-config-inequality-constraint-vector**  $\&key (update? t)$  [method]

$$\text{return } \mathbf{d}_{var} := \begin{pmatrix} \mathbf{d}_\theta \\ \mathbf{d}_{\hat{w}} \\ \mathbf{d}_\tau \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{var-ineq}}$$

:invariant-config-inequality-constraint-matrix  $\&key$  (*update?* nil)

[method]

$$C_\phi \Delta \phi \geq \mathbf{d}_\phi \quad (2.67)$$

$$\Leftrightarrow C_{invar} \Delta \mathbf{q}_{invar} \geq \mathbf{d}_{invar} \quad (2.68)$$

$$\text{return } \mathbf{C}_{invar} := \mathbf{C}_\phi \in \mathbb{R}^{N_{invar-ineq} \times \dim(\mathbf{q}_{invar})}$$

:invariant-config-inequality-constraint-vector  $\&key$  (*update?* *t*)

[method]

$$\text{return } \mathbf{d}_{invar} := \mathbf{d}_\phi \in \mathbb{R}^{N_{invar-ineq}}$$

:config-inequality-constraint-matrix  $\&key$  (*update?* nil)

[method]

(*update-collision?* nil)

$$\begin{cases} C_{var} \Delta \mathbf{q}_{var} \geq \mathbf{d}_{var} \\ C_{invar} \Delta \mathbf{q}_{invar} \geq \mathbf{d}_{invar} \\ C_{col} \begin{pmatrix} \Delta \mathbf{q}_{var} \\ \Delta \mathbf{q}_{invar} \end{pmatrix} \geq \mathbf{d}_{col} \end{cases} \quad (2.69)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} C_{var} & C_{invar} \\ \hline & C_{col} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \Delta \mathbf{q}_{var} \\ \Delta \mathbf{q}_{invar} \end{pmatrix} \geq \begin{pmatrix} \mathbf{d}_{var} \\ \mathbf{d}_{invar} \\ \mathbf{d}_{col} \end{pmatrix} \quad (2.70)$$

$$\Leftrightarrow C \Delta \mathbf{q} \geq \mathbf{d} \quad (2.71)$$

$$\text{return } \mathbf{C} := \begin{pmatrix} C_{var} & & \\ & C_{invar} & \\ \hline & & C_{col} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{ineq} \times \dim(\mathbf{q})}$$

:config-inequality-constraint-vector  $\&key$  (*update?* *t*)

[method]

(*update-collision?* nil)

$$\text{return } \mathbf{d} := \begin{pmatrix} \mathbf{d}_{var} \\ \mathbf{d}_{invar} \\ \mathbf{d}_{col} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{ineq}}$$

:variant-config-equality-constraint-matrix  $\&key$  (*update?* nil)

[method]

return  $\mathbf{A}_{var} \in \mathbb{R}^{0 \times \dim(\mathbf{q}_{var})}$  (no equality constraint)

:variant-config-equality-constraint-vector  $\&key$  (*update?* *t*)

[method]

return  $\mathbf{b}_{var} \in \mathbb{R}^0$  (no equality constraint)

:invariant-config-equality-constraint-matrix  $\&key$  (*update?* nil)

[method]

return  $\mathbf{A}_{invar} \in \mathbb{R}^{0 \times \dim(\mathbf{q}_{invar})}$  (no equality constraint)

:invariant-config-equality-constraint-vector  $\&key$  (*update?* *t*)

[method]

return  $\mathbf{b}_{invar} \in \mathbb{R}^0$  (no equality constraint)

:config-equality-constraint-matrix  $\&key$  (*update?* nil)

[method]

```

return  $\mathbf{A} \in \mathbb{R}^{0 \times \dim(\mathbf{q})}$  (no equality constraint)

:config-equality-constraint-vector  $\mathcal{E}\text{key}$  (update?  $t$ ) [method]
    return  $\mathbf{b} \in \mathbb{R}^0$  (no equality constraint)

:torque-regular-matrix  $\mathcal{E}\text{key}$  (update? nil)
    (only-variant? nil)

```

二次形式の正則化項として次式を考える .

$$F_{tau}(\mathbf{q}) = \left\| \frac{\boldsymbol{\tau}}{\tau_{max}} \right\|^2 \quad (\text{ベクトルの要素ごとの割り算を表す}) \quad (2.72)$$

$$= \boldsymbol{\tau}^T \bar{\mathbf{W}}_{trq} \boldsymbol{\tau} \quad (2.73)$$

ここで ,

$$\bar{\mathbf{W}}_{trq} := \begin{pmatrix} \frac{1}{\tau_{max,1}^2} & & & \\ & \frac{1}{\tau_{max,2}^2} & & \\ & & \ddots & \\ & & & \frac{1}{\tau_{max,N_{drive-joint}}^2} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{\dim(\boldsymbol{\tau}) \times \dim(\boldsymbol{\tau})} \quad (2.74)$$

*only-variant?* is true:

$$\mathbf{W}_{trq} := \begin{pmatrix} dim(\boldsymbol{\theta}) & dim(\hat{\mathbf{w}}) & dim(\boldsymbol{\tau}) \\ dim(\boldsymbol{\theta}) & & \\ dim(\hat{\mathbf{w}}) & & \\ dim(\boldsymbol{\tau}) & & \bar{\mathbf{W}}_{trq} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{\dim(\mathbf{q}_{var}) \times \dim(\mathbf{q}_{var})} \quad (2.75)$$

otherwise:

$$\mathbf{W}_{trq} := \begin{pmatrix} dim(\boldsymbol{\theta}) & dim(\hat{\mathbf{w}}) & dim(\boldsymbol{\tau}) & dim(\boldsymbol{\phi}) \\ dim(\boldsymbol{\theta}) & & & \\ dim(\hat{\mathbf{w}}) & & & \\ dim(\boldsymbol{\tau}) & & & \bar{\mathbf{W}}_{trq} \\ dim(\boldsymbol{\phi}) & & & \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{\dim(\mathbf{q}) \times \dim(\mathbf{q})} \quad (2.76)$$

return  $\mathbf{W}_{trq}$

```

:torque-regular-vector  $\mathcal{E}\text{key}$  (update?  $t$ ) [method]
    (only-variant? nil)

```

$$\bar{\mathbf{v}}_{trq} := \bar{\mathbf{W}}_{trq} \boldsymbol{\tau} \quad (2.77)$$

$$= \begin{pmatrix} \frac{\tau_1}{\tau_{max,1}^2} \\ \frac{\tau_2}{\tau_{max,2}^2} \\ \vdots \\ \frac{\tau_{\dim(\boldsymbol{\tau})}}{\tau_{max,\dim(\boldsymbol{\tau})}^2} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{\dim(\boldsymbol{\tau})} \quad (2.78)$$

*only-variant?* is true:

$$\mathbf{v}_{trq} := \begin{pmatrix} 1 \\ dim(\boldsymbol{\theta}) \\ dim(\hat{\mathbf{w}}) \\ dim(\boldsymbol{\tau}) \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \\ \\ \\ \bar{\mathbf{v}}_{trq} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{\dim(\mathbf{q}_{var})} \quad (2.79)$$

otherwise:

$$\mathbf{v}_{trq} := \frac{1}{\dim(\boldsymbol{\theta})} \begin{pmatrix} \dim(\boldsymbol{\theta}) \\ \dim(\hat{\mathbf{w}}) \\ \dim(\boldsymbol{\tau}) \\ \dim(\phi) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{\dim(\mathbf{q})} \quad (2.80)$$

return  $\mathbf{v}_{trq}$

**:torque-ratio**

$$\text{return } \frac{\boldsymbol{\tau}}{\tau_{max}} := \begin{pmatrix} \frac{\tau_1}{\tau_{max,1}} \\ \frac{\tau_2}{\tau_{max,2}} \\ \vdots \\ \frac{\tau_{N_{drive-joint}}}{\tau_{max,N_{drive-joint}}} \end{pmatrix}$$

[method]

**:wrench-maximize-regular-vector** *key* (update? nil)

(only-variant? nil)

[method]

$$\bar{\mathbf{v}}_{w-max} := \begin{pmatrix} \mathbf{d}_1^{w-max} \\ \mathbf{d}_2^{w-max} \\ \vdots \\ \mathbf{d}_{N_{cnt}}^{w-max} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{\dim(\hat{\mathbf{w}})} \quad (2.81)$$

only-variant? is true:

$$\mathbf{v}_{w-max} := \frac{1}{\dim(\boldsymbol{\theta})} \begin{pmatrix} \dim(\boldsymbol{\theta}) \\ \dim(\hat{\mathbf{w}}) \\ \dim(\boldsymbol{\tau}) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{\dim(\mathbf{q}_{var})} \quad (2.82)$$

otherwise:

$$\mathbf{v}_{w-max} := \frac{1}{\dim(\boldsymbol{\theta})} \begin{pmatrix} \dim(\boldsymbol{\theta}) \\ \dim(\hat{\mathbf{w}}) \\ \dim(\boldsymbol{\tau}) \\ \dim(\phi) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{\dim(\mathbf{q})} \quad (2.83)$$

return  $\mathbf{v}_{w-max}$

**:regular-matrix**

[method]

$$\mathbf{W}_{reg} := \min(k_{max}, k_{coeff} \|e\|^2 + k_{off}) \mathbf{I} + k_{trq} \mathbf{W}_{trq} \quad (2.84)$$

return  $\mathbf{W}_{reg} \in \mathbb{R}^{\dim(\mathbf{q}) \times \dim(\mathbf{q})}$

**:regular-vector**

[method]

$$\mathbf{v}_{reg} := k_{trq}\mathbf{v}_{trq} + k_{w-max}\mathbf{v}_{w-max} \quad (2.85)$$

return  $\mathbf{v}_{reg} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{q})}$

:update-collision-inequality-constraint

[method]

リンク 1 とリンク 2 の最近点を  $\mathbf{p}_1, \mathbf{p}_2$  とする。リンク 1 とリンク 2 が干渉しない条件を、最近点  $\mathbf{p}_1, \mathbf{p}_2$  の距離が  $d_{margin}$  以上である条件に置き換えて考える。これは次式で表される。

$$\mathbf{d}_{12}^T(\mathbf{p}_1 - \mathbf{p}_2) \geq d_{margin} \quad (2.86)$$

$$\text{where } \mathbf{d}_{12} = \mathbf{p}_1 - \mathbf{p}_2 \quad (2.87)$$

コンフィギュレーションが  $\Delta q$  だけ更新されてもこれが成立するための条件は次式で表される。

$$\mathbf{d}_{12}^T \{(\mathbf{p}_1 + \Delta\mathbf{p}_1) - (\mathbf{p}_2 + \Delta\mathbf{p}_2)\} \geq d_{margin} \quad (2.88)$$

$$\text{where } \Delta\mathbf{p}_1 = \mathbf{J}_{\theta,1}\Delta\theta + \mathbf{J}_{\phi,1}\Delta\phi \quad (2.89)$$

$$\Delta\mathbf{p}_2 = \mathbf{J}_{\theta,2}\Delta\theta + \mathbf{J}_{\phi,2}\Delta\phi \quad (2.90)$$

$$\mathbf{J}_{\theta,i} = \frac{\partial \mathbf{p}_i}{\partial \theta}, \quad \mathbf{J}_{\phi,i} = \frac{\partial \mathbf{p}_i}{\partial \phi} \quad (i = 1, 2) \quad (2.91)$$

これは以下のように変形される。

$$\mathbf{d}_{12}^T \{(\mathbf{p}_1 + \mathbf{J}_{\theta,1}\Delta\theta + \mathbf{J}_{\phi,1}\Delta\phi) - (\mathbf{p}_2 + \mathbf{J}_{\theta,2}\Delta\theta + \mathbf{J}_{\phi,2}\Delta\phi)\} \geq d_{margin} \quad (2.92)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{d}_{12}^T(\mathbf{J}_{\theta,1} - \mathbf{J}_{\theta,2})\Delta\theta + \mathbf{d}_{12}^T(\mathbf{J}_{\phi,1} - \mathbf{J}_{\phi,2})\Delta\phi \geq -(\mathbf{d}_{12}^T(\mathbf{p}_1 - \mathbf{p}_2) - d_{margin}) \quad (2.93)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{c}_{col,var}^T \Delta\theta + \mathbf{c}_{col,invar}^T \Delta\phi \geq d_{col} \quad (2.94)$$

$$\text{where } \mathbf{c}_{col,var}^T = \mathbf{d}_{12}^T(\mathbf{J}_{\theta,1} - \mathbf{J}_{\theta,2}) \quad (2.95)$$

$$\mathbf{c}_{col,invar}^T = \mathbf{d}_{12}^T(\mathbf{J}_{\phi,1} - \mathbf{J}_{\phi,2}) \quad (2.96)$$

$$d_{col} = -(\mathbf{d}_{12}^T(\mathbf{p}_1 - \mathbf{p}_2) - d_{margin}) \quad (2.97)$$

$i$  番目の干渉回避リンクペアに関する行列、ベクトルをそれぞれ  $\mathbf{c}_{col,var,i}^T, \mathbf{c}_{col,invar,i}^T, d_{col,i}$  とする。 $i = 1, 2, \dots, N_{col}$  の全てのリンクペアにおいて干渉が生じないための条件は次式で表される。

$$\begin{pmatrix} \mathbf{C}_{col,\theta} & \mathbf{C}_{col,\phi} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \Delta\theta \\ \Delta\phi \end{pmatrix} \geq \mathbf{d}_{col} \quad (2.98)$$

$$\mathbf{C}_{col,\theta} := \begin{pmatrix} \mathbf{c}_{col,var,1}^T \\ \vdots \\ \mathbf{c}_{col,var,N_{col}}^T \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{col} \times dim(\boldsymbol{\theta})} \quad (2.99)$$

$$\mathbf{C}_{col,\phi} := \begin{pmatrix} \mathbf{c}_{col,invar,1}^T \\ \vdots \\ \mathbf{c}_{col,invar,N_{col}}^T \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{col} \times dim(\boldsymbol{\phi})}, \quad (2.100)$$

$$\mathbf{d}_{col} := \begin{pmatrix} d_{col,1} \\ \vdots \\ d_{col,N_{col}} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{col}} \quad (2.101)$$

update inequality matrix  $\mathbf{C}_{col,\theta}, \mathbf{C}_{col,\phi}$  and inequality vector  $\mathbf{d}_{col}$  for collision avoidance

:collision-theta-inequality-constraint-matrix

[method]

```

return  $C_{col,\theta} \in \mathbb{R}^{N_{col} \times \dim(\boldsymbol{\theta})}$ 

:collision-phi-inequality-constraint-matrix [method]
return  $C_{col,\phi} \in \mathbb{R}^{N_{col} \times \dim(\phi)}$ 

:collision-inequality-constraint-matrix  $\mathcal{E}key$  (update? nil) [method]


$$C_{col} := N_{col} \begin{pmatrix} \dim(\boldsymbol{\theta}) & \dim(\hat{\mathbf{w}}) & \dim(\boldsymbol{\tau}) & \dim(\phi) \\ C_{col,\theta} & \mathbf{O} & \mathbf{O} & C_{col,\phi} \end{pmatrix} \quad (2.102)$$


return  $C_{col} \in \mathbb{R}^{N_{col} \times \dim(\mathbf{q})}$ 

:collision-inequality-constraint-vector  $\mathcal{E}key$  (update? nil) [method]
return  $d_{col} \in \mathbb{R}^{N_{col}}$ 

:update-viewer [method]
Update viewer.

:print-status [method]
Print status.

```

## 2.2 軌道コンフィギュレーションと軌道タスク関数

```

trajectory-configuration-task [class]
:super   propertied-object
:slots    (_instant-config-task-list list of instant-config-task instance)
          (_num-instant-config-task L)
          (_dim-variant-config  $\dim(\mathbf{q}_{var})$ )
          (_dim-invariant-config  $\dim(\mathbf{q}_{invar})$ )
          (_dim-config  $\dim(\mathbf{q})$ )
          (_dim-task  $\dim(e)$ )
          (_norm-regular-scale-max  $k_{max}$ )
          (_norm-regular-scale-offset  $k_{off}$ )
          (_adjacent-regular-scale-list  $k_{adj}^{(1)}, k_{adj}^{(2)}, \dots, k_{adj}^{(L-1)}$ )
          (_torque-regular-scale  $k_{trq}$ )
          (_task-jacobi buffer for  $\frac{\partial e}{\partial q}$ )

```

軌道コンフィギュレーション  $q$  と軌道タスク関数  $e(q)$  のクラス .

以降では , 説明文やメソッド名で , “軌道” や “trajectory” を省略する .

コンフィギュレーション  $q$  の取得・更新 , タスク関数  $e(q)$  の取得 , タスク関数のヤコビ行列  $\frac{\partial e(q)}{\partial q}$  の取得 , コンフィギュレーションの等式・不等式制約  $A, b, C, d$  の取得のためのメソッドが定義されている .

コンフィギュレーション・タスク関数を定めるために , 初期化時に以下を与える

- 瞬時のコンフィギュレーション・タスクのリスト  
**instant-config-task-list** instant-configuration-task のリスト

- 目的関数の重み

norm-regular-scale-max  $k_{max}$  コンフィギュレーション更新量正則化の重み最大値  
 norm-regular-scale-offset  $k_{off}$  コンフィギュレーション更新量正則化の重みオフセット  
 adjacent-regular-scale-list  $k_{adj}^{(l)}$  隣接コンフィギュレーション正則化の重みのリスト  
 torque-regular-scale  $k_{trq}$  トルク正則化の重み

コンフィギュレーション  $q$  は以下から構成される .

$$\mathbf{q} := \left( \mathbf{q}_{var}^{(1)T} \quad \mathbf{q}_{var}^{(2)T} \quad \cdots \quad \mathbf{q}_{var}^{(L)T} \quad \mathbf{q}_{invar}^T \right)^T \quad (2.103)$$

ここで ,

$$\mathbf{q}_{invar} := \mathbf{q}_{invar}^{(1)} = \mathbf{q}_{invar}^{(2)} = \cdots = \mathbf{q}_{invar}^{(L)} \quad (2.104)$$

$\mathbf{q}_{var}^{(l)}, \mathbf{q}_{invar}^{(l)}$  ( $l = 1, 2, \dots, L$ ) は  $l$  番目の瞬時の時変 , 時不变コンフィギュレーションを表す .

タスク関数  $e(q)$  は以下から構成される .

$$\mathbf{e}(\mathbf{q}) := \left( e^{(1)T}(\mathbf{q}_{var}^{(1)}, \mathbf{q}_{invar}) \quad e^{(2)T}(\mathbf{q}_{var}^{(2)}, \mathbf{q}_{invar}) \quad \cdots \quad e^{(L)T}(\mathbf{q}_{var}^{(L)}, \mathbf{q}_{invar}) \right)^T \quad (2.105)$$

$e^{(l)}(\mathbf{q}_{var}^{(l)}, \mathbf{q}_{invar})$  ( $l = 1, 2, \dots, L$ ) は  $l$  番目の瞬時のタスク関数を表す .

```

:init &key (name) [method]
  (instant-config-task-list)
  (norm-regular-scale-max 1.000000e-04)
  (norm-regular-scale-offset 1.000000e-07)
  (adjacent-regular-scale 0.005)
  (adjacent-regular-scale-list)
  (torque-regular-scale 0.001)

Initialize instance

:instant-config-task-list [method]
  return instant-config-task-list

:dim-variant-config [method]
  return dim( $\mathbf{q}_{var}$ ) :=  $\sum_{l=1}^L dim(\mathbf{q}_{var}^{(l)})$ 

:dim-invariant-config [method]
  return dim( $\mathbf{q}_{invar}$ ) := dim( $\mathbf{q}_{invar}^{(l)}$ ) ( $l = 1, 2, \dots, L$  で同じ)

:dim-config [method]
  return dim( $\mathbf{q}$ ) := dim( $\mathbf{q}_{var}$ ) + dim( $\mathbf{q}_{invar}$ )

:dim-task [method]
  return dim( $\mathbf{e}$ ) :=  $\sum_{l=1}^L dim(\mathbf{e}^{(l)})$ 

:variant-config-vector [method]
  return  $\mathbf{q}_{var} := \begin{pmatrix} \mathbf{q}_{var}^{(1)} \\ \mathbf{q}_{var}^{(2)} \\ \vdots \\ \mathbf{q}_{var}^{(L)} \end{pmatrix}$ 

:invariant-config-vector [method]

```

return  $\mathbf{q}_{invar} := \mathbf{q}_{invar}^{(l)}$  ( $l = 1, 2, \dots, L$  同じ)

**:config-vector**

$$\text{return } \mathbf{q} := \begin{pmatrix} \mathbf{q}_{var} \\ \mathbf{q}_{invar} \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \mathbf{q}_{var}^{(1)} \\ \mathbf{q}_{var}^{(2)} \\ \vdots \\ \mathbf{q}_{var}^{(L)} \\ \mathbf{q}_{invar} \end{pmatrix}$$

[method]

**:set-variant-config** *variant-config-new*  $\mathcal{E}\text{key}$  (*relative?* *nil*)

(*apply-to-robot?* *t*)

Set  $\mathbf{q}_{var}$ .

**:set-invariant-config** *invariant-config-new*  $\mathcal{E}\text{key}$  (*relative?* *nil*)

(*apply-to-robot?* *t*)

Set  $\mathbf{q}_{invar}$ .

**:set-config** *config-new*  $\mathcal{E}\text{key}$  (*relative?* *nil*)

(*apply-to-robot?* *t*)

Set  $\mathbf{q}$ .

**:task-value**  $\mathcal{E}\text{key}$  (*update?* *t*)

$$\text{return } \mathbf{e}(\mathbf{q}) := \begin{pmatrix} \mathbf{e}^{(1)}(\mathbf{q}_{var}^{(1)}, \mathbf{q}_{invar}) \\ \mathbf{e}^{(2)}(\mathbf{q}_{var}^{(2)}, \mathbf{q}_{invar}) \\ \vdots \\ \mathbf{e}^{(L)}(\mathbf{q}_{var}^{(L)}, \mathbf{q}_{invar}) \end{pmatrix}$$

[method]

**:variant-task-jacobian**

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}_{var}} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \mathbf{e}^{(1)}}{\partial \mathbf{q}_{var}^{(1)}} & & & \mathbf{O} \\ & \frac{\partial \mathbf{e}^{(2)}}{\partial \mathbf{q}_{var}^{(2)}} & & \\ & & \ddots & \\ \mathbf{O} & & & \frac{\partial \mathbf{e}^{(L)}}{\partial \mathbf{q}_{var}^{(L)}} \end{pmatrix} \quad (2.106)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}_{var}} \in \mathbb{R}^{\dim(\mathbf{e}) \times \dim(\mathbf{q}_{var})}$

**:invariant-task-jacobian**

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}_{invar}} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \mathbf{e}^{(1)}}{\partial \mathbf{q}_{invar}} \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{(2)}}{\partial \mathbf{q}_{invar}} \\ \vdots \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{(L)}}{\partial \mathbf{q}_{invar}} \end{pmatrix} \quad (2.107)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}_{invar}} \in \mathbb{R}^{\dim(\mathbf{e}) \times \dim(\mathbf{q}_{invar})}$

**:task-jacobian**

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}_{var}} & \frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}_{invar}} \end{pmatrix} \quad (2.108)$$

$$= \begin{pmatrix} \frac{\partial \mathbf{e}^{(1)}}{\partial \mathbf{q}_{var}^{(1)}} & \mathbf{O} & \frac{\partial \mathbf{e}^{(1)}}{\partial \mathbf{q}_{invar}} \\ & \frac{\partial \mathbf{e}^{(2)}}{\partial \mathbf{q}_{var}^{(2)}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{(2)}}{\partial \mathbf{q}_{invar}} \\ & \ddots & \\ \mathbf{O} & \frac{\partial \mathbf{e}^{(L)}}{\partial \mathbf{q}_{var}^{(L)}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{(L)}}{\partial \mathbf{q}_{invar}} \end{pmatrix} \quad (2.109)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}} \in \mathbb{R}^{\text{dim}(\mathbf{e}) \times \text{dim}(\mathbf{q})}$

:variant-config-inequality-constraint-matrix  $\&\text{key}$  (*update?* nil)

[method]

$$\mathbf{C}_{var} := \begin{pmatrix} \mathbf{C}_{var}^{(1)} & & \mathbf{O} \\ & \mathbf{C}_{var}^{(2)} & \\ & & \ddots \\ \mathbf{O} & & \mathbf{C}_{var}^{(L)} \end{pmatrix} \quad (2.110)$$

return  $\mathbf{C}_{var} \in \mathbb{R}^{N_{var-ineq} \times \text{dim}(\mathbf{q}_{var})}$

:variant-config-inequality-constraint-vector  $\&\text{key}$  (*update?* *t*)

[method]

$$\mathbf{d}_{var} := \begin{pmatrix} \mathbf{d}_{var}^{(1)} \\ \mathbf{d}_{var}^{(2)} \\ \vdots \\ \mathbf{d}_{var}^{(L)} \end{pmatrix} \quad (2.111)$$

return  $\mathbf{d}_{var} \in \mathbb{R}^{N_{var-ineq}}$

:invariant-config-inequality-constraint-matrix  $\&\text{key}$  (*update?* nil)

[method]

$$\mathbf{C}_{invar} := \mathbf{C}_{invar}^{(l)} \quad (l = 1, 2, \dots, L \text{ で同じ}) \quad (2.112)$$

return  $\mathbf{C}_{invar} \in \mathbb{R}^{N_{invar-ineq} \times \text{dim}(\mathbf{q}_{invar})}$

:invariant-config-inequality-constraint-vector  $\&\text{key}$  (*update?* *t*)

[method]

$$\mathbf{d}_{invar} := \mathbf{d}_{invar}^{(l)} \quad (l = 1, 2, \dots, L \text{ で同じ}) \quad (2.113)$$

return  $\mathbf{d}_{invar} \in \mathbb{R}^{N_{invar-ineq}}$

:config-inequality-constraint-matrix  $\&\text{key}$  (*update?* nil)  
(*update-collision?* nil)

[method]

$$\mathbf{C} := \begin{pmatrix} \mathbf{C}_{var} & \\ & \mathbf{C}_{invar} \\ \hline & \mathbf{C}_{col} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{ineq} \times \text{dim}(\mathbf{q})} \quad (2.114)$$

return  $\mathbf{C} \in \mathbb{R}^{N_{ineq} \times \text{dim}(\mathbf{q})}$

$$\mathbf{d} := \begin{pmatrix} \mathbf{d}_{var} \\ \mathbf{d}_{invar} \\ \mathbf{d}_{col} \end{pmatrix} \quad (2.115)$$

return  $\mathbf{d} \in \mathbb{R}^{N_{ineq}}$

`:variant-config-equality-constraint-matrix &key (update? nil)` [method]

$$A_{var} := \begin{pmatrix} A_{var}^{(1)} & & O \\ & A_{var}^{(2)} & \\ & & \ddots \\ O & & A_{var}^{(L)} \end{pmatrix} \quad (2.116)$$

return  $A_{var} \in \mathbb{R}^{N_{var-eq} \times dim(\mathbf{q}_{var})}$

`:variant-config-equality-constraint-vector &key (update? t)` [method]

$$\mathbf{b}_{var} := \begin{pmatrix} \mathbf{b}_{var}^{(1)} \\ \mathbf{b}_{var}^{(2)} \\ \vdots \\ \mathbf{b}_{var}^{(L)} \end{pmatrix} \quad (2.117)$$

return  $b_{var} \in \mathbb{R}^{N_{var-eq}}$

**:invariant-config-equality-constraint-matrix** &key (update? nil) [method]

$$A_{invar} := A_{invar}^{(l)} \quad (l = 1, 2, \dots, L \text{ で同じ}) \quad (2.118)$$

return  $\mathbf{A}_{invar} \in \mathbb{R}^{N_{invar-eq} \times \dim(\mathbf{q}_{invar})}$

**:invariant-config-equality-constraint-vector** &key (*update?* *t*) [method]

$$b_{invar} := b_{invar}^{(l)} \quad (l = 1, 2, \dots, L \text{ で同じ}) \quad (2.119)$$

return  $b_{invar} \in \mathbb{R}^{N_{invar-eq}}$

**:config-equality-constraint-matrix** &key (*update?* nil) [method]

$$A := \begin{pmatrix} A_{var} & \\ & A_{invar} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{eq} \times \dim(\mathbf{q})} \quad (2.120)$$

return  $A \in \mathbb{R}^{N_{eq} \times dim(\mathbf{q})}$

**:config-equality-constraint-vector** &key (*update?* *t*) [method]

$$\mathbf{b} := \begin{pmatrix} \mathbf{b}_{var} \\ \mathbf{b}_{invar} \end{pmatrix} \quad (2.121)$$

return  $\mathbf{b} \in \mathbb{R}^{N_{eq}}$

:update-collision-inequality-constraint

[method]

update inequality matrix  $\mathbf{C}_{col,\theta}^{(l)}, \mathbf{C}_{col,\phi}^{(l)}$  and inequality vector  $\mathbf{d}_{col}^{(l)}$  for collision avoidance ( $l = 1, 2, \dots, L$ )

:collision-inequality-constraint-matrix  $\mathcal{E}key$  (update? nil)

[method]

$$\hat{\mathbf{C}}_{col,\theta}^{(l)} := N_{col}^{(l)} \begin{pmatrix} dim(\boldsymbol{\theta}^{(l)}) & dim(\hat{\mathbf{w}}^{(l)}) & dim(\boldsymbol{\tau}^{(l)}) \\ \mathbf{C}_{col,\theta}^{(l)} & \mathbf{O} & \mathbf{O} \end{pmatrix} \quad (2.122)$$

$$\mathbf{C}_{col} := \begin{pmatrix} \hat{\mathbf{C}}_{col,\theta}^{(1)} & & \mathbf{C}_{col,\phi}^{(1)} \\ & \hat{\mathbf{C}}_{col,\theta}^{(2)} & \mathbf{C}_{col,\phi}^{(2)} \\ & & \ddots \\ & & \hat{\mathbf{C}}_{col,\theta}^{(L)} & \mathbf{C}_{col,\phi}^{(L)} \end{pmatrix} \quad (2.123)$$

return  $\mathbf{C}_{col} \in \mathbb{R}^{N_{col} \times dim(\mathbf{q})}$

:collision-inequality-constraint-vector  $\mathcal{E}key$  (update? nil)

[method]

$$\mathbf{d}_{col} := \begin{pmatrix} \mathbf{d}_{col}^{(1)} \\ \mathbf{d}_{col}^{(2)} \\ \vdots \\ \mathbf{d}_{col}^{(L)} \end{pmatrix} \quad (2.124)$$

return  $\mathbf{d}_{col} \in \mathbb{R}^{N_{col}}$

:adjacent-regular-matrix  $\mathcal{E}key$  (update? nil)

[method]

二次形式の正則化項として次式を考える。

$$F_{adj}(\mathbf{q}) = \sum_{l=1}^{L-1} k_{adj}^{(l)} \|\boldsymbol{\theta}_{l+1} - \boldsymbol{\theta}_l\|^2 \quad (2.125)$$

$$= \mathbf{q}^T \mathbf{W}_{adj} \mathbf{q} \quad (2.126)$$

ここで、

$$\bar{\mathbf{I}}_{adj}^{(l)} := \frac{dim(\boldsymbol{\theta}^{(l)})}{dim(\mathbf{q}_{var}^{(l)})} \begin{pmatrix} dim(\boldsymbol{\theta}^{(l)}) & dim(\hat{\mathbf{w}}^{(l)}) & dim(\boldsymbol{\tau}^{(l)}) \\ k_{adj}^{(l)} \mathbf{I} & & \\ & & \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{q}_{var}^{(l)}) \times dim(\mathbf{q}_{var}^{(l)})} \quad (2.127)$$

$$\bar{\mathbf{W}}_{adj} := \begin{pmatrix} \bar{\mathbf{I}}_{adj}^{(1)} & -\bar{\mathbf{I}}_{adj}^{(1)} & & \mathbf{O} \\ -\bar{\mathbf{I}}_{adj}^{(1)} & \bar{\mathbf{I}}_{adj}^{(1)} + \bar{\mathbf{I}}_{adj}^{(2)} & -\bar{\mathbf{I}}_{adj}^{(2)} & \\ & & \ddots & \\ & & & \bar{\mathbf{I}}_{adj}^{(L-2)} + \bar{\mathbf{I}}_{adj}^{(L-1)} & -\bar{\mathbf{I}}_{adj}^{(L-1)} \\ \mathbf{O} & & & -\bar{\mathbf{I}}_{adj}^{(L-1)} & \bar{\mathbf{I}}_{adj}^{(L-1)} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{q}_{var}) \times dim(\mathbf{q}_{var})} \quad (2.128)$$

$$\mathbf{W}_{adj} := \begin{pmatrix} \bar{\mathbf{W}}_{adj} & \mathbf{O} \end{pmatrix} \quad (2.129)$$

return  $\mathbf{W}_{adj} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{q}) \times dim(\mathbf{q})}$

:adjacent-regular-vector  $\&key\ (update?\ t)$

[method]

$$\mathbf{v}_{adj} := \mathbf{W}_{adj}\mathbf{q} \quad (2.130)$$

return  $\mathbf{v}_{adj} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{q})}$

:torque-regular-matrix  $\&key\ (update?\ nil)$

[method]

$$\bar{\mathbf{W}}_{trq} := \begin{pmatrix} \mathbf{W}_{trq}^{(1)} & & & \mathbf{O} \\ & \mathbf{W}_{trq}^{(2)} & & \\ & & \ddots & \\ \mathbf{O} & & & \mathbf{W}_{trq}^{(L)} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{q}_{var}) \times dim(\mathbf{q}_{var})} \quad (2.131)$$

$$\mathbf{W}_{trq} := \begin{pmatrix} \bar{\mathbf{W}}_{trq} & \\ & \mathbf{O} \end{pmatrix} \quad (2.132)$$

return  $\mathbf{W}_{trq} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{q}) \times dim(\mathbf{q})}$

:torque-regular-vector  $\&key\ (update?\ t)$

[method]

$$\bar{\mathbf{v}}_{trq} := \begin{pmatrix} \mathbf{v}_{trq}^{(1)} \\ \mathbf{v}_{trq}^{(2)} \\ \vdots \\ \mathbf{v}_{trq}^{(L)} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{q}_{var})} \quad (2.133)$$

$$\mathbf{v}_{trq} := \begin{pmatrix} \bar{\mathbf{v}}_{trq} \\ \mathbf{0} \end{pmatrix} \quad (2.134)$$

return  $\mathbf{v}_{trq} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{q})}$

:regular-matrix

[method]

$$\mathbf{W}_{reg} := \min(k_{max}, \|e\|^2 + k_{off})\mathbf{I} + \mathbf{W}_{adj} + k_{trq}\mathbf{W}_{trq} \quad (2.135)$$

return  $\mathbf{W}_{reg} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{q}) \times dim(\mathbf{q})}$

:regular-vector

[method]

$$\mathbf{v}_{reg} := \mathbf{v}_{adj} + k_{trq}\mathbf{v}_{trq} \quad (2.136)$$

return  $\mathbf{v}_{reg} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{q})}$

:update-viewer

Update viewer.

[method]

:print-status

[method]

Print status.

```
:play-animation &key (robot-env)
  (loop? t)
  (visualize-callback-func)
  (visualize-force? nil)
  (force-color #f(0.8 0.2 0.2))
```

Play motion.

```
:generate-robot-state-list &key (robot-env)
```

```
(joint-name-list (send-all (send robot-env :robot :joint-list) :name))
(root-link-name (send (car (send robot-env :robot :links)) :name))
(step-time 0.004)
(divide-num 100)
(limb-list (list :rleg :lleg :rarm :larm)))
```

Generate and return robot state list.

### 3 勾配を用いた制約付き非線形最適化

#### 3.1 逐次二次計画法

##### sqp-optimization

[class]

:super	<b>propertied-object</b>
:slots	(-_config-task instance of configuration-task) (-qp-retval buffer for QP return value) (-qp-status buffer for QP status) (-qp-int-status QP status) (-task-value buffer for task value $e(\mathbf{q})$ ) (-task-jacobian buffer for task jacobian $\frac{\partial e}{\partial \mathbf{q}}$ ) (-dim-config-buf-matrix matrix buffer) (-convergence-check-func function to check convergence) (-failure-callback-func callback function of failure) (-pre-process-func pre-process function) (-post-process-func post-process function) (-i buffer for iteration count) (-status status of sqp optimization) (-no-visualize? whether to suppress visualization) (-no-print? whether to suppress print)

逐次二次計画法のクラス .

instant-configuration-task クラスや trajectory-configuration-task クラスの instance (以降 , configuration-task と呼ぶ) が与えられた時に , configuration-task のタスク関数ノルム二乗  $\|e(\mathbf{q})\|^2$  を最小にするコンフィギュレーション  $q$  を反復計算により求める .

```
:init &key (config-task)
```

```
(convergence-check-func)
```

[method]

```

(failure-callback-func)
(pre-process-func)
(post-process-func)
(no-visualize?)
(no-print?)
&allow-other-keys

Initialize instance

:config-task [method]
    Return configuration-task instance

:optimize &key (loop-num 100) [method]
    (loop-num-min)
    (update-viewer-interval 1)
    (print-status-interval 10)

Optimize

In each iteration, do following:


1. check convergence
2. call pre-process function
3. print status
4. solve QP and update configuration
5. call post-process function



Solve following QP:

$$\min_{\Delta \mathbf{q}^{(k)}} \frac{1}{2} \Delta \mathbf{q}^{(k)T} \mathbf{W} \Delta \mathbf{q}^{(k)} + \mathbf{v}^T \Delta \mathbf{q}^{(k)} \quad (3.1)$$


$$\text{s.t. } \mathbf{A} \Delta \mathbf{q}^{(k)} = \mathbf{b} \quad (3.2)$$


$$\mathbf{C} \Delta \mathbf{q}^{(k)} \geq \mathbf{d} \quad (3.3)$$


$$\text{where } \mathbf{W} = \left( \frac{\partial \mathbf{e}(\mathbf{q}^{(k)})}{\partial \mathbf{q}^{(k)}} \right)^T \left( \frac{\partial \mathbf{e}(\mathbf{q}^{(k)})}{\partial \mathbf{q}^{(k)}} \right) + \mathbf{W}_{reg} \quad (3.4)$$


$$\mathbf{v} = \left( \frac{\partial \mathbf{e}(\mathbf{q}^{(k)})}{\partial \mathbf{q}^{(k)}} \right)^T \mathbf{e}(\mathbf{q}^{(k)}) + \mathbf{v}_{reg} \quad (3.5)$$


and update configuration:

$$\mathbf{q}^{(k+1)} = \mathbf{q}^{(k)} + \Delta \mathbf{q}^{(k)*} \quad (3.6)$$


:iteration [method]
    Return iteration index.

:status [method]
    Return status of sqp optimization.

```

## 3.2 複数解候補を用いた逐次二次計画法

### 3.2.1 複数解候補を用いた逐次二次計画法の理論

式 (1.4a) の最適化問題に逐次二次計画法などの制約付き非線形最適化手法を適用すると、初期値から勾配方

向に進行して至る局所最適解が得られると考えられる。したがって解は初期値に強く依存する。

式 (1.4a) の代わりに、以下の最適化問題を考える。

$$\min_{\hat{\mathbf{q}}} \sum_{i \in \mathcal{I}} \left\{ F(\mathbf{q}^{(i)}) + k_{msc} F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i) \right\} \quad (3.7)$$

$$\text{s.t. } \mathbf{A}\mathbf{q}^{(i)} = \bar{\mathbf{b}} \quad i \in \mathcal{I} \quad (3.8)$$

$$\mathbf{C}\mathbf{q}^{(i)} \geq \bar{\mathbf{d}} \quad i \in \mathcal{I} \quad (3.9)$$

$$\text{where } \hat{\mathbf{q}} \stackrel{\text{def}}{=} \begin{pmatrix} \mathbf{q}^{(1)T} & \mathbf{q}^{(2)T} & \dots & \mathbf{q}^{(N_{msc})T} \end{pmatrix}^T \quad (3.10)$$

$$\mathcal{I} \stackrel{\text{def}}{=} \{1, 2, \dots, N_{msc}\} \quad (3.11)$$

$$F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i) \stackrel{\text{def}}{=} -\frac{1}{2} \sum_{\substack{j \in \mathcal{I} \\ j \neq i}} \log \|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)})\|^2 \quad (3.12)$$

$$\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)}) \stackrel{\text{def}}{=} \mathbf{q}^{(i)} - \mathbf{q}^{(j)} \quad (3.13)$$

$N_{msc}$  は解候補の個数で、事前に与えるものとする。 $msc$  は複数解候補 (multiple solution candidates) を表す。これは、複数の解候補を同時に探索し、それぞれの解候補  $\mathbf{q}^{(i)}$  が本来の目的関数  $F(\mathbf{q}^{(i)})$  を小さくして、なおかつ、解候補どうしの距離が大きくなるように最適化することを表している。これにより、初期値に依存した唯一の局所解だけでなく、そこから離れた複数の局所解を得ることが可能となり、通常の最適化に比べてより良い解が得られることが期待される。以降では、解候補どうしの距離のコストを表す項  $F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i)$  を解候補分散項と呼ぶ<sup>8</sup>。

解候補分散項のヤコビ行列、ヘッセ行列の各成分は次式で得られる<sup>9</sup>。

$$\nabla_i F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i) = \frac{\partial F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i)}{\partial \mathbf{q}^{(i)}} \quad (3.16a)$$

$$= -\frac{1}{2} \sum_{\substack{j \in \mathcal{I} \\ j \neq i}} \frac{\partial}{\partial \mathbf{q}^{(i)}} \log \|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)})\|^2 \quad (3.16b)$$

$$= -\sum_{\substack{j \in \mathcal{I} \\ j \neq i}} \frac{1}{\|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)})\|^2} \left( \frac{\partial \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)})}{\partial \mathbf{q}^{(i)}} \right)^T \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)}) \quad (3.16c)$$

$$= -\sum_{\substack{j \in \mathcal{I} \\ j \neq i}} \frac{\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)})}{\|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)})\|^2} \quad (3.16d)$$

$$(3.16e)$$

<sup>8</sup>解分散項の  $\log$  を無くすことは適切ではない。なぜなら、 $d = \|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)})\|$  として、解分散項の勾配は、

$$\frac{\partial}{\partial d} \left( -\frac{1}{2} \log d^2 \right) = -\frac{1}{d} \rightarrow -\infty \quad (d \rightarrow +0) \quad \frac{\partial}{\partial d} \left( -\frac{1}{2} \log d^2 \right) = -\frac{1}{d} \rightarrow 0 \quad (d \rightarrow \infty) \quad (3.14)$$

となり、最適化により、コンフィギュレーションが近いときほど離れるように更新し、遠くなるとその影響が小さくなる効果が期待される。それに対し、 $\log$  がない場合の勾配は、

$$\frac{\partial}{\partial d} \left( -\frac{1}{2} d^2 \right) = -d \rightarrow 0 \quad (d \rightarrow +0) \quad \frac{\partial}{\partial d} \left( -\frac{1}{2} d^2 \right) = -d \rightarrow -\infty \quad (d \rightarrow \infty) \quad (3.15)$$

となり、コンフィギュレーションが遠くなるほど離れるように更新し、近いときはその影響が小さくなる。これは、コンフィギュレーションが一致する勾配ゼロの点と、無限に離れ発散する最適値をもち、これらは最適化において望まない挙動をもたらす。

<sup>9</sup>ヘッセ行列の導出は以下を参考にした。<https://math.stackexchange.com/questions/175263/gradient-and-hessian-of-general-2-norm>

$$\nabla_k F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i) = \frac{\partial F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i)}{\partial \mathbf{q}^{(k)}} \quad k \in \mathcal{I} \wedge k \neq i \quad (3.17a)$$

$$= -\frac{1}{2} \sum_{\substack{j \in \mathcal{I} \\ j \neq i}} \frac{\partial}{\partial \mathbf{q}^{(k)}} \log \|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)})\|^2 \quad (3.17b)$$

$$= -\frac{1}{2} \frac{\partial}{\partial \mathbf{q}^{(k)}} \log \|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)})\|^2 \quad (3.17c)$$

$$= -\frac{1}{\|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)})\|^2} \left( \frac{\partial \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)})}{\partial \mathbf{q}^{(k)}} \right)^T \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)}) \quad (3.17d)$$

$$= \frac{\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)})}{\|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)})\|^2} \quad (3.17e)$$

$$(3.17f)$$

$$\nabla_{ii}^2 F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i) = \frac{\partial^2 F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i)}{\partial \mathbf{q}^{(i)2}} \quad (3.18a)$$

$$= -\sum_{\substack{j \in \mathcal{I} \\ j \neq i}} \frac{\partial}{\partial \mathbf{q}^{(i)}} \left( \left\{ \|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)})\|^2 \right\}^{-1} \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)}) \right) \quad (3.18b)$$

$$= -\sum_{\substack{j \in \mathcal{I} \\ j \neq i}} \left( -2 \left\{ \|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)})\|^2 \right\}^{-2} \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)}) \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)})^T + \left\{ \|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)})\|^2 \right\}^{-1} \mathbf{I} \right) \quad (3.18c)$$

$$= -\sum_{\substack{j \in \mathcal{I} \\ j \neq i}} \left( -\frac{2}{\|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)})\|^4} \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)}) \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)})^T + \frac{1}{\|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)})\|^2} \mathbf{I} \right) \quad (3.18d)$$

$$= -\sum_{\substack{j \in \mathcal{I} \\ j \neq i}} \mathbf{H}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)}) \quad (3.18e)$$

ただし、

$$\mathbf{H}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)}) \stackrel{\text{def}}{=} -\frac{2}{\|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)})\|^4} \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)}) \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)})^T + \frac{1}{\|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)})\|^2} \mathbf{I} \quad (3.19)$$

$$\nabla_{ik}^2 F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i) = \frac{\partial^2 F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i)}{\partial \mathbf{q}^{(i)} \partial \mathbf{q}^{(k)}} \quad k \in \mathcal{I} \wedge k \neq i \quad (3.20a)$$

$$= -\sum_{\substack{j \in \mathcal{I} \\ j \neq i}} \frac{\partial}{\partial \mathbf{q}^{(k)}} \left( \left\{ \|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)})\|^2 \right\}^{-1} \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)}) \right) \quad (3.20b)$$

$$= -\frac{\partial}{\partial \mathbf{q}^{(k)}} \left( \left\{ \|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)})\|^2 \right\}^{-1} \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)}) \right) \quad (3.20c)$$

$$= -\left( 2 \left\{ \|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)})\|^2 \right\}^{-2} \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)}) \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)})^T - \left\{ \|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)})\|^2 \right\}^{-1} \mathbf{I} \right) \quad (3.20d)$$

$$= -\frac{2}{\|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)})\|^4} \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)}) \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)})^T + \frac{1}{\|\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)})\|^2} \mathbf{I} \quad (3.20e)$$

$$= \mathbf{H}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)}) \quad (3.20f)$$

$$\nabla_{kk}^2 F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i) = \frac{\partial^2 F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i)}{\partial \mathbf{q}^{(k)2}} \quad k \in \mathcal{I} \wedge k \neq i \quad (3.21a)$$

$$= \frac{\partial}{\partial \mathbf{q}^{(k)}} \left( \left\{ \| \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)}) \|^2 \right\}^{-1} \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)}) \right) \quad (3.21b)$$

$$= - \left( -\frac{2}{\| \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)}) \|^4} \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)}) \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)})^T + \frac{1}{\| \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)}) \|^2} \mathbf{I} \right) \quad (3.21c)$$

$$= -\mathbf{H}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)}) \quad (3.21d)$$

$$\nabla_{kl}^2 F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i) = \frac{\partial^2 F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i)}{\partial \mathbf{q}^{(k)} \partial \mathbf{q}^{(l)}} \quad k \in \mathcal{I} \wedge l \in \mathcal{I} \wedge k \neq i \wedge l \neq i \wedge k \neq l \quad (3.22a)$$

$$= \frac{\partial}{\partial \mathbf{q}^{(l)}} \left( \left\{ \| \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)}) \|^2 \right\}^{-1} \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(k)}) \right) \quad (3.22b)$$

$$= \mathbf{O} \quad (3.22c)$$

したがって，解候補分散項のヤコビ行列，ヘッセ行列は次式で表される．

$$\nabla F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i) = \frac{\partial F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i)}{\partial \hat{\mathbf{q}}} \quad (3.23a)$$

$$= \begin{pmatrix} \frac{\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(1)})}{\| \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(1)}) \|^2} \\ \vdots \\ \frac{\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(i-1)})}{\| \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(i-1)}) \|^2} \\ - \sum_{\substack{j \in \mathcal{I} \\ j \neq i}} \frac{\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)})}{\| \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)}) \|^2} \\ \frac{\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(i+1)})}{\| \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(i+1)}) \|^2} \\ \vdots \\ \frac{\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(N_{msc})})}{\| \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(N_{msc})}) \|^2} \end{pmatrix} \quad (3.23b)$$

$$\mathbf{v}_{msc} \stackrel{\text{def}}{=} \sum_{i \in \mathcal{I}} \nabla F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i) \quad (3.23c)$$

$$= 2 \begin{pmatrix} - \sum_{\substack{j \in \mathcal{I} \\ j \neq 1}} \frac{\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(1)}, \mathbf{q}^{(j)})}{\| \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(1)}, \mathbf{q}^{(j)}) \|^2} \\ \vdots \\ - \sum_{\substack{j \in \mathcal{I} \\ j \neq N_{msc}}} \frac{\mathbf{d}(\mathbf{q}^{(N_{msc})}, \mathbf{q}^{(j)})}{\| \mathbf{d}(\mathbf{q}^{(N_{msc})}, \mathbf{q}^{(j)}) \|^2} \end{pmatrix} \quad (3.23d)$$

$$\nabla^2 F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i) = \frac{\partial^2 F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i)}{\partial \hat{\mathbf{q}}^2} \quad (3.24a)$$

$$= i \begin{pmatrix} 1 & \cdots & i-1 & i & i+1 & \cdots & N_{msc} \\ \vdots & & \ddots & & & & \\ i-1 & & -\mathbf{H}_{i,i-1} & \mathbf{H}_{i,i-1} & & & \\ \mathbf{H}_{i,1} & \cdots & \mathbf{H}_{i,i-1} & -\sum_{\substack{j \in \mathcal{I} \\ j \neq i}} \mathbf{H}_{i,j} & \mathbf{H}_{i,i+1} & \cdots & \mathbf{H}_{i,N_{msc}} \\ i+1 & & & \mathbf{H}_{i,i+1} & -\mathbf{H}_{i,i+1} & & \\ \vdots & & & & \vdots & & \ddots \\ N_{msc} & & & \mathbf{H}_{i,N_{msc}} & & & -\mathbf{H}_{i,N_{msc}} \end{pmatrix} \quad (3.24b)$$

$$\mathbf{W}_{msc} \stackrel{\text{def}}{=} \sum_{i \in \mathcal{I}} \nabla^2 F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i) \quad (3.24c)$$

$$= 2 \begin{pmatrix} -\sum_{\substack{j \in \mathcal{I} \\ j \neq i}} \mathbf{H}_{1,j} & \mathbf{H}_{1,2} & \cdots & \mathbf{H}_{1,N_{msc}} \\ \mathbf{H}_{2,1} & -\sum_{\substack{j \in \mathcal{I} \\ j \neq i}} \mathbf{H}_{2,j} & & \mathbf{H}_{2,N_{msc}} \\ \vdots & & \ddots & \vdots \\ \mathbf{H}_{N_{msc},1} & \mathbf{H}_{N_{msc},2} & \cdots & -\sum_{\substack{j \in \mathcal{I} \\ j \neq i}} \mathbf{H}_{N_{msc},j} \end{pmatrix} \quad (3.24d)$$

ただし、 $\mathbf{H}(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)})$  を  $\mathbf{H}_{i,j}$  と略して記す。また、 $d(\mathbf{q}^{(i)}, \mathbf{q}^{(j)}) = -d(\mathbf{q}^{(j)}, \mathbf{q}^{(i)})$ 、 $\mathbf{H}_{i,j} = \mathbf{H}_{j,i}$  を利用した。

解候補分散項  $\sum_{i \in \mathcal{I}} F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}; i)$  による二次計画問題の目的関数 (式 (1.5a)) は次式で表される。

$$\sum_{i \in \mathcal{I}} \left\{ F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}_k; i) + \nabla F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}_k; i)^T \Delta \hat{\mathbf{q}}_k + \frac{1}{2} \Delta \hat{\mathbf{q}}_k^T \nabla^2 F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}_k; i) \Delta \hat{\mathbf{q}}_k \right\} \quad (3.25)$$

$$= \sum_{i \in \mathcal{I}} F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}_k; i) + \left\{ \sum_{i \in \mathcal{I}} \nabla F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}_k; i) \right\}^T \Delta \hat{\mathbf{q}}_k + \frac{1}{2} \Delta \hat{\mathbf{q}}_k^T \left\{ \sum_{i \in \mathcal{I}} \nabla^2 F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}_k; i) \right\} \Delta \hat{\mathbf{q}}_k \quad (3.26)$$

$$= \sum_{i \in \mathcal{I}} F_{msc}(\hat{\mathbf{q}}_k; i) + \mathbf{v}_{msc}^T \Delta \hat{\mathbf{q}}_k + \frac{1}{2} \Delta \hat{\mathbf{q}}_k^T \mathbf{W}_{msc} \Delta \hat{\mathbf{q}}_k \quad (3.27)$$

$\mathbf{W}_{msc}$  が必ずしも半正定値行列ではないことに注意する必要がある。以下のようにして  $\mathbf{W}_{msc}$  に近い正定値行列を計算し用いることで対処する<sup>10</sup>。 $\mathbf{W}_{msc}$  が次式のように固有値分解されるとする。

$$\mathbf{W}_{msc} = \mathbf{V}_{msc} \mathbf{D}_{msc} \mathbf{V}_{msc}^{-1} \quad (3.28)$$

ただし、 $\mathbf{D}_{msc}$  は固有値を対角成分にもつ対角行列、 $\mathbf{V}_{msc}$  は固有ベクトルを並べた行列である。このとき  $\mathbf{W}_{msc}$  に近い正定値行列  $\tilde{\mathbf{W}}_{msc}$  は次式で得られる。

$$\tilde{\mathbf{W}}_{msc} = \mathbf{V}_{msc} \mathbf{D}_{msc}^+ \mathbf{V}_{msc}^{-1} \quad (3.29)$$

ただし、 $\mathbf{D}_{msc}^+$  は  $\mathbf{D}_{msc}$  の対角成分のうち、負のものを 0 で置き換えた対角行列である。

式 (3.7)において、解候補を分散させながら、最終的に本来の目的関数を最小にする解を得るために、SQP のイテレーションごとに、解候補分散項のスケール  $k_{msc}$  を次式のように更新することが有効である。

$$k_{msc} \leftarrow \min(\gamma_{msc} k_{msc}, k_{msc-min}) \quad (3.30)$$

$\gamma_{msc}$  は  $0 < \gamma_{msc} < 1$  なるスケール減少率、 $k_{msc-min}$  はスケール最小値を表す。

<sup>10</sup> $\mathbf{W}_{msc}$  が対称行列であることから、以下を参考にした。[https://math.stackexchange.com/questions/648809/how-to-find-closest-positive-definite-matrix-of-non-symmetric-matrix#comment1689831\\_649522](https://math.stackexchange.com/questions/648809/how-to-find-closest-positive-definite-matrix-of-non-symmetric-matrix#comment1689831_649522)

### 3.2.2 複数解候補を用いた逐次二次計画法の実装

**sqp-msc-optimization** [class]

:super	<b>sqp-optimization</b>
:slots	(_.num-msc number of multiple solution candidates $N_{msc}$ ) (_.config-task-list list of configuration-task instance) (_.dispersion-scale $k_{msc}$ ) (_.dispersion-scale-min $k_{msc-min}$ , minimum of $k_{msc}$ ) (_.dispersion-scale-decrease-ratio $\gamma_{msc}$ , decrease ration of $k_{msc}$ ) (_.config-vector-dist2-min minimum squared distance of configuration vector) (_.dispersion-matrix buffer for $W_{msc}$ )

複数回候補を用いた逐次二次計画法のクラス .

instant-configuration-task クラスや trajectory-configuration-task クラスの instance (以降, configuration-task と呼ぶ) が与えられた時に, configuration-task のタスク関数 ノルム二乗  $\|e(q)\|^2$  を最小にするコンフィギュレーション  $q$  を, 複数の解候補を同時に考慮しながら反復計算により求める.

```
:init &rest args &key (num-msc 3) [method]
  (dispersion-scale 0.01)
  (dispersion-scale-min 0.0)
  (dispersion-scale-decrease-ratio 0.5)
  (config-vector-dist2-min 1.000000e-10)
  &allow-other-keys
```

## Initialize instance

**:config-task-list** [method]

Return list of configuration-task instance

**:dispersion-matrix** [method]

式(3.23d)参照.

return  $\mathbf{W}_{msc} \in \mathbb{R}^{N_{msc} dim(\mathbf{q}) \times N_{msc} dim(\mathbf{q})}$

:dispersion-vector [method]

式(3.24d)参照.

return  $\mathbf{v}_{msc} \in \mathbb{R}^{N_{msc} dim(\mathbf{q})}$

4 動作生成の拡張

#### 4.1 マニピュレーションの動作生成

**robot-object-environment** [class]  
 :super      **robot-environment**  
 :slots      ( $\_obj\ \mathcal{O}$ )  
               ( $\_obj$ -with-root-virtual  $\hat{\mathcal{O}}$ )

ロボットと物体とロボット・環境間の接觸のクラス .

以下を合わせた関節・リンク構造に関するメソッドが定義されている .

1. 浮遊ルートリンクのための仮想関節付きのロボットの関節
2. 物体位置姿勢を表す仮想関節
3. 接触位置を定める仮想関節

関節・リンク構造を定めるために，初期化時に以下を与える

**robot**  $\mathcal{R}$  ロボット (cascaded-link クラスのインスタンス) .

**object**  $\mathcal{O}$  物体 (cascaded-link クラスのインスタンス) . 関節をもたないことを前提とする .

**contact-list**  $\{\mathcal{C}_1, \mathcal{C}_2, \dots, \mathcal{C}_{N_C}\}$  接触 (2d-planar-contact クラスなどのインスタンス) のリスト .

ロボット  $R$  に，浮遊ルートリンクの変位に対応する仮想関節を付加した仮想関節付きロボット  $\hat{R}$  を内部で保持する . 同様に，物体  $O$  に，物体の変位に対応する仮想関節を付加した仮想関節付き物体  $\hat{O}$  を内部で保持する .

```
:init &key (robot)
           (object)
           (contact-list)
           (root-virtual-mode :6dof)
           (root-virtual-joint-class-list)
           (root-virtual-joint-axis-list)

Initialize instance

:object &rest args
         return  $\mathcal{O}$ 

:object-with-root-virtual &rest args
         return  $\hat{\mathcal{O}}$ 
```

**instant-manipulation-configuration-task** [class]

```
:super instant-configuration-task
:slots (_robot-obj-env robot-object-environment instance)
       (_wrench-obj-vector  $\hat{\mathbf{w}}_{obj}$  [N] [Nm])
       (_num-contact-obj  $N_{cnt-obj} := |\mathcal{T}^{cnt-trg-obj}|$ )
       (_num-act-react  $N_{act-react} := |\mathcal{P}^{act-react}|$ )
       (_dim-wrench-obj dim( $\hat{\mathbf{w}}_{obj}$ ) =  $6N_{cnt-obj}$ )
       (_contact-target-coords-obj-list  $\mathcal{T}^{cnt-trg-obj}$ )
       (_contact-constraint-obj-list list of contact-constraint instance for object)
       (_act-react-pair-list  $\mathcal{P}^{act-react}$ )
```

マニピュレーションによる瞬時コンフィギュレーション  $q^{(l)}$  と瞬時タスク関数  $e^{(l)}(q^{(l)})$  のクラス . マニピュレーション対象の物体の瞬時コンフィギュレーションや瞬時タスク関数を含む .



Initialize instance

**:robot-obj-env** [method]  
return robot-object-environment instance

**:wrench-obj** [method]  
return  $\hat{\mathbf{w}}_{obj}$

**:num-contact-obj** [method]  
return  $N_{cnt\text{-}obj} := |\mathcal{T}^{cnt\text{-}trg\text{-}obj}|$

**:dim-variant-config** [method]

$$dim(\mathbf{q}_{var}) := dim(\boldsymbol{\theta}) + dim(\hat{\mathbf{w}}) + dim(\hat{\mathbf{w}}_{obj}) + dim(\boldsymbol{\tau}) \quad (4.3)$$

$$= N_{var\text{-}joint} + 6N_{cnt} + 6N_{cnt\text{-}obj} + N_{drive\text{-}joint} \quad (4.4)$$

return  $dim(\mathbf{q}_{var})$

**:dim-task** [method]

$$\begin{aligned} dim(\mathbf{e}) &:= dim(\mathbf{e}^{kin}) + dim(\mathbf{e}^{eom\text{-}trans}) + dim(\mathbf{e}^{eom\text{-}rot}) + dim(\mathbf{e}^{eom\text{-}trans\text{-}obj}) \\ &\quad + dim(\mathbf{e}^{eom\text{-}rot\text{-}obj}) + dim(\mathbf{e}^{trq}) + dim(\mathbf{e}^{posture}) \end{aligned} \quad (4.5)$$

$$= 6N_{kin} + 3 + 3 + 3 + 3 + N_{drive\text{-}joint} + N_{posture\text{-}joint} \quad (4.6)$$

return  $dim(\mathbf{e})$

**:variant-config-vector** [method]

$$\text{return } \mathbf{q}_{var} := \begin{pmatrix} \boldsymbol{\theta} \\ \hat{\mathbf{w}} \\ \hat{\mathbf{w}}_{obj} \\ \boldsymbol{\tau} \end{pmatrix}$$

**:config-vector** [method]

$$\text{return } \mathbf{q} := \begin{pmatrix} \mathbf{q}_{var} \\ \mathbf{q}_{invar} \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \boldsymbol{\theta} \\ \hat{\mathbf{w}} \\ \hat{\mathbf{w}}_{obj} \\ \boldsymbol{\tau} \\ \boldsymbol{\phi} \end{pmatrix}$$

**:set-wrench-obj** wrench-obj-new &key (relative? nil) [method]

Set  $\hat{\mathbf{w}}_{obj}$ .

**:set-variant-config** variant-config-new &key (relative? nil) (apply-to-robot? t) [method]

Set  $\mathbf{q}_{var}$ .

**:contact-target-coords-obj-list** [method]

$$T_m^{cnt\text{-}trg\text{-}obj} = \{\mathbf{p}_m^{cnt\text{-}trg\text{-}obj}, \mathbf{R}_m^{cnt\text{-}trg\text{-}obj}\} \quad (m = 1, 2, \dots, N_{cnt\text{-}obj}) \quad (4.7)$$

return  $\mathcal{T}^{cnt-trg-obj} := \{T_1^{cnt-trg-obj}, T_2^{cnt-trg-obj}, \dots, T_{N_{cnt-obj}}^{cnt-trg-obj}\}$

**:contact-constraint-obj-list** [method]  
return list of contact-constraint instance for object

**:wrench-obj-list** [method]  
return  $\{\mathbf{w}_{obj,1}, \mathbf{w}_{obj,2}, \dots, \mathbf{w}_{obj,N_{obj}}\}$

**:force-obj-list** [method]  
return  $\{\mathbf{f}_{obj,1}, \mathbf{f}_{obj,2}, \dots, \mathbf{f}_{obj,N_{cnt-obj}}\}$

**:moment-obj-list** [method]  
return  $\{\mathbf{n}_{obj,1}, \mathbf{n}_{obj,2}, \dots, \mathbf{n}_{obj,N_{cnt-obj}}\}$

**:mg-obj-vec** [method]  
return  $m_{obj}\mathbf{g}$

**:cog-obj**  $\&key$  (*update?*  $t$ ) [method]  
return  $\mathbf{p}_{Gobj}(\mathbf{q})$

**:eom-trans-obj-task-value**  $\&key$  (*update?*  $t$ ) [method]

$$\mathbf{e}^{eom-trans-obj}(\mathbf{q}) = \mathbf{e}^{eom-trans-obj}(\hat{\mathbf{w}}_{obj}) \quad (4.8)$$

$$= \sum_{m=1}^{N_{cnt-obj}} \mathbf{f}_{obj,m} - m_{obj}\mathbf{g} \quad (4.9)$$

return  $\mathbf{e}^{eom-trans-obj}(\mathbf{q}) \in \mathbb{R}^3$

**:eom-rot-obj-task-value**  $\&key$  (*update?*  $t$ ) [method]

$$\mathbf{e}^{eom-rot-obj}(\mathbf{q}) = \mathbf{e}^{eom-rot-obj}(\boldsymbol{\theta}, \hat{\mathbf{w}}_{obj}, \boldsymbol{\phi}) \quad (4.10)$$

$$= \sum_{m=1}^{N_{cnt-obj}} \{(\mathbf{p}_m^{cnt-trg-obj}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) - \mathbf{p}_{Gobj}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi})) \times \mathbf{f}_{obj,m} + \mathbf{n}_{obj,m}\} \quad (4.11)$$

return  $\mathbf{e}^{eom-rot-obj}(\mathbf{q}) \in \mathbb{R}^3$

**:task-value**  $\&key$  (*update?*  $t$ ) [method]

$$\text{return } \mathbf{e}(\mathbf{q}) := \begin{pmatrix} \mathbf{e}^{kin}(\mathbf{q}) \\ \mathbf{e}^{eom-trans}(\mathbf{q}) \\ \mathbf{e}^{eom-rot}(\mathbf{q}) \\ \mathbf{e}^{eom-trans-obj}(\mathbf{q}) \\ \mathbf{e}^{eom-rot-obj}(\mathbf{q}) \\ \mathbf{e}^{trq}(\mathbf{q}) \\ \mathbf{e}^{posture}(\mathbf{q}) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \mathbf{e}^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) \\ \mathbf{e}^{eom-trans}(\hat{\mathbf{w}}) \\ \mathbf{e}^{eom-rot}(\boldsymbol{\theta}, \hat{\mathbf{w}}, \boldsymbol{\phi}) \\ \mathbf{e}^{eom-trans-obj}(\hat{\mathbf{w}}_{obj}) \\ \mathbf{e}^{eom-rot-obj}(\boldsymbol{\theta}, \hat{\mathbf{w}}_{obj}, \boldsymbol{\phi}) \\ \mathbf{e}^{trq}(\boldsymbol{\theta}, \hat{\mathbf{w}}, \boldsymbol{\tau}, \boldsymbol{\phi}) \\ \mathbf{e}^{posture}(\boldsymbol{\theta}) \end{pmatrix}$$

**:eom-trans-obj-task-jacobian-with-wrench-obj** [method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{eom-trans-obj}}{\partial \hat{\mathbf{w}}_{obj}} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-trans-obj}}{\partial \mathbf{f}_{obj,1}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-trans-obj}}{\partial \mathbf{n}_{obj,1}} & \dots & \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-trans-obj}}{\partial \mathbf{f}_{obj,N_{cnt-obj}}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-trans-obj}}{\partial \mathbf{n}_{obj,N_{cnt-obj}}} \end{pmatrix} \quad (4.12)$$

$$= \begin{pmatrix} \mathbf{I}_3 & \mathbf{O}_3 & \dots & \mathbf{I}_3 & \mathbf{O}_3 \end{pmatrix} \quad (4.13)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{eom-trans-obj}}{\partial \hat{\mathbf{w}}_{obj}} \in \mathbb{R}^{3 \times 6N_{cnt-obj}}$

:eom-rot-obj-task-jacobian-with-theta

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot-obj}}{\partial \boldsymbol{\theta}} = \sum_{m=1}^{N_{cnt-obj}} \left\{ -[\mathbf{f}_{obj,m} \times] (\mathbf{J}_{\theta,m}^{cnt-trg-obj}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) - \mathbf{J}_{Gobj\theta}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi})) \right\} \quad (4.14)$$

$$= \left[ \left( \sum_{m=1}^{N_{cnt-obj}} \mathbf{f}_{obj,m} \right) \times \right] \mathbf{J}_{Gobj\theta}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) - \sum_{m=1}^{N_{cnt-obj}} [\mathbf{f}_{obj,m} \times] \mathbf{J}_{\theta,m}^{cnt-trg-obj}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) \quad (4.15)$$

$\sum_{m=1}^{N_{cnt-obj}} \mathbf{f}_{obj,m} = m_{obj} \mathbf{g}$  つまり, eom-trans-obj-task が成立すると仮定すると次式が成り立つ.

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot-obj}}{\partial \boldsymbol{\theta}} = [m_{obj} \mathbf{g} \times] \mathbf{J}_{Gobj\theta}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) - \sum_{m=1}^{N_{cnt-obj}} [\mathbf{f}_{obj,m} \times] \mathbf{J}_{\theta,m}^{cnt-trg-obj}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) \quad (4.16)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot-obj}}{\partial \boldsymbol{\theta}} \in \mathbb{R}^{3 \times N_{var-joint}}$

:eom-rot-obj-task-jacobian-with-wrench-obj

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot-obj}}{\partial \hat{\mathbf{w}}_{obj}} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot-obj}}{\partial \mathbf{f}_{obj,1}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot-obj}}{\partial \mathbf{n}_{obj,1}} & \cdots & \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot-obj}}{\partial \mathbf{f}_{obj,N_{cnt-obj}}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot-obj}}{\partial \mathbf{n}_{obj,N_{cnt-obj}}} \end{pmatrix} \quad (4.17)$$

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot-obj}}{\partial \mathbf{f}_{obj,m}} = [(\mathbf{p}_m^{cnt-trg-obj}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) - \mathbf{p}_{Gobj}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi})) \times] \quad (m = 1, 2, \dots, N_{cnt-obj}) \quad (4.18)$$

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot-obj}}{\partial \mathbf{n}_{obj,m}} = \mathbf{I}_3 \quad (m = 1, 2, \dots, N_{cnt-obj}) \quad (4.19)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot-obj}}{\partial \hat{\mathbf{w}}_{obj}} \in \mathbb{R}^{3 \times 6N_{cnt-obj}}$

:eom-rot-obj-task-jacobian-with-phi

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot-obj}}{\partial \boldsymbol{\phi}} = \sum_{m=1}^{N_{cnt-obj}} \left\{ -[\mathbf{f}_{obj,m} \times] (\mathbf{J}_{\phi,m}^{cnt-trg-obj}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) - \mathbf{J}_{Gobj\phi}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi})) \right\} \quad (4.20)$$

$$= \left[ \left( \sum_{m=1}^{N_{cnt-obj}} \mathbf{f}_{obj,m} \right) \times \right] \mathbf{J}_{Gobj\phi}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) - \sum_{m=1}^{N_{cnt-obj}} [\mathbf{f}_{obj,m} \times] \mathbf{J}_{\phi,m}^{cnt-trg-obj}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) \quad (4.21)$$

$\sum_{m=1}^{N_{cnt-obj}} \mathbf{f}_{obj,m} = m_{obj} \mathbf{g}$  つまり, eom-trans-obj-task が成立すると仮定すると次式が成り立つ.

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot-obj}}{\partial \boldsymbol{\phi}} = [m_{obj} \mathbf{g} \times] \mathbf{J}_{Gobj\phi}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) - \sum_{m=1}^{N_{cnt-obj}} [\mathbf{f}_{obj,m} \times] \mathbf{J}_{\phi,m}^{cnt-trg-obj}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) \quad (4.22)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot-obj}}{\partial \boldsymbol{\phi}} \in \mathbb{R}^{3 \times N_{invvar-joint}}$

:variant-task-jacobian

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}_{var}} = \begin{pmatrix} N_{var\text{-joint}} & 6N_{cnt} & 6N_{cnt\text{-obj}} & N_{drive\text{-joint}} \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \boldsymbol{\theta}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{com\text{-trans}}}{\partial \hat{\mathbf{w}}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{com\text{-trans}\text{-obj}}}{\partial \hat{\mathbf{w}}_{obj}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \boldsymbol{\tau}} \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{com\text{-rot}}}{\partial \boldsymbol{\theta}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{com\text{-rot}}}{\partial \hat{\mathbf{w}}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{com\text{-rot}\text{-obj}}}{\partial \hat{\mathbf{w}}_{obj}} & \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{com\text{-rot}\text{-obj}}}{\partial \boldsymbol{\theta}} & & \frac{\partial \mathbf{e}^{com\text{-rot}\text{-obj}}}{\partial \hat{\mathbf{w}}_{obj}} & \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \boldsymbol{\theta}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \hat{\mathbf{w}}} & & \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{posture}}{\partial \boldsymbol{\theta}} & & & \end{pmatrix} \quad (4.23)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}_{var}} \in \mathbb{R}^{(6N_{kin}+3+3+3+3+N_{drive\text{-joint}}+N_{posture\text{-joint}}) \times (N_{var\text{-joint}}+6N_{cnt}+6N_{cnt\text{-obj}}+N_{drive\text{-joint}})}$

:invariant-task-jacobian

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}_{invar}} = \begin{pmatrix} N_{invar\text{-joint}} \\ 6N_{kin} & \frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \boldsymbol{\phi}} \\ 3 & \frac{\partial \mathbf{e}^{com\text{-rot}}}{\partial \boldsymbol{\phi}} \\ 3 & \frac{\partial \mathbf{e}^{com\text{-rot}\text{-obj}}}{\partial \boldsymbol{\phi}} \\ 3 & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \boldsymbol{\phi}} \\ N_{drive\text{-joint}} & \\ N_{posture\text{-joint}} & \end{pmatrix} \quad (4.24)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}_{invar}} \in \mathbb{R}^{(6N_{kin}+3+3+3+3+N_{drive\text{-joint}}+N_{posture\text{-joint}}) \times N_{invar\text{-joint}}}$

:task-jacobian

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}} = \left( \frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}_{var}} \quad \frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}_{invar}} \right) \quad (4.25)$$

$$= \begin{pmatrix} N_{var\text{-joint}} & 6N_{cnt} & 6N_{cnt\text{-obj}} & N_{drive\text{-joint}} & N_{invar\text{-joint}} \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \boldsymbol{\theta}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{com\text{-trans}}}{\partial \hat{\mathbf{w}}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{com\text{-trans}\text{-obj}}}{\partial \hat{\mathbf{w}}_{obj}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \boldsymbol{\phi}} & \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{com\text{-rot}}}{\partial \boldsymbol{\theta}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{com\text{-rot}}}{\partial \hat{\mathbf{w}}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{com\text{-rot}\text{-obj}}}{\partial \hat{\mathbf{w}}_{obj}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{com\text{-rot}}}{\partial \boldsymbol{\phi}} & \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{com\text{-rot}\text{-obj}}}{\partial \boldsymbol{\theta}} & & \frac{\partial \mathbf{e}^{com\text{-rot}\text{-obj}}}{\partial \hat{\mathbf{w}}_{obj}} & & \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \boldsymbol{\theta}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \hat{\mathbf{w}}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \hat{\mathbf{w}}_{obj}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \boldsymbol{\tau}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \boldsymbol{\phi}} \\ N_{drive\text{-joint}} & & & & \\ N_{posture\text{-joint}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{posture}}{\partial \boldsymbol{\theta}} & & & \end{pmatrix} \quad (4.26)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}} \in \mathbb{R}^{(6N_{kin}+3+3+3+3+N_{drive\text{-joint}}+N_{posture\text{-joint}}) \times (N_{var\text{-joint}}+6N_{cnt}+6N_{cnt\text{-obj}}+N_{drive\text{-joint}}+N_{invar\text{-joint}})}$

:wrench-obj-inequality-constraint-matrix *&key (update? t)*

[method]

物体の接触レンチ  $\mathbf{w}_{obj} \in \mathbb{R}^6$  が満たすべき制約（非負制約，摩擦制約，圧力中心制約）が次式のように表されるとする。

$$\mathbf{C}_{w_{obj}} \mathbf{w}_{obj} \geq \mathbf{d}_{w_{obj}} \quad (4.27)$$

$N_{cnt\text{-}obj}$ 箇所の接触部位の接触レンチを並べたベクトル  $\hat{\mathbf{w}}_{obj}$  の不等式制約は次式で表される .

$$C_{w_{obj},m}(\mathbf{w}_{obj,m} + \Delta\mathbf{w}_{obj,m}) \geq \mathbf{d}_{w_{obj},m} \quad (m = 1, 2, \dots, N_{cnt\text{-}obj}) \quad (4.28)$$

$$\Leftrightarrow C_{w_{obj},m}\Delta\mathbf{w}_{obj,m} \geq \mathbf{d}_{w_{obj},m} - C_{w_{obj},m}\mathbf{w}_{obj,m} \quad (m = 1, 2, \dots, N_{cnt\text{-}obj}) \quad (4.29)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} C_{w_{obj},1} & & & \\ & C_{w_{obj},2} & & \\ & & \ddots & \\ & & & C_{w_{obj},N_{cnt\text{-}obj}} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \Delta\mathbf{w}_{obj,1} \\ \Delta\mathbf{w}_{obj,2} \\ \vdots \\ \Delta\mathbf{w}_{obj,N_{cnt\text{-}obj}} \end{pmatrix} \geq \begin{pmatrix} \mathbf{d}_{w_{obj},1} - C_{w_{obj},1}\mathbf{w}_{obj,1} \\ \mathbf{d}_{w_{obj},2} - C_{w_{obj},2}\mathbf{w}_{obj,2} \\ \vdots \\ \mathbf{d}_{w_{obj},N_{cnt\text{-}obj}} - C_{w_{obj},N_{cnt\text{-}obj}}\mathbf{w}_{obj,N_{cnt\text{-}obj}} \end{pmatrix} \quad (4.30)$$

$$\Leftrightarrow C_{\hat{w}_{obj}}\Delta\hat{\mathbf{w}}_{obj} \geq \mathbf{d}_{\hat{w}_{obj}} \quad (4.31)$$

$$\text{return } \mathbf{C}_{\hat{w}_{obj}} := \begin{pmatrix} C_{w_{obj},1} & & & \\ & C_{w_{obj},2} & & \\ & & \ddots & \\ & & & C_{w_{obj},N_{cnt\text{-}obj}} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{wrench\text{-}obj\text{-}ineq} \times 6N_{cnt\text{-}obj}}$$

:wrench-obj-inequality-constraint-vector  $\mathcal{E}\text{key } (\text{update? } t)$  [method]

$$\text{return } \mathbf{d}_{\hat{w}_{obj}} := \begin{pmatrix} \mathbf{d}_{w_{obj},1} - C_{w_{obj},1}\mathbf{w}_{obj,1} \\ \mathbf{d}_{w_{obj},2} - C_{w_{obj},2}\mathbf{w}_{obj,2} \\ \vdots \\ \mathbf{d}_{w_{obj},N_{cnt\text{-}obj}} - C_{w_{obj},N_{cnt\text{-}obj}}\mathbf{w}_{obj,N_{cnt\text{-}obj}} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{wrench\text{-}obj\text{-}ineq}}$$

:variant-config-inequality-constraint-matrix  $\mathcal{E}\text{key } (\text{update? } nil)$  [method]

$$\left\{ \begin{array}{l} C_\theta\Delta\theta \geq \mathbf{d}_\theta \\ C_{\hat{w}}\Delta\hat{\mathbf{w}} \geq \mathbf{d}_{\hat{w}} \\ C_{\hat{w}_{obj}}\Delta\hat{\mathbf{w}}_{obj} \geq \mathbf{d}_{\hat{w}_{obj}} \\ C_\tau\Delta\tau \geq \mathbf{d}_\tau \end{array} \right. \quad (4.32)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} C_\theta & & & \\ & C_{\hat{w}} & & \\ & & C_{\hat{w}_{obj}} & \\ & & & C_\tau \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \Delta\theta \\ \Delta\hat{\mathbf{w}} \\ \Delta\hat{\mathbf{w}}_{obj} \\ \Delta\tau \end{pmatrix} \geq \begin{pmatrix} \mathbf{d}_\theta \\ \mathbf{d}_{\hat{w}} \\ \mathbf{d}_{\hat{w}_{obj}} \\ \mathbf{d}_\tau \end{pmatrix} \quad (4.33)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{C}_{var}\Delta\mathbf{q}_{var} \geq \mathbf{d}_{var} \quad (4.34)$$

$$\text{return } \mathbf{C}_{var} := \begin{pmatrix} C_\theta & & & \\ & C_{\hat{w}} & & \\ & & C_{\hat{w}_{obj}} & \\ & & & C_\tau \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{var\text{-}ineq} \times \text{dim}(\mathbf{q}_{var})}$$

:variant-config-inequality-constraint-vector  $\mathcal{E}\text{key } (\text{update? } t)$  [method]

$$\text{return } \mathbf{d}_{var} := \begin{pmatrix} \mathbf{d}_\theta \\ \mathbf{d}_{\hat{w}} \\ \mathbf{d}_{\hat{w}_{obj}} \\ \mathbf{d}_\tau \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{var\text{-}ineq}}$$

:act-react-equality-constraint-matrix  $\mathcal{E}\text{key } (\text{update? } nil)$  [method]

ロボット・物体間の接触レンチに関する作用・反作用の法則は次式のように表される .

$$\hat{\mathbf{w}}_{i(m)} + \hat{\mathbf{w}}_{obj,j(m)} = \mathbf{0} \quad (m = 1, 2, \dots, N_{act-react}) \quad (4.35)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{A}_{act-react, robot, m} \hat{\mathbf{w}} + \mathbf{A}_{act-react, obj, m} \hat{\mathbf{w}}_{obj} = \mathbf{0} \quad (m = 1, 2, \dots, N_{act-react}) \quad (4.36)$$

$$\text{where } \mathbf{A}_{act-react, robot, m} = \begin{pmatrix} \mathbf{O}_6 & \mathbf{O}_6 & \cdots & \mathbf{I}_6 & \cdots & \mathbf{O}_6 & \mathbf{O}_6 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{6 \times 6N_{cnt}} \quad (4.37)$$

$$\mathbf{A}_{act-react, obj, m} = \begin{pmatrix} \mathbf{O}_6 & \mathbf{O}_6 & \cdots & \mathbf{I}_6 & \cdots & \mathbf{O}_6 & \mathbf{O}_6 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{6 \times 6N_{cnt-obj}} \quad (4.38)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{A}_{act-react, robot} \hat{\mathbf{w}} + \mathbf{A}_{act-react, obj} \hat{\mathbf{w}}_{obj} = \mathbf{0} \quad (4.39)$$

$$\text{where } \mathbf{A}_{act-react, robot} = \begin{pmatrix} \mathbf{A}_{act-react, robot, 1} \\ \vdots \\ \mathbf{A}_{act-react, robot, N_{act-react}} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{6N_{act-react} \times 6N_{cnt}} \quad (4.40)$$

$$\mathbf{A}_{act-react, obj} = \begin{pmatrix} \mathbf{A}_{act-react, obj, 1} \\ \vdots \\ \mathbf{A}_{act-react, obj, N_{act-react}} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{6N_{act-react} \times 6N_{cnt-obj}} \quad (4.41)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{A}_{act-react} \begin{pmatrix} \hat{\mathbf{w}} \\ \hat{\mathbf{w}}_{obj} \end{pmatrix} = \mathbf{0} \in \mathbb{R}^{6N_{act-react}} \quad (4.42)$$

$$\text{where } \mathbf{A}_{act-react} = \begin{pmatrix} \mathbf{A}_{act-react, robot} & \mathbf{A}_{act-react, obj} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{6N_{act-react} \times (6N_{cnt} + 6N_{cnt-obj})} \quad (4.43)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{A}_{act-react} \begin{pmatrix} \hat{\mathbf{w}} + \Delta \hat{\mathbf{w}} \\ \hat{\mathbf{w}}_{obj} + \Delta \hat{\mathbf{w}}_{obj} \end{pmatrix} = \mathbf{0} \quad (4.44)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{A}_{act-react} \begin{pmatrix} \Delta \hat{\mathbf{w}} \\ \Delta \hat{\mathbf{w}}_{obj} \end{pmatrix} = \mathbf{b}_{act-react} \quad (4.45)$$

$$\text{where } \mathbf{b}_{act-react} = -\mathbf{A}_{act-react} \begin{pmatrix} \hat{\mathbf{w}} \\ \hat{\mathbf{w}}_{obj} \end{pmatrix} \quad (4.46)$$

$i(m), j(m)$  は作用・反作用の関係にある接触レンチの  $m$  番目の対におけるロボット・物体の接触レンチのインデックスである .

return  $\mathbf{A}_{act-react} \in \mathbb{R}^{6N_{act-react} \times (6N_{cnt} + 6N_{cnt-obj})}$

:act-react-equality-constraint-vector  $\&key (update? t)$  [method]  
return  $\mathbf{b}_{act-react} \in \mathbb{R}^{6N_{act-react}}$

:variant-config-equality-constraint-matrix  $\&key (update? nil)$  [method]

$$\mathbf{A}_{act-react} \begin{pmatrix} \Delta \hat{\mathbf{w}} \\ \Delta \hat{\mathbf{w}}_{obj} \end{pmatrix} = \mathbf{b}_{act-react} \quad (4.47)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} \mathbf{O} & \mathbf{A}_{act-react} & \mathbf{O} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \Delta \theta \\ \Delta \hat{\mathbf{w}} \\ \Delta \hat{\mathbf{w}}_{obj} \\ \Delta \tau \end{pmatrix} = \mathbf{b}_{act-react} \quad (4.48)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{A}_{var} \Delta \mathbf{q}_{var} = \mathbf{b}_{var} \quad (4.49)$$

return  $\mathbf{A}_{var} := (\mathbf{O} \quad \mathbf{A}_{act-react} \quad \mathbf{O}) \in \mathbb{R}^{6N_{act-react} \times \dim(\mathbf{q}_{var})}$

**:variant-config-equality-constraint-vector** *Ekey* (*update?* *t*) [method]  
 return  $\mathbf{b}_{var} := \mathbf{b}_{act-react} \in \mathbb{R}^{6N_{act-react}}$

**:invariant-config-equality-constraint-matrix** *Ekey* (*update?* *nil*) [method]  
 return  $\mathbf{A}_{invar} \in \mathbb{R}^{0 \times \dim(\mathbf{q}_{invar})}$  (no equality constraint)

**:invariant-config-equality-constraint-vector** *Ekey* (*update?* *t*) [method]  
 return  $\mathbf{b}_{invar} \in \mathbb{R}^0$  (no equality constraint)

**:config-equality-constraint-matrix** *Ekey* (*update?* *nil*) [method]

$$\mathbf{A}_{var} \Delta \mathbf{q}_{var} = \mathbf{b}_{var} \quad (4.50)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} \mathbf{A}_{var} & \mathbf{O} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \Delta \mathbf{q}_{var} \\ \Delta \mathbf{q}_{invar} \end{pmatrix} = \mathbf{b}_{var} \quad (4.51)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{A} \Delta \mathbf{q} = \mathbf{b} \quad (4.52)$$

$$\text{return } \mathbf{A} := \begin{pmatrix} \mathbf{A}_{var} & \mathbf{O} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{eq} \times \dim(\mathbf{q})}$$

**:config-equality-constraint-vector** *Ekey* (*update?* *t*) [method]  
 return  $\mathbf{b} := \mathbf{b}_{var} \in \mathbb{R}^{N_{eq}}$

**:torque-regular-matrix** *Ekey* (*update?* *nil*) [method]  
*(only-variant? nil)*

二次形式の正則化項として次式を考える .

$$F_{tau}(\mathbf{q}) = \left\| \frac{\boldsymbol{\tau}}{\tau_{max}} \right\|^2 \quad (\text{ベクトルの要素ごとの割り算を表す}) \quad (4.53)$$

$$= \boldsymbol{\tau}^T \bar{\mathbf{W}}_{trq} \boldsymbol{\tau} \quad (4.54)$$

ここで ,

$$\bar{\mathbf{W}}_{trq} := \begin{pmatrix} \frac{1}{\tau_{max,1}^2} & & & \\ & \frac{1}{\tau_{max,2}^2} & & \\ & & \ddots & \\ & & & \frac{1}{\tau_{max,N_{drive-joint}}^2} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{\dim(\boldsymbol{\tau}) \times \dim(\boldsymbol{\tau})} \quad (4.55)$$

*only-variant?* is true:

$$\mathbf{W}_{trq} := \begin{pmatrix} dim(\boldsymbol{\theta}) & dim(\hat{\mathbf{w}}) & dim(\hat{\mathbf{w}}_{obj}) & dim(\boldsymbol{\tau}) \\ dim(\boldsymbol{\theta}) & & & \\ dim(\hat{\mathbf{w}}) & & & \\ dim(\hat{\mathbf{w}}_{obj}) & & & \\ dim(\boldsymbol{\tau}) & & & \bar{\mathbf{W}}_{trq} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{\dim(\mathbf{q}_{var}) \times \dim(\mathbf{q}_{var})} \quad (4.56)$$

otherwise:

$$\mathbf{W}_{trq} := \begin{pmatrix} dim(\boldsymbol{\theta}) & dim(\hat{\mathbf{w}}) & dim(\hat{\mathbf{w}}_{obj}) & dim(\boldsymbol{\tau}) & dim(\boldsymbol{\phi}) \\ dim(\boldsymbol{\theta}) & & & & \\ dim(\hat{\mathbf{w}}) & & & & \\ dim(\hat{\mathbf{w}}_{obj}) & & & & \\ dim(\boldsymbol{\tau}) & & & & \\ dim(\boldsymbol{\phi}) & & & & \bar{\mathbf{W}}_{trq} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{\dim(\mathbf{q}) \times \dim(\mathbf{q})} \quad (4.57)$$

return  $\mathbf{W}_{trq}$

**:torque-regular-vector**  $\mathcal{E}key$  (*update?*  $t$ )  
*(only-variant? nil)* [method]

$$\bar{\mathbf{v}}_{trq} := \bar{\mathbf{W}}_{trq} \boldsymbol{\tau} \quad (4.58)$$

$$= \begin{pmatrix} \frac{\tau_1}{\tau_{max,1}^2} \\ \frac{\tau_2}{\tau_{max,2}^2} \\ \vdots \\ \frac{\tau_{dim(\boldsymbol{\tau})}}{\tau_{max,dim(\boldsymbol{\tau})}^2} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{dim(\boldsymbol{\tau})} \quad (4.59)$$

*only-variant?* is true:

$$\mathbf{v}_{trq} := \begin{matrix} 1 \\ \frac{dim(\boldsymbol{\theta})}{dim(\hat{\mathbf{w}})} \\ \frac{dim(\hat{\mathbf{w}}_{obj})}{dim(\boldsymbol{\tau})} \\ \bar{\mathbf{v}}_{trq} \end{matrix} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{q}_{var})} \quad (4.60)$$

otherwise:

$$\mathbf{v}_{trq} := \begin{matrix} 1 \\ \frac{dim(\boldsymbol{\theta})}{dim(\hat{\mathbf{w}})} \\ \frac{dim(\hat{\mathbf{w}}_{obj})}{dim(\boldsymbol{\tau})} \\ \frac{dim(\boldsymbol{\phi})}{dim(\boldsymbol{\tau})} \\ \bar{\mathbf{v}}_{trq} \end{matrix} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{q})} \quad (4.61)$$

return  $\mathbf{v}_{trq}$

**:collision-inequality-constraint-matrix**  $\mathcal{E}key$  (*update?*  $nil$ ) [method]

$$\mathbf{C}_{col} := N_{col} \begin{pmatrix} dim(\boldsymbol{\theta}) & dim(\hat{\mathbf{w}}) & dim(\hat{\mathbf{w}}_{obj}) & dim(\boldsymbol{\tau}) & dim(\boldsymbol{\phi}) \\ \mathbf{C}_{col,\theta} & \mathbf{O} & \mathbf{O} & \mathbf{O} & \mathbf{C}_{col,\phi} \end{pmatrix} \quad (4.62)$$

return  $\mathbf{C}_{col} \in \mathbb{R}^{N_{col} \times dim(\mathbf{q})}$

**:update-viewer** [method]  
 Update viewer.

**:print-status** [method]  
 Print status.

## 4.2 B スプラインを用いた関節軌道生成

### 4.2.1 B スプラインを用いた関節軌道生成の理論

一般の B スプライン基底関数の定義

B スプライン基底関数は以下で定義される .

$$b_{i,0}(t) \stackrel{\text{def}}{=} \begin{cases} 1 & \text{if } t_i \leq t < t_{i+1} \\ 0 & \text{otherwise} \end{cases} \quad (4.63)$$

$$b_{i,n}(t) \stackrel{\text{def}}{=} \frac{t - t_i}{t_{i+n} - t_i} b_{i,n-1}(t) + \frac{t_{i+n+1} - t}{t_{i+n+1} - t_{i+1}} b_{i+1,n-1}(t) \quad (4.64)$$

$t_i$  はノットと呼ばれる .

使用区間を指定してノットを一様とする場合の B スプライン基底関数

$t_s, t_f$  を B スプラインの使用区間の初期 , 終端時刻とする .

$n < m$  とする .

$$t_n = t_s \quad (4.65)$$

$$t_m = t_f \quad (4.66)$$

とする .  $t_i$  ( $0 \leq i \leq n+m$ ) が等間隔に並ぶとすると ,

$$t_i = \frac{i-n}{m-n}(t_f - t_s) + t_s \quad (4.67)$$

$$= hi + \frac{mt_s - nt_f}{m-n} \quad (4.68)$$

ただし ,

$$h \stackrel{\text{def}}{=} \frac{t_f - t_s}{m - n} \quad (4.69)$$

式 (4.68) を式 (4.63) , 式 (4.64) に代入すると , B スプライン基底関数は次式で得られる .

$$b_{i,0}(t) = \begin{cases} 1 & \text{if } t_i \leq t < t_{i+1} \\ 0 & \text{otherwise} \end{cases} \quad (4.70)$$

$$b_{i,n}(t) = \frac{(t - t_i)b_{i,n-1}(t) + (t_{i+n+1} - t)b_{i+1,n-1}(t)}{nh} \quad (4.71)$$

以降では ,  $n$  を B スプラインの次数 ,  $m$  を制御点の個数と呼ぶ .

B スプラインの凸包性

式 (4.70) , 式 (4.71) で定義される B スプライン基底関数  $b_{i,n}(t)$  は次式のように凸包性を持つ .

$$\sum_{i=0}^{m-1} b_{i,n}(t) = 1 \quad (t_s \leq t \leq t_f) \quad (4.72)$$

$$0 \leq b_{i,n}(t) \leq 1 \quad (i = 0, 1, \dots, m-1, t_s \leq t \leq t_f) \quad (4.73)$$

## B スプラインの微分

B スプライン基底関数の微分に関して次式が成り立つ<sup>11</sup> .

$$\dot{\mathbf{b}}_n(t) = \frac{d\mathbf{b}_n(t)}{dt} = \mathbf{D}\mathbf{b}_{n-1}(t) \quad (4.74)$$

ただし ,

$$\mathbf{b}_n(t) \stackrel{\text{def}}{=} \begin{pmatrix} b_{0,n}(t) \\ b_{1,n}(t) \\ \vdots \\ b_{m-1,n}(t) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^m \quad (4.75)$$

$$\mathbf{D} \stackrel{\text{def}}{=} \frac{1}{h} \begin{pmatrix} 1 & -1 & & & \mathbf{O} \\ & 1 & -1 & & \\ & & \ddots & \ddots & \\ & & & \ddots & -1 \\ \mathbf{O} & & & & 1 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{m \times m} \quad (4.76)$$

したがって ,  $k$  階微分に関して次式が成り立つ .

$$\mathbf{b}_n^{(k)}(t) = \frac{d^{(k)}\mathbf{b}_n(t)}{dt^{(k)}} = \mathbf{D}^k \mathbf{b}_{n-k}(t) \quad (4.77)$$

## B スプラインによる関節角軌道の表現

$j$  番目の関節角軌道  $\theta_j(t)$  を次式で表す .

$$\theta_j(t) \stackrel{\text{def}}{=} \sum_{i=0}^{m-1} p_{j,i} b_{i,n}(t) = \mathbf{p}_j^T \mathbf{b}_n(t) \in \mathbb{R} \quad (t_s \leq t \leq t_f) \quad (4.78)$$

ただし ,

$$\mathbf{p}_j = \begin{pmatrix} p_{j,0} \\ p_{j,1} \\ \vdots \\ p_{j,m-1} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^m, \quad \mathbf{b}_n(t) = \begin{pmatrix} b_{0,n}(t) \\ b_{1,n}(t) \\ \vdots \\ b_{m-1,n}(t) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^m \quad (4.79)$$

以降では ,  $p_j$  を制御点 ,  $b_n(t)$  を基底関数と呼ぶ . 制御点  $p_j$  を決定すると関節角軌道が定まる . 制御点  $p_j$  を動作計画の設計変数とする .

$j = 1, 2, \dots, N_{joint}$  番目の関節角軌道を並べたベクトル関数は ,

$$\boldsymbol{\theta}(t) \stackrel{\text{def}}{=} \begin{pmatrix} \theta_1(t) \\ \theta_2(t) \\ \vdots \\ \theta_{N_{joint}}(t) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \mathbf{p}_1^T \mathbf{b}_n(t) \\ \mathbf{p}_2^T \mathbf{b}_n(t) \\ \vdots \\ \mathbf{p}_{N_{joint}}^T \mathbf{b}_n(t) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \mathbf{p}_1^T \\ \mathbf{p}_2^T \\ \vdots \\ \mathbf{p}_{N_{joint}}^T \end{pmatrix} \mathbf{b}_n(t) = \mathbf{P} \mathbf{b}_n(t) \in \mathbb{R}^{N_{joint}} \quad (4.80)$$

ただし ,

$$\mathbf{P} \stackrel{\text{def}}{=} \begin{pmatrix} \mathbf{p}_1^T \\ \mathbf{p}_2^T \\ \vdots \\ \mathbf{p}_{N_{joint}}^T \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{joint} \times m} \quad (4.81)$$

<sup>11</sup> 数学的帰納法で証明できる . <http://mat.fsv.cvut.cz/gcg/sbornik/prochazkova.pdf>

式 (4.80) は、制御点を縦に並べたベクトルとして分離して、以下のようにも表現できる。

$$\boldsymbol{\theta}(t) = \begin{pmatrix} \theta_1(t) \\ \theta_2(t) \\ \vdots \\ \theta_{N_{joint}}(t) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \mathbf{b}_n^T(t)\mathbf{p}_1 \\ \mathbf{b}_n^T(t)\mathbf{p}_2 \\ \vdots \\ \mathbf{b}_n^T(t)\mathbf{p}_{N_{joint}} \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \mathbf{b}_n^T(t) & & & \mathbf{O} \\ & \mathbf{b}_n^T(t) & & \\ & & \ddots & \\ \mathbf{O} & & & \mathbf{b}_n^T(t) \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \mathbf{p}_1 \\ \mathbf{p}_2 \\ \vdots \\ \mathbf{p}_{N_{joint}} \end{pmatrix} = \mathbf{B}_n(t)\mathbf{p} \in \mathbb{R}^{N_{joint}} \quad (4.82)$$

ただし、

$$\mathbf{B}_n(t) \stackrel{\text{def}}{=} \begin{pmatrix} \mathbf{b}_n^T(t) & & & \mathbf{O} \\ & \mathbf{b}_n^T(t) & & \\ & & \ddots & \\ \mathbf{O} & & & \mathbf{b}_n^T(t) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{joint} \times mN_{joint}}, \quad \mathbf{p} \stackrel{\text{def}}{=} \begin{pmatrix} \mathbf{p}_1 \\ \mathbf{p}_2 \\ \vdots \\ \mathbf{p}_{N_{joint}} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{mN_{joint}} \quad (4.83)$$

## B スプラインによる関節角軌道の微分

式 (4.80) と式 (4.74) から、関節角速度軌道は次式で得られる。

$$\dot{\boldsymbol{\theta}}(t) = \mathbf{P}\dot{\mathbf{b}}_n(t) \quad (4.84)$$

$$= \mathbf{P}\mathbf{D}\mathbf{b}_{n-1}(t) \quad (4.85)$$

$$= \begin{pmatrix} \mathbf{p}_1^T \\ \vdots \\ \mathbf{p}_{N_{joint}}^T \end{pmatrix} \mathbf{D}\mathbf{b}_{n-1}(t) \quad (4.86)$$

$$= \begin{pmatrix} \mathbf{p}_1^T \mathbf{D}\mathbf{b}_{n-1}(t) \\ \vdots \\ \mathbf{p}_{N_{joint}}^T \mathbf{D}\mathbf{b}_{n-1}(t) \end{pmatrix} \quad (4.87)$$

$$= \begin{pmatrix} \mathbf{b}_{n-1}^T(t)\mathbf{D}^T\mathbf{p}_1 \\ \vdots \\ \mathbf{b}_{n-1}^T(t)\mathbf{D}^T\mathbf{p}_{N_{joint}} \end{pmatrix} \quad (4.88)$$

$$= \begin{pmatrix} \mathbf{b}_{n-1}^T(t)\mathbf{D}^T & & & \mathbf{O} \\ & \ddots & & \\ \mathbf{O} & & \mathbf{b}_{n-1}^T(t)\mathbf{D}^T & \\ & & & \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \mathbf{p}_1 \\ \vdots \\ \mathbf{p}_{N_{joint}} \end{pmatrix} \quad (4.89)$$

$$= \begin{pmatrix} \mathbf{b}_{n-1}^T(t) & & & \mathbf{O} \\ & \ddots & & \\ \mathbf{O} & & \mathbf{b}_{n-1}^T(t) & \\ & & & \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \mathbf{D}^T & & & \mathbf{O} \\ & \ddots & & \\ \mathbf{O} & & \mathbf{D}^T & \\ & & & \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \mathbf{p}_1 \\ \vdots \\ \mathbf{p}_{N_{joint}} \end{pmatrix} \quad (4.90)$$

$$= \mathbf{B}_{n-1}(t)\hat{\mathbf{D}}_1\mathbf{p} \quad (4.91)$$

ただし、

$$\hat{\mathbf{D}}_1 = \begin{pmatrix} \mathbf{D}^T & & & \mathbf{O} \\ & \mathbf{D}^T & & \\ & & \ddots & \\ \mathbf{O} & & & \mathbf{D}^T \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{mN_{joint} \times mN_{joint}} \quad (4.92)$$

同様にして、関節角軌道の  $k$  階微分は次式で得られる。

$$\boldsymbol{\theta}^{(k)}(t) = \frac{d^{(k)}\boldsymbol{\theta}(t)}{dt^{(k)}} \quad (4.93)$$

$$= \mathbf{P}\mathbf{D}^k\mathbf{b}_{n-k}(t) \quad (4.94)$$

$$= \mathbf{B}_{n-k}(t)\hat{\mathbf{D}}_k\mathbf{p} \quad (4.95)$$

ただし、

$$\hat{\mathbf{D}}_k = \begin{pmatrix} (\mathbf{D}^k)^T & \mathbf{O} \\ \mathbf{O} & \ddots & (\mathbf{D}^k)^T \end{pmatrix} = (\hat{\mathbf{D}}_1)^k \in \mathbb{R}^{mN_{joint} \times mN_{joint}} \quad (4.96)$$

計算時間は式 (4.94) のほうが式 (4.95) より速い。

### エンドエフェクタ位置姿勢拘束のタスク関数

関節角  $\boldsymbol{\theta} \in \mathbb{R}^{N_{joint}}$  からエンドエフェクタ位置姿勢  $\mathbf{r} \in \mathbb{R}^6$  への写像を  $\mathbf{f}(\boldsymbol{\theta})$  で表す。

$$\mathbf{r} = \mathbf{f}(\boldsymbol{\theta}) \quad (4.97)$$

関節角軌道が式 (4.82) で表現されるとき、エンドエフェクタ軌道は次式で表される。

$$\mathbf{r}(t) = \mathbf{f}(\boldsymbol{\theta}(t)) = \mathbf{f}(\mathbf{B}_n(t)\mathbf{p}) \quad (4.98)$$

$l = 1, 2, \dots, N_{tm}$  について、時刻  $t_l$  でエンドエフェクタの位置姿勢が  $\mathbf{r}_l$  であるタスクのタスク関数は次式で表される。以降では、 $t_l$  をタイミングと呼ぶ。

$$\mathbf{e}(\mathbf{p}, \mathbf{t}) \stackrel{\text{def}}{=} \begin{pmatrix} \mathbf{e}_1(\mathbf{p}, \mathbf{t}) \\ \mathbf{e}_2(\mathbf{p}, \mathbf{t}) \\ \vdots \\ \mathbf{e}_{N_{tm}}(\mathbf{p}, \mathbf{t}) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \mathbf{r}_1 - \mathbf{f}(\boldsymbol{\theta}(t_1)) \\ \mathbf{r}_2 - \mathbf{f}(\boldsymbol{\theta}(t_2)) \\ \vdots \\ \mathbf{r}_{N_{tm}} - \mathbf{f}(\boldsymbol{\theta}(t_{N_{tm}})) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \mathbf{r}_1 - \mathbf{f}(\mathbf{B}_n(t_1)\mathbf{p}) \\ \mathbf{r}_2 - \mathbf{f}(\mathbf{B}_n(t_2)\mathbf{p}) \\ \vdots \\ \mathbf{r}_{N_{tm}} - \mathbf{f}(\mathbf{B}_n(t_{N_{tm}})\mathbf{p}) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{6N_{tm}} \quad (4.99)$$

ただし、

$$\mathbf{e}_l(\mathbf{p}, \mathbf{t}) \stackrel{\text{def}}{=} \mathbf{r}_l - \mathbf{f}(\boldsymbol{\theta}(t_l)) = \mathbf{r}_l - \mathbf{f}(\mathbf{B}_n(t_l)\mathbf{p}) \in \mathbb{R}^6 \quad (l = 1, 2, \dots, N_{tm}) \quad (4.100)$$

$$\mathbf{t} \stackrel{\text{def}}{=} \begin{pmatrix} t_1 \\ t_2 \\ \vdots \\ t_{N_{tm}} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{tm}} \quad (4.101)$$

このタスクを実現する関節角軌道は、次の評価関数を最小にする制御点  $\mathbf{p}$ 、タイミング  $\mathbf{t}$  を求めることで導出することができる。

$$F(\mathbf{p}, \mathbf{t}) \stackrel{\text{def}}{=} \frac{1}{2} \|\mathbf{e}(\mathbf{p}, \mathbf{t})\|^2 \quad (4.102)$$

$$= \frac{1}{2} \sum_{l=1}^{N_{tm}} \|\mathbf{r}_l - \mathbf{f}(\boldsymbol{\theta}(t_l))\|^2 \quad (4.103)$$

$$= \frac{1}{2} \sum_{l=1}^{N_{tm}} \|\mathbf{r}_l - \mathbf{f}(\mathbf{B}_n(t_l)\mathbf{p})\|^2 \quad (4.104)$$

また， $l$  番目の幾何拘束の許容誤差を  $e_{tol,l} \geq 0 \in \mathbb{R}^6$  とする場合，タスク関数  $\tilde{e}_l(\mathbf{p}, t)$  は次式で表される．

$$\tilde{e}_{l,i}(\mathbf{p}, t) \stackrel{\text{def}}{=} \begin{cases} e_{l,i}(\mathbf{p}, t) - e_{tol,l,i} & e_{l,i}(\mathbf{p}, t) > e_{tol,l,i} \\ e_{l,i}(\mathbf{p}, t) + e_{tol,l,i} & e_{l,i}(\mathbf{p}, t) < -e_{tol,l,i} \\ 0 & \text{otherwise} \end{cases} \quad (4.105)$$

$\tilde{e}_{l,i}(\mathbf{p}, t)$  は  $\tilde{e}_l(\mathbf{p}, t)$  の  $i$  番目の要素である． $e_{l,i}(\mathbf{p}, t)$  は  $e(\mathbf{p}, t)$  の  $i$  番目の要素である．

### タスク関数を制御点で微分したヤコビ行列

式 (4.104) を目的関数とする最適化問題を Gauss-Newton 法，Levenberg-Marquardt 法や逐次二次計画法で解く場合，タスク関数 (4.99) のヤコビ行列が必要となる．

各時刻でのエンドエフェクタ位置姿勢拘束のタスク関数  $e_l(\mathbf{p}, t)$  の制御点  $\mathbf{p}$  に対するヤコビ行列は次式で求められる．

$$\frac{\partial e_l(\mathbf{p}, t)}{\partial \mathbf{p}} = \frac{\partial}{\partial \mathbf{p}} \{ \mathbf{r}_l - \mathbf{f}(\mathbf{B}_n(t_l)\mathbf{p}) \} \quad (4.106)$$

$$= -\frac{\partial}{\partial \mathbf{p}} \mathbf{f}(\mathbf{B}_n(t_l)\mathbf{p}) \quad (4.107)$$

$$= -\left. \frac{\partial \mathbf{f}}{\partial \theta} \right|_{\theta=\theta(t_l)} \frac{\partial \theta}{\partial \mathbf{p}} \quad (4.108)$$

$$= -\mathbf{J}(\theta(t_l)) \frac{\partial}{\partial \mathbf{p}} \{ \mathbf{B}_n(t_l)\mathbf{p} \} \quad (4.109)$$

$$= -\mathbf{J}(\theta(t_l)) \mathbf{B}_n(t_l) \quad (4.110)$$

途中の変形で， $\theta(\mathbf{p}; t) = \mathbf{B}_n(t)\mathbf{p}$  であることを利用した．ただし，

$$\mathbf{J} \stackrel{\text{def}}{=} \frac{\partial \mathbf{f}}{\partial \theta} \quad (4.111)$$

### タスク関数をタイミングで微分したヤコビ行列

各時刻でのエンドエフェクタ位置姿勢拘束のタスク関数  $e_l(\mathbf{p}, t)$  のタイミング  $t$  に対するヤコビ行列は次式で求められる．

$$\frac{\partial e_l(\mathbf{p}, t)}{\partial t_l} = \frac{\partial}{\partial t_l} \{ \mathbf{r}_l - \mathbf{f}(\mathbf{P}\mathbf{b}_n(t_l)) \} \quad (4.112)$$

$$= -\frac{\partial}{\partial t_l} \mathbf{f}(\mathbf{P}\mathbf{b}_n(t_l)) \quad (4.113)$$

$$= -\left. \frac{\partial \mathbf{f}}{\partial \theta} \right|_{\theta=\theta(t_l)} \frac{\partial \theta}{\partial t_l} \quad (4.114)$$

$$= -\mathbf{J}(\theta(t_l)) \frac{\partial}{\partial t_l} \{ \mathbf{P}\mathbf{b}_n(t_l) \} \quad (4.115)$$

$$= -\mathbf{J}(\theta(t_l)) \mathbf{P}\dot{\mathbf{b}}_n(t_l) \quad (4.116)$$

$$= -\mathbf{J}(\theta(t_l)) \mathbf{P}\mathbf{D}\mathbf{b}_{n-1}(t_l) \quad (4.117)$$

途中の変形で， $\theta(\mathbf{p}; t) = \mathbf{P}\mathbf{b}_n(t)$  であることを利用した．

初期・終端関節速度・加速度のタスク関数とヤコビ行列

初期・終端時刻の関節速度・加速度はゼロであるべきである。タスク関数は次式となる。

$$e_{sv}(\mathbf{p}, t) \stackrel{\text{def}}{=} \dot{\theta}(t_s) \quad (4.118)$$

$$= \mathbf{B}_{n-1}(t_s) \hat{\mathbf{D}}_1 \mathbf{p} \quad (4.119)$$

$$= \mathbf{P} \mathbf{D} \mathbf{b}_{n-1}(t_s) \quad (4.120)$$

$$e_{fv}(\mathbf{p}, t) \stackrel{\text{def}}{=} \dot{\theta}(t_f) \quad (4.121)$$

$$= \mathbf{B}_{n-1}(t_f) \hat{\mathbf{D}}_1 \mathbf{p} \quad (4.122)$$

$$= \mathbf{P} \mathbf{D} \mathbf{b}_{n-1}(t_f) \quad (4.123)$$

$$e_{sa}(\mathbf{p}, t) \stackrel{\text{def}}{=} \ddot{\theta}(t_s) \quad (4.124)$$

$$= \mathbf{B}_{n-2}(t_s) \hat{\mathbf{D}}_2 \mathbf{p} \quad (4.125)$$

$$= \mathbf{P} \mathbf{D}^2 \mathbf{b}_{n-2}(t_s) \quad (4.126)$$

$$e_{fa}(\mathbf{p}, t) \stackrel{\text{def}}{=} \ddot{\theta}(t_f) \quad (4.127)$$

$$= \mathbf{B}_{n-2}(t_f) \hat{\mathbf{D}}_2 \mathbf{p} \quad (4.128)$$

$$= \mathbf{P} \mathbf{D}^2 \mathbf{b}_{n-2}(t_f) \quad (4.129)$$

制御点で微分したヤコビ行列は次式で表される。

$$\frac{\partial e_{sv}(\mathbf{p}, t)}{\partial \mathbf{p}} = \mathbf{B}_{n-1}(t_s) \hat{\mathbf{D}}_1 \quad (4.130)$$

$$\frac{\partial e_{fv}(\mathbf{p}, t)}{\partial \mathbf{p}} = \mathbf{B}_{n-1}(t_f) \hat{\mathbf{D}}_1 \quad (4.131)$$

$$\frac{\partial e_{sa}(\mathbf{p}, t)}{\partial \mathbf{p}} = \mathbf{B}_{n-2}(t_s) \hat{\mathbf{D}}_2 \quad (4.132)$$

$$\frac{\partial e_{fa}(\mathbf{p}, t)}{\partial \mathbf{p}} = \mathbf{B}_{n-2}(t_f) \hat{\mathbf{D}}_2 \quad (4.133)$$

初期時刻・終端時刻で微分したヤコビ行列は次式で表される。

$$\frac{\partial e_{sv}(\mathbf{p}, t)}{\partial t_s} = \mathbf{P} \mathbf{D} \frac{\partial \mathbf{b}_{n-1}(t_s)}{\partial t_s} = \mathbf{P} \mathbf{D}^2 \mathbf{b}_{n-2}(t_s) \quad (4.134)$$

$$\frac{\partial e_{fv}(\mathbf{p}, t)}{\partial t_f} = \mathbf{P} \mathbf{D} \frac{\partial \mathbf{b}_{n-1}(t_f)}{\partial t_f} = \mathbf{P} \mathbf{D}^2 \mathbf{b}_{n-2}(t_f) \quad (4.135)$$

$$\frac{\partial e_{sa}(\mathbf{p}, t)}{\partial t_s} = \mathbf{P} \mathbf{D}^2 \frac{\partial \mathbf{b}_{n-2}(t_s)}{\partial t_s} = \mathbf{P} \mathbf{D}^3 \mathbf{b}_{n-3}(t_s) \quad (4.136)$$

$$\frac{\partial e_{fa}(\mathbf{p}, t)}{\partial t_f} = \mathbf{P} \mathbf{D}^2 \frac{\partial \mathbf{b}_{n-2}(t_f)}{\partial t_f} = \mathbf{P} \mathbf{D}^3 \mathbf{b}_{n-3}(t_f) \quad (4.137)$$

関節角上下限制約

式(4.78)の関節角軌道定義において、

$$\mathbf{p}_j \leq \theta_{max,j} \mathbf{1}_m \quad (4.138)$$

のとき、Bスプラインの凸包性(式(4.72), 式(4.73))より次式が成り立つ。ただし、 $\mathbf{1}_m \in \mathbb{R}^m$  は全要素が 1

の  $m$  次元ベクトルである .

$$\theta_j(t) = \sum_{i=0}^{m-1} p_{j,i} b_{i,n}(t) \quad (4.139)$$

$$\leq \sum_{i=0}^{m-1} \theta_{max,j} b_{i,n}(t) \quad (4.140)$$

$$= \theta_{max,j} \sum_{i=0}^{m-1} b_{i,n}(t) \quad (4.141)$$

$$= \theta_{max,j} \quad (4.142)$$

同様に ,  $\theta_{min,j} \mathbf{1}_m \leq \mathbf{p}_j$  とすれば ,  $\theta_{min,j} \leq \theta_j(t)$  が成り立つ .

したがって ,  $j$  番目の関節角の上下限を  $\theta_{max,j}, \theta_{min,j}$  とすると , 次式の制約を制御点に課すことで , 関節角上下限制約を満たす関節角軌道が得られる .

$$\theta_{min,j} \mathbf{1}_m \leq \mathbf{p}_j \leq \theta_{max,j} \mathbf{1}_m \quad (j = 1, 2, \dots, N_{joint}) \quad (4.143)$$

つまり ,

$$\hat{\mathbf{E}}\theta_{min} \leq \mathbf{p} \leq \hat{\mathbf{E}}\theta_{max} \quad (4.144)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \end{pmatrix} \mathbf{p} \geq \begin{pmatrix} \hat{\mathbf{E}}\theta_{min} \\ -\hat{\mathbf{E}}\theta_{max} \end{pmatrix} \quad (4.145)$$

ただし ,

$$\hat{\mathbf{E}} \stackrel{\text{def}}{=} \begin{pmatrix} \mathbf{1}_m & & \mathbf{0}_m \\ & \mathbf{1}_m & \\ & & \ddots \\ \mathbf{0}_m & & \mathbf{1}_m \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{mN_{joint} \times N_{joint}} \quad (4.146)$$

これは , 逐次二次計画法の中で , 次式の不等式制約となる .

$$\begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \end{pmatrix} \Delta \mathbf{p} \geq \begin{pmatrix} \hat{\mathbf{E}}\theta_{min} - \mathbf{p} \\ -\hat{\mathbf{E}}\theta_{max} + \mathbf{p} \end{pmatrix} \quad (4.147)$$

### 関節角速度・角加速度上下限制約

式 (4.78) と式 (4.74) より , 関節角速度軌道 , 角加速度軌道は次式で表される .

$$\dot{\theta}_j(t) = \mathbf{p}_j^T \dot{\mathbf{b}}_n(t) = \mathbf{p}_j^T \mathbf{D} \mathbf{b}_{n-1}(t) = (\mathbf{D}^T \mathbf{p}_j)^T \mathbf{b}_{n-1}(t) \in \mathbb{R} \quad (t_s \leq t \leq t_f) \quad (4.148)$$

$$\ddot{\theta}_j(t) = \mathbf{p}_j^T \ddot{\mathbf{b}}_n(t) = \mathbf{p}_j^T \mathbf{D}^2 \mathbf{b}_{n-2}(t) = ((\mathbf{D}^2)^T \mathbf{p}_j)^T \mathbf{b}_{n-2}(t) \in \mathbb{R} \quad (t_s \leq t \leq t_f) \quad (4.149)$$

$j$  番目の関節角速度 , 角加速度の上限を  $v_{max,j}, a_{max,j}$  とする . 関節角上下限制約の導出と同様に考えると , 次式の制約を制御点に課すことで , 関節角速度・角加速度上下限制約を満たす関節角軌道が得られる .

$$-v_{max,j} \mathbf{1}_m \leq \mathbf{D}^T \mathbf{p}_j \leq v_{max,j} \mathbf{1}_m \quad (j = 1, 2, \dots, N_{joint}) \quad (4.150)$$

$$-a_{max,j} \mathbf{1}_m \leq (\mathbf{D}^2)^T \mathbf{p}_j \leq a_{max,j} \mathbf{1}_m \quad (j = 1, 2, \dots, N_{joint}) \quad (4.151)$$

つまり ,

$$-\hat{\mathbf{E}}\mathbf{v}_{max} \leq \hat{\mathbf{D}}_1\mathbf{p} \leq \hat{\mathbf{E}}\mathbf{v}_{max} \quad (4.152)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} \hat{\mathbf{D}}_1 \\ -\hat{\mathbf{D}}_1 \end{pmatrix} \mathbf{p} \geq \begin{pmatrix} -\hat{\mathbf{E}}\mathbf{v}_{max} \\ -\hat{\mathbf{E}}\mathbf{v}_{max} \end{pmatrix} \quad (4.153)$$

$$-\hat{\mathbf{E}}\mathbf{a}_{max} \leq \hat{\mathbf{D}}_2\mathbf{p} \leq \hat{\mathbf{E}}\mathbf{a}_{max} \quad (4.154)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} \hat{\mathbf{D}}_2 \\ -\hat{\mathbf{D}}_2 \end{pmatrix} \mathbf{p} \geq \begin{pmatrix} -\hat{\mathbf{E}}\mathbf{a}_{max} \\ -\hat{\mathbf{E}}\mathbf{a}_{max} \end{pmatrix} \quad (4.155)$$

これは , 逐次二次計画法の中で , 次式の不等式制約となる .

$$\begin{pmatrix} \hat{\mathbf{D}}_1 \\ -\hat{\mathbf{D}}_1 \end{pmatrix} \Delta\mathbf{p} \geq \begin{pmatrix} -\hat{\mathbf{E}}\mathbf{v}_{max} - \hat{\mathbf{D}}_1\mathbf{p} \\ -\hat{\mathbf{E}}\mathbf{v}_{max} + \hat{\mathbf{D}}_1\mathbf{p} \end{pmatrix} \quad (4.156)$$

$$\begin{pmatrix} \hat{\mathbf{D}}_2 \\ -\hat{\mathbf{D}}_2 \end{pmatrix} \Delta\mathbf{p} \geq \begin{pmatrix} -\hat{\mathbf{E}}\mathbf{a}_{max} - \hat{\mathbf{D}}_2\mathbf{p} \\ -\hat{\mathbf{E}}\mathbf{a}_{max} + \hat{\mathbf{D}}_2\mathbf{p} \end{pmatrix} \quad (4.157)$$

### タイミング上下限制約

タイミングが初期 , 終端時刻の間に含まれる制約は次式で表される .

$$t_s \leq t_l \leq t_f \quad (l = 1, 2, \dots, N_{tm}) \quad (4.158)$$

$$\Leftrightarrow t_s\mathbf{1} \leq \mathbf{t} \leq t_f\mathbf{1} \quad (4.159)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \end{pmatrix} \mathbf{t} \geq \begin{pmatrix} t_s\mathbf{1} \\ -t_f\mathbf{1} \end{pmatrix} \quad (4.160)$$

これは , 逐次二次計画法の中で , 次式の不等式制約となる .

$$\begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \end{pmatrix} \Delta\mathbf{t} \geq \begin{pmatrix} t_s\mathbf{1} - \mathbf{t} \\ -t_f\mathbf{1} + \mathbf{t} \end{pmatrix} \quad (4.161)$$

$$(4.162)$$

また , タイミングの順序が入れ替わることを許容しない場合 , その制約は次式で表される .

$$t_l \leq t_{l+1} \quad (l = 1, 2, \dots, N_{tm} - 1) \quad (4.163)$$

$$\Leftrightarrow -t_l + t_{l+1} \geq 0 \quad (l = 1, 2, \dots, N_{tm} - 1) \quad (4.164)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{D}_{tm}\mathbf{t} \geq \mathbf{0} \quad (4.165)$$

ただし ,

$$\mathbf{D}_{tm} = \begin{pmatrix} -1 & 1 & & & O \\ & -1 & 1 & & \\ & & \ddots & & \\ O & & & -1 & 1 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{(N_{tm}-1) \times N_{tm}} \quad (4.166)$$

これは , 逐次二次計画法の中で , 次式の不等式制約となる .

$$\mathbf{D}_{tm}\Delta\mathbf{t} \geq -\mathbf{D}_{tm}\mathbf{t} \quad (4.167)$$

### 関節角微分二乗積分最小化

関節角微分の二乗積分は次式で得られる .

$$F_{sqr,k}(\mathbf{p}) = \int_{t_s}^{t_f} \left\| \boldsymbol{\theta}^{(k)}(t) \right\|^2 dt \quad (4.168)$$

$$= \int_{t_s}^{t_f} \left\| \mathbf{B}_{n-k}(t) \hat{\mathbf{D}}_k \mathbf{p} \right\|^2 dt \quad (4.169)$$

$$= \int_{t_s}^{t_f} \left( \mathbf{B}_{n-k}(t) \hat{\mathbf{D}}_k \mathbf{p} \right)^T \left( \mathbf{B}_{n-k}(t) \hat{\mathbf{D}}_k \mathbf{p} \right) dt \quad (4.170)$$

$$= \mathbf{p}^T \left\{ \int_{t_s}^{t_f} \left( \mathbf{B}_{n-k}(t) \hat{\mathbf{D}}_k \right)^T \mathbf{B}_{n-k}(t) \hat{\mathbf{D}}_k dt \right\} \mathbf{p} \quad (4.171)$$

$$= \mathbf{p}^T \mathbf{H}_k \mathbf{p} \quad (4.172)$$

ただし ,

$$\mathbf{H}_k = \int_{t_s}^{t_f} \left( \mathbf{B}_{n-k}(t) \hat{\mathbf{D}}_k \right)^T \mathbf{B}_{n-k}(t) \hat{\mathbf{D}}_k dt \quad (4.173)$$

$$\mathbf{B}_{n-k}(t) \hat{\mathbf{D}}_k = \begin{pmatrix} \mathbf{b}_{n-k}^T(t) & \mathbf{O} \\ \mathbf{O} & \ddots \\ \mathbf{O} & \mathbf{b}_{n-k}^T(t) \end{pmatrix} \begin{pmatrix} (\mathbf{D}^k)^T & \mathbf{O} \\ \mathbf{O} & \ddots \\ \mathbf{O} & (\mathbf{D}^k)^T \end{pmatrix} \quad (4.174)$$

$$= \begin{pmatrix} \mathbf{b}_{n-k}^T(t)(\mathbf{D}^k)^T & \mathbf{O} \\ \mathbf{O} & \ddots \\ \mathbf{O} & \mathbf{b}_{n-k}^T(t)(\mathbf{D}^k)^T \end{pmatrix} \quad (4.175)$$

$$= \begin{pmatrix} (\mathbf{D}^k \mathbf{b}_{n-k}(t))^T & \mathbf{O} \\ \mathbf{O} & \ddots \\ \mathbf{O} & (\mathbf{D}^k \mathbf{b}_{n-k}(t))^T \end{pmatrix} \quad (4.176)$$

$$\left( \mathbf{B}_{n-k}(t) \hat{\mathbf{D}}_k \right)^T \mathbf{B}_{n-k}(t) = \begin{pmatrix} (\mathbf{D}^k \mathbf{b}_{n-k}(t))^T & \mathbf{O} \\ \mathbf{O} & \ddots \\ \mathbf{O} & (\mathbf{D}^k \mathbf{b}_{n-k}(t))^T \end{pmatrix}^T \begin{pmatrix} (\mathbf{D}^k \mathbf{b}_{n-k}(t))^T & \mathbf{O} \\ \mathbf{O} & \ddots \\ \mathbf{O} & (\mathbf{D}^k \mathbf{b}_{n-k}(t))^T \end{pmatrix} \quad (4.177)$$

$$= \begin{pmatrix} (\mathbf{D}^k \mathbf{b}_{n-k}(t)) (\mathbf{D}^k \mathbf{b}_{n-k}(t))^T & \mathbf{O} \\ \mathbf{O} & \ddots \\ \mathbf{O} & (\mathbf{D}^k \mathbf{b}_{n-k}(t)) (\mathbf{D}^k \mathbf{b}_{n-k}(t))^T \end{pmatrix} \quad (4.178)$$

これを逐次二次計画問題において , 二次形式の正則化項として目的関数に加えることで , 滑らかな動作が生成されることが期待される .

### 動作期間の最小化

動作期間 ( $t_f - t_s$ ) の二乗は次式で表される .

$$F_{duration}(\mathbf{t}) = |t_1 - t_{N_{tm}}|^2 \quad (4.179)$$

$$= \mathbf{t}^T \begin{pmatrix} 1 & -1 \\ -1 & 1 \end{pmatrix} \mathbf{t} \quad (4.180)$$

ただし，初期時刻  $t_s = t_1$ ，終端時刻  $t_f = t_{N_{tm}}$  がタイミングベクトル  $t$  の最初，最後の要素であるとする．これを逐次二次計画問題において，二次形式の正則化項として目的関数に加えることで，短時間でタスクを実現する動作が生成されることが期待される．

#### 4.2.2 B スプラインを用いた関節軌道生成の実装

### bspline-configuration-task

[class]

```

:super    propertied-object
:slots     (_robot robot instance)
           (_control-vector  $\mathbf{p}$ )
           (_timing-vector  $\mathbf{t}$ )
           (_num-kin  $N_{kin} := |\mathcal{T}^{kin-trg}| = |\mathcal{T}^{kin-att}|$ )
           (_num-joint  $N_{joint} := |\mathcal{J}|$ )
           (_num-control-point  $N_{ctrl}$ )
           (_num-timing  $N_{tm}$ )
           (_bspline-order B-spline order,  $n$ )
           (_dim-control-vector  $dim(\mathbf{p})$ )
           (_dim-timing-vector  $dim(\mathbf{t})$ )
           (_dim-config  $dim(\mathbf{q})$ )
           (_dim-task  $dim(\mathbf{e})$ )
           (_num-collision  $N_{col} :=$  number of collision check pairs)
           (_stationery-start-finish-task-scale  $k_{stat}$ )
           (_first-diff-square-integration-regular-scale  $k_{sqr,1}$ )
           (_second-diff-square-integration-regular-scale  $k_{sqr,2}$ )
           (_third-diff-square-integration-regular-scale  $k_{sqr,3}$ )
           (_motion-duration-regular-scale  $k_{duration}$ )
           (_norm-regular-scale-max  $k_{max,p}$ )
           (_norm-regular-scale-offset  $k_{off,p}$ )
           (_timing-norm-regular-scale-max  $k_{max,t}$ )
           (_timing-norm-regular-scale-offset  $k_{off,t}$ )
           (_joint-list  $\mathcal{J}$ )
           (_start-time  $t_s$ )
           (_finish-time  $t_f$ )
           (_kin-time-list  $\{t_1^{kin-tm}, t_2^{kin-tm}, \dots, t_{N_{kin}}^{kin-tm}\}$ )
           (_kin-variable-timing-list list of bool. t for variable timing.)
           (_kin-target-coords-list  $\mathcal{T}^{kin-trg}$ )
           (_kin-attention-coords-list  $\mathcal{T}^{kin-att}$ )
           (_kin-pos-tolerance-list list of position tolerance  $e_{tol,pos}$  [m])
           (_kin-rot-tolerance-list list of rotation tolerance  $e_{tol,rot}$  [rad])
           (_joint-angle-margin margin of  $\theta$  [deg] [mm])
           (_collision-pair-list list of bodyset-link or body pair)
           (_keep-timing-order? whether to keep order of timing  $\mathbf{t}$  or not)
           (_bspline-matrix buffer for  $\mathbf{B}_n(t)$ )

```

( $\_$ diff-mat buffer for  $D^k$ )  
 ( $\_$ diff-mat-list buffer for  $\{D^1, D^2, \dots, D^K\}$ )  
 ( $\_$ extended-diff-mat-list buffer for  $\{\hat{D}_1, \hat{D}_2, \dots, \hat{D}_K\}$ )  
 ( $\_$ task-jacobi buffer for  $\frac{\partial e}{\partial q}$ )  
 ( $\_$ regular-mat buffer for  $W_{reg}$ )  
 ( $\_$ regular-vec buffer for  $v_{reg}$ )

B スプラインを利用した軌道生成のためのコンフィギュレーション  $q$  とタスク関数  $e(q)$  のクラス .

コンフィギュレーション  $q$  の取得・更新 , タスク関数  $e(q)$  の取得 , タスク関数のヤコビ行列  $\frac{\partial e(q)}{\partial q}$  の取得 , コンフィギュレーションの等式・不等式制約  $A, b, C, d$  の取得のためのメソッドが定義されている .

コンフィギュレーション・タスク関数を定めるために , 初期化時に以下を与える

- ロボット

**robot** ロボットのインスタンス

**joint-list**  $\mathcal{J}$  関節

- B スプラインのパラメータ

**start-time**  $t_s$  B スプラインの使用区間の初期時刻

**finish-time**  $t_f$  B スプラインの使用区間の終端時刻

**num-control-point**  $N_{ctrl}$  制御点の個数

**bspline-order**  $n$  B スプラインの次数

- 幾何拘束

**kin-target-coords-list**  $\mathcal{T}^{kin-trg}$  幾何到達目標位置姿勢リスト

**kin-attention-coords-list**  $\mathcal{T}^{kin-att}$  幾何到達着目位置姿勢リスト

**kin-time-list**  $\{t_1^{kin-tm}, t_2^{kin-tm}, \dots, t_{N_{kin}}^{kin-tm}\}$  幾何到達タイミングリスト

**kin-variable-timing-list** 幾何到達タイミングが可変か (t) , 固定か (nil) のリスト . このリスト内の t の個数がタイミング t の次元  $N_{tm}$  となる .

コンフィギュレーション  $q$  は以下から構成される .

$$\mathbf{q} := \begin{pmatrix} \mathbf{p} \\ t \end{pmatrix} \quad (4.181)$$

$\mathbf{p} \in \mathbb{R}^{N_{ctrl}N_{joint}}$  制御点 (B スプライン基底関数の山の高さ) [rad] [m]

$t \in \mathbb{R}^{N_{tm}}$  タイミング (幾何拘束タスクの課される時刻) [sec]

タスク関数  $e(q)$  は以下から構成される .

$$\mathbf{e}(\mathbf{q}) := \begin{pmatrix} \mathbf{e}^{kin}(\mathbf{q}) \\ \mathbf{e}^{stat}(\mathbf{q}) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{6N_{kin}+4N_{joint}} \quad (4.182)$$

$\mathbf{e}^{kin}(\mathbf{q}) \in \mathbb{R}^{6N_{kin}}$  幾何到達拘束 [rad] [m]

$\mathbf{e}^{stat}(\mathbf{q}) \in \mathbb{R}^{4N_{joint}}$  初期 , 終端時刻静止拘束 [rad][rad/s][rad/s<sup>2</sup>][m][m/s][m/s<sup>2</sup>]

```

:init &key (name) [method]
  (robot)
  (joint-list (send robot :joint-list))
  (start-time 0.0)
  (finish-time 10.0)
  (num-control-point 10)
  (bspline-order 3)
  (kin-time-list)
  (kin-variable-timing-list (make-list (length kin-time-list) :initial-element nil))
  (kin-target-coords-list)
  (kin-attention-coords-list)
  (kin-pos-tolerance-list (make-list (length kin-time-list) :initial-element 0.0))
  (kin-rot-tolerance-list (make-list (length kin-time-list) :initial-element 0.0))
  (joint-angle-margin 3.0)
  (collision-pair-list)
  (keep-timing-order? t)
  (stationery-start-finish-task-scale 0.0)
  (first-diff-square-integration-regular-scale 0.0)
  (second-diff-square-integration-regular-scale 0.0)
  (third-diff-square-integration-regular-scale 0.0)
  (motion-duration-regular-scale 0.0)
  (norm-regular-scale-max 1.000000e-05)
  (norm-regular-scale-offset 1.000000e-07)
  (timing-norm-regular-scale-max 1.000000e-05)
  (timing-norm-regular-scale-offset 1.000000e-07)

```

Initialize instance

```

:robot [method]
  return robot instance

:joint-list [method]
  return  $\mathcal{J}$ 

:num-kin [method]
  return  $N_{kin} := |\mathcal{T}^{kin-trg}| = |\mathcal{T}^{kin-att}|$ 

:num-joint [method]
  return  $N_{joint} := |\mathcal{J}|$ 

:num-control-point [method]
  return  $N_{ctrl}$ 

:num-timing [method]
  return  $N_{tm}$ 

:num-collision [method]
  return  $N_{col} :=$  number of collision check pairs

:dim-config [method]
  return  $dim(\mathbf{q}) := dim(\mathbf{p}) + dim(\mathbf{t}) = N_{ctrl}N_{joint} + N_{tm}$ 

```

**:dim-task** [method]  
 return  $\dim(\mathbf{e}) := \dim(\mathbf{e}^{kin}) + \dim(\mathbf{e}^{stat}) = 6N_{kin} + 4N_{joint}$

**:control-vector** [method]  
 return control vector  $\mathbf{p}$

**:timing-vector** [method]  
 return timing vector  $\mathbf{t}$

**:config-vector** [method]  
 return  $\mathbf{q} := \begin{pmatrix} \mathbf{p} \\ \mathbf{t} \end{pmatrix}$

**:set-control-vector** *control-vector-new* &key (relative? nil) [method]  
 Set  $\mathbf{p}$ .

**:set-timing-vector** *timing-vector-new* &key (relative? nil) [method]  
 Set  $\mathbf{t}$ .

**:set-config** *config-new* &key (relative? nil) [method]  
 Set  $\mathbf{q}$ .

**:bspline-vector** *tm* &key (order-offset 0) [method]

$$\mathbf{b}_n(t) := \begin{pmatrix} b_{0,n}(t) \\ b_{1,n}(t) \\ \vdots \\ b_{N_{ctrl}-1,n}(t) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{ctrl}} \quad (4.183)$$

return  $\mathbf{b}_n(t)$

**:bspline-matrix** *tm* &key (order-offset 0) [method]

$$\mathbf{B}_n(t) := \begin{pmatrix} \mathbf{b}_n^T(t) & & \mathbf{O} \\ & \mathbf{b}_n^T(t) & \\ & & \ddots \\ \mathbf{O} & & \mathbf{b}_n^T(t) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{joint} \times N_{ctrl} N_{joint}} \quad (4.184)$$

return  $\mathbf{B}_n(t)$

**:differential-matrix** &key (diff-order 1) [method]

$$\mathbf{D} := \frac{1}{h} \begin{pmatrix} 1 & -1 & & & \mathbf{O} \\ & 1 & -1 & & \\ & & \ddots & \ddots & \\ & & & \ddots & -1 \\ \mathbf{O} & & & & 1 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{ctrl} \times N_{ctrl}} \quad (4.185)$$

return  $\mathbf{D}^k$

**:extended-differential-matrix** *&key* (*diff-order 1*)

[method]

$$\hat{\mathbf{D}}_k := \begin{pmatrix} (\mathbf{D}^k)^T & \mathbf{O} \\ \mathbf{O} & \ddots & (\mathbf{D}^k)^T \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{ctrl}N_{joint} \times N_{ctrl}N_{joint}} \quad (4.186)$$

return  $\hat{\mathbf{D}}_k$

**:bspline-differential-matrix** *tm* *&key* (*diff-order 1*)

[method]

return  $\mathbf{B}_{n-k}(t)\hat{\mathbf{D}}_k \in \mathbb{R}^{N_{joint} \times N_{ctrl}N_{joint}}$

**:control-matrix**

[method]

$$\mathbf{P} := \begin{pmatrix} \mathbf{p}_1^T \\ \mathbf{p}_2^T \\ \vdots \\ \mathbf{p}_{n_{joint}}^T \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{joint} \times N_{ctrl}} \quad (4.187)$$

return  $\mathbf{P}$

**:theta** *tm*

[method]

return  $\boldsymbol{\theta}(t) = \mathbf{B}_n(t)\mathbf{p}$  [rad][m]

**:theta-dot** *tm* *&key* (*diff-order 1*)

[method]

return  $\boldsymbol{\theta}^{(k)}(t) = \frac{d^{(k)}\boldsymbol{\theta}(t)}{dt^{(k)}} = \mathbf{P}\mathbf{D}^k\mathbf{b}_{n-k}(t)$  [rad/s<sup>k</sup>][m/s<sup>k</sup>]

**:theta-dot-numerical** *tm* *&key* (*diff-order 1*)

[method]

(*delta-time 0.05*)

return  $\boldsymbol{\theta}^{(k)}(t) = \frac{d^{(k)}\boldsymbol{\theta}(t)}{dt^{(k)}} = \frac{\boldsymbol{\theta}^{(k-1)}(t + \Delta t) - \boldsymbol{\theta}^{(k-1)}(t)}{\Delta t}$  [rad/s<sup>k</sup>][m/s<sup>k</sup>]

**:apply-theta-to-robot** *tm*

[method]

apply  $\boldsymbol{\theta}(t)$  to robot.

**:kin-target-coords-list**

[method]

$$T_m^{kin-trg} = \{\mathbf{p}_l^{kin-trg}, \mathbf{R}_l^{kin-trg}\} \quad (l = 1, 2, \dots, N_{kin}) \quad (4.188)$$

return  $\mathcal{T}^{kin-trg} := \{T_1^{kin-trg}, T_2^{kin-trg}, \dots, T_{N_{kin}}^{kin-trg}\}$

**:kin-attention-coords-list**

[method]

$$T_m^{kin-att} = \{\mathbf{p}_l^{kin-att}, \mathbf{R}_l^{kin-att}\} \quad (l = 1, 2, \dots, N_{kin}) \quad (4.189)$$

return  $\mathcal{T}^{kin-att} := \{T_1^{kin-att}, T_2^{kin-att}, \dots, T_{N_{kin}}^{kin-att}\}$

**:kin-start-time**

[method]

return  $t_s^{kin} := t_1^{kin-tm}$

:kin-finish-time

return  $t_f^{kin} := t_{N_{kin}}^{kin-tm}$

[method]

:motion-duration

return  $(t_{N_{kin}}^{kin-tm} - t_1^{kin-tm})$

[method]

:kinematics-task-value  $\mathcal{E}key$  (*update?*  $t$ )

[method]

$$\mathbf{e}^{kin}(\mathbf{q}) = \mathbf{e}^{kin}(\mathbf{p}, \mathbf{t}) \quad (4.190)$$

$$= \begin{pmatrix} \mathbf{e}_1^{kin}(\mathbf{p}, \mathbf{t}) \\ \mathbf{e}_2^{kin}(\mathbf{p}, \mathbf{t}) \\ \vdots \\ \mathbf{e}_{N_{kin}}^{kin}(\mathbf{p}, \mathbf{t}) \end{pmatrix} \quad (4.191)$$

$$\mathbf{e}_l^{kin}(\mathbf{p}, \mathbf{t}) = \left( \frac{\mathbf{p}_l^{kin-trg} - \mathbf{p}_l^{kin-att}(\mathbf{p}, \mathbf{t})}{\mathbf{a}(\mathbf{R}_l^{kin-trg} \mathbf{R}_l^{kin-att}(\mathbf{p}, \mathbf{t})^T)} \right) \in \mathbb{R}^6 \quad (l = 1, 2, \dots, N_{kin}) \quad (4.192)$$

$\mathbf{a}(\mathbf{R})$  は姿勢行列  $\mathbf{R}$  の等価角軸ベクトルを表す .

return  $\mathbf{e}^{kin}(\mathbf{q}) \in \mathbb{R}^{6N_{kin}}$

:stationery-start-finish-task-value  $\mathcal{E}key$  (*update?*  $t$ )

[method]

$$\mathbf{e}^{stat}(\mathbf{q}) = \mathbf{e}^{stat}(\mathbf{p}, \mathbf{t}) \quad (4.193)$$

$$= \begin{pmatrix} \mathbf{e}_{sv}^{stat}(\mathbf{p}, \mathbf{t}) \\ \mathbf{e}_{fv}^{stat}(\mathbf{p}, \mathbf{t}) \\ \mathbf{e}_{sa}^{stat}(\mathbf{p}, \mathbf{t}) \\ \mathbf{e}_{fa}^{stat}(\mathbf{p}, \mathbf{t}) \end{pmatrix} \quad (4.194)$$

$$\mathbf{e}_{sv}^{stat}(\mathbf{p}, \mathbf{t}) := \dot{\theta}(t_s^{kin}) \quad (4.195)$$

$$\mathbf{e}_{fv}^{stat}(\mathbf{p}, \mathbf{t}) := \dot{\theta}(t_f^{kin}) \quad (4.196)$$

$$\mathbf{e}_{sa}^{stat}(\mathbf{p}, \mathbf{t}) := \ddot{\theta}(t_s^{kin}) \quad (4.197)$$

$$\mathbf{e}_{fa}^{stat}(\mathbf{p}, \mathbf{t}) := \ddot{\theta}(t_f^{kin}) \quad (4.198)$$

return  $\mathbf{e}^{stat}(\mathbf{q}) \in \mathbb{R}^{4N_{joint}}$

:task-value  $\mathcal{E}key$  (*update?*  $t$ )

[method]

return  $\mathbf{e}(\mathbf{q}) := \begin{pmatrix} \mathbf{e}^{kin}(\mathbf{q}) \\ k_{stat} \mathbf{e}^{stat}(\mathbf{q}) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{6N_{kin} + 4N_{joint}}$

:kinematics-task-jacobian-with-control-vector

[method]

式 (4.110) より , タスク関数  $e^{kin}$  を制御点  $\mathbf{p}$  で微分したヤコビ行列は次式で得られる .

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \mathbf{p}} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \mathbf{e}_1^{kin}}{\partial \mathbf{p}} \\ \frac{\partial \mathbf{e}_2^{kin}}{\partial \mathbf{p}} \\ \vdots \\ \frac{\partial \mathbf{e}_{N_{kin}}^{kin}}{\partial \mathbf{p}} \end{pmatrix} \quad (4.199)$$

$$\frac{\partial \mathbf{e}_l^{kin}}{\partial \mathbf{p}} = -\mathbf{J}^{kin-att}(\theta(t_l^{kin-tm})) \mathbf{B}_n(t_l^{kin-tm}) \quad (l = 1, 2, \dots, N_{kin}) \quad (4.200)$$

$$\text{return } \frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \mathbf{p}} \in \mathbb{R}^{6N_{kin} \times N_{ctrl} N_{joint}}$$

:kinematics-task-jacobian-with-timing-vector

[method]

式 (4.117) より, タスク関数  $\mathbf{e}^{kin}$  をタイミング  $t$  で微分したヤコビ行列は次式で得られる .

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial t} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \mathbf{e}_1^{kin}}{\partial t} \\ \frac{\partial \mathbf{e}_2^{kin}}{\partial t} \\ \vdots \\ \frac{\partial \mathbf{e}_{N_{kin}}^{kin}}{\partial t} \end{pmatrix} \quad (4.201)$$

$\frac{\partial \mathbf{e}_l^{kin}}{\partial t}$  の  $i$  番目の列ベクトル  $\left[ \frac{\partial \mathbf{e}_l^{kin}}{\partial t} \right]_i \in \mathbb{R}^6$  は次式で表される ( $i = 1, 2, \dots, N_{tm}$ ) .

$$\left[ \frac{\partial \mathbf{e}_l^{kin}}{\partial t} \right]_i = \begin{cases} -\mathbf{J}^{kin-att}(\boldsymbol{\theta}(t_l^{kin-tm})) \mathbf{P} \mathbf{D} \mathbf{b}_{n-1}(t_l^{kin-tm}) & t_l^{kin-tm} \text{ and } t_i \text{ is identical} \\ \mathbf{0} & \text{otherwise} \end{cases} \quad (4.202)$$

$$\text{return } \frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial t} \in \mathbb{R}^{6N_{kin} \times N_{tm}}$$

:stationery-start-finish-task-jacobian-with-control-vector

[method]

式 (4.130), 式 (4.131), 式 (4.132), 式 (4.133) より, タスク関数  $\mathbf{e}^{stat}$  を制御点  $\mathbf{p}$  で微分したヤコビ行列は次式で得られる .

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{stat}}{\partial \mathbf{p}} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \mathbf{e}_{sv}^{stat}}{\partial \mathbf{p}} \\ \frac{\partial \mathbf{e}_{fv}^{stat}}{\partial \mathbf{p}} \\ \frac{\partial \mathbf{e}_{sa}^{stat}}{\partial \mathbf{p}} \\ \frac{\partial \mathbf{e}_{fa}^{stat}}{\partial \mathbf{p}} \end{pmatrix} \quad (4.203)$$

$$\frac{\partial \mathbf{e}_{sv}^{stat}(\mathbf{p}, \mathbf{t})}{\partial \mathbf{p}} = \mathbf{B}_{n-1}(t_s^{kin}) \hat{\mathbf{D}}_1 \quad (4.204)$$

$$\frac{\partial \mathbf{e}_{fv}^{stat}(\mathbf{p}, \mathbf{t})}{\partial \mathbf{p}} = \mathbf{B}_{n-1}(t_f^{kin}) \hat{\mathbf{D}}_1 \quad (4.205)$$

$$\frac{\partial \mathbf{e}_{sa}^{stat}(\mathbf{p}, \mathbf{t})}{\partial \mathbf{p}} = \mathbf{B}_{n-2}(t_s^{kin}) \hat{\mathbf{D}}_2 \quad (4.206)$$

$$\frac{\partial \mathbf{e}_{fa}^{stat}(\mathbf{p}, \mathbf{t})}{\partial \mathbf{p}} = \mathbf{B}_{n-2}(t_f^{kin}) \hat{\mathbf{D}}_2 \quad (4.207)$$

$$\text{return } \frac{\partial \mathbf{e}^{stat}}{\partial \mathbf{p}} \in \mathbb{R}^{4N_{joint} \times N_{ctrl} N_{joint}}$$

:stationery-start-finish-task-jacobian-with-timing-vector

[method]

式 (4.134), 式 (4.135), 式 (4.136), 式 (4.137) より, タスク関数  $\mathbf{e}^{stat}$  をタイミング  $t$  で微分したヤコビ行列は次式で得られる .

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{stat}}{\partial t} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \mathbf{e}_{sv}^{stat}}{\partial t} \\ \frac{\partial \mathbf{e}_{fv}^{stat}}{\partial t} \\ \frac{\partial \mathbf{e}_{sa}^{stat}}{\partial t} \\ \frac{\partial \mathbf{e}_{fa}^{stat}}{\partial t} \end{pmatrix} \quad (4.208)$$

$\frac{\partial \mathbf{e}_x^{stat}}{\partial t}$  の  $i$  番目の列ベクトル  $\left[ \frac{\partial \mathbf{e}_x^{stat}}{\partial t} \right]_i \in \mathbb{R}^{N_{joint}}$  は次式で表される ( $x \in \{sv, fv, sa, fa\}, i = 1, 2, \dots, N_{tm}\}$ ) .

$$\left[ \frac{\partial e_{sv}^{stat}(\mathbf{p}, \mathbf{t})}{\partial t} \right]_i = \begin{cases} \mathbf{P} \mathbf{D}^2 \mathbf{b}_{n-2}(t_s^{kin}) & t_s^{kin} \text{ and } t_i \text{ is identical} \\ \mathbf{0} & \text{otherwise} \end{cases} \quad (4.209)$$

$$\left[ \frac{\partial e_{fv}^{stat}(\mathbf{p}, \mathbf{t})}{\partial t} \right]_i = \begin{cases} \mathbf{P} \mathbf{D}^2 \mathbf{b}_{n-2}(t_f^{kin}) & t_f^{kin} \text{ and } t_i \text{ is identical} \\ \mathbf{0} & \text{otherwise} \end{cases} \quad (4.210)$$

$$\left[ \frac{\partial e_{sa}^{stat}(\mathbf{p}, \mathbf{t})}{\partial t} \right]_i = \begin{cases} \mathbf{P} \mathbf{D}^3 \mathbf{b}_{n-3}(t_s^{kin}) & t_s^{kin} \text{ and } t_i \text{ is identical} \\ \mathbf{0} & \text{otherwise} \end{cases} \quad (4.211)$$

$$\left[ \frac{\partial e_{fa}^{stat}(\mathbf{p}, \mathbf{t})}{\partial t} \right]_i = \begin{cases} \mathbf{P} \mathbf{D}^3 \mathbf{b}_{n-3}(t_f^{kin}) & t_f^{kin} \text{ and } t_i \text{ is identical} \\ \mathbf{0} & \text{otherwise} \end{cases} \quad (4.212)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{stat}}{\partial t} \in \mathbb{R}^{4N_{joint} \times N_{tm}}$

:task-jacobian

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}} = \frac{6N_{kin}}{4N_{joint}} \begin{pmatrix} N_{ctrl}N_{joint} & N_{tm} \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \mathbf{p}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \mathbf{t}} \\ k_{stat} \frac{\partial \mathbf{e}^{stat}}{\partial \mathbf{p}} & k_{stat} \frac{\partial \mathbf{e}^{stat}}{\partial \mathbf{t}} \end{pmatrix} \quad (4.213)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}} = \mathbb{R}^{(6N_{kin}+4N_{joint}) \times (N_{ctrl}N_{joint}+N_{tm})}$

:theta-max-vector &key (update? nil)

return  $\boldsymbol{\theta}_{max} \in \mathbb{R}^{N_{joint}}$

[method]

:theta-min-vector &key (update? nil)

return  $\boldsymbol{\theta}_{min} \in \mathbb{R}^{N_{joint}}$

[method]

:theta-inequality-constraint-matrix &key (update? nil)

式 (4.144) より , 関節角度上下限制約は次式で表される .

$$\hat{\mathbf{E}} \boldsymbol{\theta}_{min} \leq \mathbf{p} + \Delta \mathbf{p} \leq \hat{\mathbf{E}} \boldsymbol{\theta}_{max} \quad (4.214)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \end{pmatrix} \Delta \mathbf{p} \geq \begin{pmatrix} \hat{\mathbf{E}} \boldsymbol{\theta}_{min} - \mathbf{p} \\ -\hat{\mathbf{E}} \boldsymbol{\theta}_{max} + \mathbf{p} \end{pmatrix} \quad (4.215)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{C}_{\boldsymbol{\theta}} \Delta \mathbf{p} \geq \mathbf{d}_{\boldsymbol{\theta}} \quad (4.216)$$

ただし ,

$$\hat{\mathbf{E}} := \begin{pmatrix} \mathbf{1}_{N_{ctrl}} & & \mathbf{0}_{N_{ctrl}} \\ & \mathbf{1}_{N_{ctrl}} & \\ & & \ddots \\ \mathbf{0}_{N_{ctrl}} & & \mathbf{1}_{N_{ctrl}} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{ctrl}N_{joint} \times N_{joint}} \quad (4.217)$$

$\mathbf{1}_{N_{ctrl}} \in \mathbb{R}^{N_{ctrl}}$  は全要素が 1 の  $N_{ctrl}$  次元ベクトルである .

return  $\mathbf{C}_{\boldsymbol{\theta}} := \begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{2N_{ctrl}N_{joint} \times N_{ctrl}N_{joint}}$

:theta-inequality-constraint-vector &key (update? t)

return  $\mathbf{d}_{\boldsymbol{\theta}} := \begin{pmatrix} \hat{\mathbf{E}} \boldsymbol{\theta}_{min} - \mathbf{p} \\ -\hat{\mathbf{E}} \boldsymbol{\theta}_{max} + \mathbf{p} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{2N_{ctrl}N_{joint}}$

[method]

**:velocity-max-vector** *&key (update? nil)*

return  $\mathbf{v}_{max} \in \mathbb{R}^{N_{joint}}$

[method]

**:velocity-inequality-constraint-matrix** *&key (update? nil)*

式 (4.152) より, 関節速度上下限制約は次式で表される .

$$-\hat{\mathbf{E}}\mathbf{v}_{max} \leq \hat{\mathbf{D}}_1(\mathbf{p} + \Delta\mathbf{p}) \leq \hat{\mathbf{E}}\mathbf{v}_{max} \quad (4.218)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} \hat{\mathbf{D}}_1 \\ -\hat{\mathbf{D}}_1 \end{pmatrix} \Delta\mathbf{p} \geq \begin{pmatrix} -\hat{\mathbf{E}}\mathbf{v}_{max} - \hat{\mathbf{D}}_1\mathbf{p} \\ -\hat{\mathbf{E}}\mathbf{v}_{max} + \hat{\mathbf{D}}_1\mathbf{p} \end{pmatrix} \quad (4.219)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{C}_{\dot{\theta}} \Delta\mathbf{p} \geq \mathbf{d}_{\dot{\theta}} \quad (4.220)$$

return  $\mathbf{C}_{\dot{\theta}} := \begin{pmatrix} \hat{\mathbf{D}}_1 \\ -\hat{\mathbf{D}}_1 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{2N_{ctrl}N_{joint} \times N_{ctrl}N_{joint}}$

**:velocity-inequality-constraint-vector** *&key (update? t)*

return  $\mathbf{d}_{\dot{\theta}} := \begin{pmatrix} -\hat{\mathbf{E}}\mathbf{v}_{max} - \hat{\mathbf{D}}_1\mathbf{p} \\ -\hat{\mathbf{E}}\mathbf{v}_{max} + \hat{\mathbf{D}}_1\mathbf{p} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{2N_{ctrl}N_{joint}}$

[method]

**:acceleration-max-vector** *&key (update? nil)*

return  $\mathbf{a}_{max} \in \mathbb{R}^{N_{joint}}$

[method]

**:acceleration-inequality-constraint-matrix** *&key (update? nil)*

式 (4.154) より, 関節加速度上下限制約は次式で表される .

$$-\hat{\mathbf{E}}\mathbf{a}_{max} \leq \hat{\mathbf{D}}_2(\mathbf{p} + \Delta\mathbf{p}) \leq \hat{\mathbf{E}}\mathbf{a}_{max} \quad (4.221)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} \hat{\mathbf{D}}_2 \\ -\hat{\mathbf{D}}_2 \end{pmatrix} \Delta\mathbf{p} \geq \begin{pmatrix} -\hat{\mathbf{E}}\mathbf{a}_{max} - \hat{\mathbf{D}}_2\mathbf{p} \\ -\hat{\mathbf{E}}\mathbf{a}_{max} + \hat{\mathbf{D}}_2\mathbf{p} \end{pmatrix} \quad (4.222)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{C}_{\ddot{\theta}} \Delta\mathbf{p} \geq \mathbf{d}_{\ddot{\theta}} \quad (4.223)$$

return  $\mathbf{C}_{\ddot{\theta}} := \begin{pmatrix} \hat{\mathbf{D}}_2 \\ -\hat{\mathbf{D}}_2 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{2N_{ctrl}N_{joint} \times N_{ctrl}N_{joint}}$

**:acceleration-inequality-constraint-vector** *&key (update? t)*

return  $\mathbf{d}_{\ddot{\theta}} := \begin{pmatrix} -\hat{\mathbf{E}}\mathbf{a}_{max} - \hat{\mathbf{D}}_2\mathbf{p} \\ -\hat{\mathbf{E}}\mathbf{a}_{max} + \hat{\mathbf{D}}_2\mathbf{p} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{2N_{ctrl}N_{joint}}$

[method]

**:control-vector-inequality-constraint-matrix** *&key (update? nil)*

[method]

$$\begin{cases} \mathbf{C}_{\theta} \Delta\mathbf{p} \geq \mathbf{d}_{\theta} \\ \mathbf{C}_{\dot{\theta}} \Delta\mathbf{p} \geq \mathbf{d}_{\dot{\theta}} \\ \mathbf{C}_{\ddot{\theta}} \Delta\mathbf{p} \geq \mathbf{d}_{\ddot{\theta}} \end{cases} \quad (4.224)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} \mathbf{C}_{\theta} \\ \mathbf{C}_{\dot{\theta}} \\ \mathbf{C}_{\ddot{\theta}} \end{pmatrix} \Delta\mathbf{p} \geq \begin{pmatrix} \mathbf{d}_{\theta} \\ \mathbf{d}_{\dot{\theta}} \\ \mathbf{d}_{\ddot{\theta}} \end{pmatrix} \quad (4.225)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{C}_p \Delta\mathbf{p} \geq \mathbf{d}_p \quad (4.226)$$

return  $\mathbf{C}_p := \begin{pmatrix} \mathbf{C}_{\theta} \\ \mathbf{C}_{\dot{\theta}} \\ \mathbf{C}_{\ddot{\theta}} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{p-ineq} \times dim(\mathbf{p})}$

**:control-vector-inequality-constraint-vector** *&key (update? t)*

[method]

$$\text{return } \mathbf{d}_p := \begin{pmatrix} d_{\theta} \\ d_{\dot{\theta}} \\ d_{\ddot{\theta}} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{p-ineq}}$$

:timing-vector-inequality-constraint-matrix  $\&key$  (*update?* nil) [method]

式 (4.159) より, タイミングが B スプラインの初期, 終端時刻の間に含まれる制約は次式で表される .

$$t_s \mathbf{1} \leq \mathbf{t} + \Delta \mathbf{t} \leq t_f \mathbf{1} \quad (4.227)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \end{pmatrix} \Delta \mathbf{t} \geq \begin{pmatrix} t_s \mathbf{1} - \mathbf{t} \\ -t_f \mathbf{1} + \mathbf{t} \end{pmatrix} \quad (4.228)$$

また, 式 (4.165) より, タイミングの順序が入れ替わることを許容しない場合, その制約は次式で表される .

$$\mathbf{D}_{tm}(\mathbf{t} + \Delta \mathbf{t}) \geq \mathbf{0} \quad (4.229)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{D}_{tm} \Delta \mathbf{t} \geq -\mathbf{D}_{tm} \mathbf{t} \quad (4.230)$$

ただし ,

$$\mathbf{D}_{tm} = \begin{pmatrix} -1 & 1 & & & \mathbf{O} \\ & -1 & 1 & & \\ & & & \ddots & \\ \mathbf{O} & & & & -1 & 1 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{(N_{tm}-1) \times N_{tm}} \quad (4.231)$$

これらを合わせると ,

$$\begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \\ \mathbf{D}_{tm} \end{pmatrix} \Delta \mathbf{t} \geq \begin{pmatrix} t_s \mathbf{1} - \mathbf{t} \\ -t_f \mathbf{1} + \mathbf{t} \\ -\mathbf{D}_{tm} \mathbf{t} \end{pmatrix} \Leftrightarrow \mathbf{C}_t \Delta \mathbf{p} \geq \mathbf{d}_t \quad (4.232)$$

$$\text{return } \mathbf{C}_t := \begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \\ \mathbf{D}_{tm} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{(3N_{tm}-1) \times \dim(\mathbf{t})}$$

:timing-vector-inequality-constraint-vector  $\&key$  (*update?* *t*) [method]

$$\text{return } \mathbf{d}_t := \begin{pmatrix} t_s \mathbf{1} - \mathbf{t} \\ -t_f \mathbf{1} + \mathbf{t} \\ -\mathbf{D}_{tm} \mathbf{t} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{(3N_{tm}-1)}$$

:config-inequality-constraint-matrix  $\&key$  (*update?* nil)  
(*update-collision?* nil) [method]

$$\begin{cases} \mathbf{C}_p \Delta \mathbf{p} \geq \mathbf{d}_p \\ \mathbf{C}_t \Delta \mathbf{t} \geq \mathbf{d}_t \end{cases} \quad (4.233)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} \mathbf{C}_p & \\ & \mathbf{C}_t \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \Delta \mathbf{p} \\ \Delta \mathbf{t} \end{pmatrix} \geq \begin{pmatrix} \mathbf{d}_p \\ \mathbf{d}_t \end{pmatrix} \quad (4.234)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{C} \Delta \mathbf{q} \geq \mathbf{d} \quad (4.235)$$

$$\text{return } \mathbf{C} := \begin{pmatrix} \mathbf{C}_p & \\ & \mathbf{C}_t \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{ineq} \times \dim(\mathbf{q})}$$

```

:config-inequality-constraint-vector Ekey (update? t)
                                         (update-collision? nil) [method]

    return  $\mathbf{d} := \begin{pmatrix} \mathbf{d}_p \\ \mathbf{d}_t \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{ineq}}$ 

:config-equality-constraint-matrix Ekey (update? nil) [method]
    return  $\mathbf{A} \in \mathbb{R}^{0 \times \text{dim}(\mathbf{Q})}$  (no equality constraint)

:config-equality-constraint-vector Ekey (update? t) [method]
    return  $\mathbf{b} \in \mathbb{R}^0$  (no equality constraint)

:square-integration-regular-matrix Ekey (diff-order 1) [method]
                                         (delta-time (/ (- finish-time start-time) 100.0))

```

式 (4.172) より、関節角微分の二乗積分は次式で得られる。

$$F_{sqr,k}(\mathbf{p}) = \int_{t_s}^{t_f} \left\| \boldsymbol{\theta}^{(k)}(t) \right\|^2 dt \quad (4.236)$$

$$= \mathbf{p}^T \mathbf{H}_{sqr,k} \mathbf{p} \quad (4.237)$$

ただし、

$$\mathbf{H}_{sqr,k} = \int_{t_s}^{t_f} \left( \mathbf{B}_{n-k}(t) \hat{\mathbf{D}}_k \right)^T \mathbf{B}_{n-k}(t) \hat{\mathbf{D}}_k dt \quad (4.238)$$

$$= \int_{t_s}^{t_f} \begin{pmatrix} \left( \mathbf{D}^k \mathbf{b}_{n-k}(t) \right) \left( \mathbf{D}^k \mathbf{b}_{n-k}(t) \right)^T & \mathbf{O} \\ \vdots & \ddots \\ \mathbf{O} & \left( \mathbf{D}^k \mathbf{b}_{n-k}(t) \right) \left( \mathbf{D}^k \mathbf{b}_{n-k}(t) \right)^T \end{pmatrix} dt \quad (4.239)$$

これは二次形式の正則化項である。

return  $\mathbf{H}_{sqr,k} \in \mathbb{R}^{\text{dim}(\mathbf{p}) \times \text{dim}(\mathbf{p})}$

```

:first-differential-square-integration-regular-matrix Ekey (delta-time (/ (- finish-time start-time) 100.0)) [method]
    return  $\mathbf{H}_{sqr,1} \in \mathbb{R}^{\text{dim}(\mathbf{p}) \times \text{dim}(\mathbf{p})}$ 

```

```

:second-differential-square-integration-regular-matrix Ekey (delta-time (/ (- finish-time start-time) 100.0)) [method]
    return  $\mathbf{H}_{sqr,2} \in \mathbb{R}^{\text{dim}(\mathbf{p}) \times \text{dim}(\mathbf{p})}$ 

```

```

:third-differential-square-integration-regular-matrix Ekey (delta-time (/ (- finish-time start-time) 100.0)) [method]
    return  $\mathbf{H}_{sqr,3} \in \mathbb{R}^{\text{dim}(\mathbf{p}) \times \text{dim}(\mathbf{p})}$ 

```

**:control-vector-regular-matrix** [method]

$$\mathbf{W}_{reg,p} := \min(k_{max,p}, \|e\|^2 + k_{off,p}) \mathbf{I} + k_{sqr,1} \mathbf{H}_{sqr,1} + k_{sqr,2} \mathbf{H}_{sqr,2} + k_{sqr,3} \mathbf{H}_{sqr,3} \quad (4.240)$$

return  $\mathbf{W}_{reg,p} \in \mathbb{R}^{\text{dim}(\mathbf{p}) \times \text{dim}(\mathbf{p})}$

**:control-vector-regular-vector** [method]

$$\mathbf{v}_{reg,p} := (k_{sqr,1}\mathbf{H}_{sqr,1} + k_{sqr,2}\mathbf{H}_{sqr,2} + k_{sqr,3}\mathbf{H}_{sqr,3})\mathbf{p} \quad (4.241)$$

return  $\mathbf{v}_{reg,p} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{p})}$

:motion-duration-regular-matrix [method]

式 (4.180) より, 動作期間の二乗は次式で得られる .

$$F_{duration}(\mathbf{t}) = |t_1 - t_{N_{tm}}|^2 \quad (4.242)$$

$$= \mathbf{t}^T \begin{pmatrix} 1 & -1 \\ -1 & 1 \end{pmatrix} \mathbf{t} \quad (4.243)$$

$$= \mathbf{t}^T \mathbf{H}_{duration} \mathbf{t} \quad (4.244)$$

これは二次形式の正則化項である .

return  $\mathbf{H}_{duration} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{t}) \times dim(\mathbf{t})}$

:timing-vector-regular-matrix [method]

$$\mathbf{W}_{reg,t} := \min(k_{max,t}, \|\mathbf{e}\|^2 + k_{off,t})\mathbf{I} + k_{duration}\mathbf{H}_{duration} \quad (4.245)$$

return  $\mathbf{W}_{reg,t} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{t}) \times dim(\mathbf{t})}$

:timing-vector-regular-vector [method]

$$\mathbf{v}_{reg,t} := k_{duration}\mathbf{H}_{duration}\mathbf{t} \quad (4.246)$$

return  $\mathbf{v}_{reg,t} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{t})}$

:regular-matrix [method]

$$\mathbf{W}_{reg} := \begin{pmatrix} \mathbf{W}_{reg,p} & \\ & \mathbf{W}_{reg,t} \end{pmatrix} \quad (4.247)$$

return  $\mathbf{W}_{reg} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{q}) \times dim(\mathbf{q})}$

:regular-vector [method]

$$\mathbf{v}_{reg} := \begin{pmatrix} \mathbf{v}_{reg,p} \\ \mathbf{v}_{reg,t} \end{pmatrix} \quad (4.248)$$

return  $\mathbf{v}_{reg} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{q}) \times dim(\mathbf{q})}$

:update-collision-inequality-constraint [method]

Not implemented yet.

:update-viewer &key (trajectory-delta-time (/ (- \_finish-time \_start-time) 10.0)) [method]

Update viewer.

**:print-status** [method]  
Print status.

**:print-motion-information** [method]  
Print motion information.

**:play-animation** &key (robot)  
(delta-time (/ (- \_finish-time \_start-time) 100.0))  
(only-motion-duration? t)  
(loop? t)  
(visualize-callback-func)

Play motion animation.

**:plot-theta-graph** &key (joint-id nil)  
(divide-num 200)  
(plot-numerical? nil)  
(only-motion-duration? t)  
(dat-filename /tmp/bspline-configuration-task-plot-theta-graph.dat)  
(dump-pdf? nil)  
(dump-filename (ros::resolve-ros-path package://eus\_qp/optmotiongen/logs/bspline-configuration-task-plot-theta-graph.dat))

Plot graph.

**:generate-angle-vector-sequence** &key (divide-num 100)  
(start-time (send self :kin-start-time))  
(finish-time (send self :kin-finish-time))  
(delta-time (/ (float (- finish-time start-time)) divide-num))

Generate angle-vector-sequence.

**get-bspline-knot** i n m x\_min x\_max h [function]

$$t_i = \frac{i-n}{m-n} (t_f - t_s) + t_s \quad (4.249)$$

$$= hi + \frac{mt_s - nt_f}{m-n} \quad (4.250)$$

return knot  $t_i$  for B-spline function

**bspline-basis-func** x i n m x\_min x\_max &optional (n-orig n) (m-orig m) [function]

$$b_{i,0}(t) = \begin{cases} 1 & \text{if } t_i \leq t < t_{i+1} \\ 0 & \text{otherwise} \end{cases} \quad (4.251)$$

$$b_{i,n}(t) = \frac{(t - t_i)b_{i,n-1}(t) + (t_{i+n+1} - t)b_{i+1,n-1}(t)}{nh} \quad (4.252)$$

return B-spline function value  $b_{i,n}(t)$ .

### 4.3 B スプラインを用いた動的動作の生成

**bspline-trajectory** [class]

```

:super   propertied-object
:slots    (_start-time  $t_s$ )
           (_finish-time  $t_f$ )
           (_num-control-point  $N_{ctrl}$ )
           (_bspline-order B-spline order,  $n$ )
           (_dim-instant-config  $N_{\bar{q}}$ )
           (_dim-control-vector  $dim(\mathbf{p}) := N_{ctrl}N_{\bar{q}}$ )
           (_control-vector  $\mathbf{p}$ )
           (_zero-diff-stationery-start-finish-regular-scale  $k_{stat,0}$ )
           (_first-diff-stationery-start-finish-regular-scale  $k_{stat,1}$ )
           (_second-diff-stationery-start-finish-regular-scale  $k_{stat,2}$ )
           (_diff-square-integration-regular-scale  $k_{sqr}$ )
           (_diff-mat buffer for  $\mathbf{D}^k$ )
           (_diff-mat-list buffer for  $\{\mathbf{D}^1, \mathbf{D}^2, \dots, \mathbf{D}^K\}$ )
           (_extended-diff-mat-list buffer for  $\{\hat{\mathbf{D}}_1, \hat{\mathbf{D}}_2, \dots, \hat{\mathbf{D}}_K\}$ )
           (_ineq-const-matrix buffer for  $\mathbf{C}_p$ )
           (_ineq-const-vector buffer for  $\mathbf{d}_p$ )

```

B スプラインを利用した軌道のクラス .

B スプラインベクトル・行列，制御点ベクトル・ベクトル，微分行列，瞬時コンフィギュレーションの取得や制御点ベクトルの更新のためのメソッドが定義されている .

B スプライン軌道を定めるために，初期化時に以下を与える

**start-time**  $t_s$  初期時刻

**finish-time**  $t_f$  終端時刻

**num-control-point**  $N_{ctrl}$  制御点の個数

**bspline-order**  $n$  B スプラインのオーダー

**dim-instant-config**  $N_{\bar{q}}$  瞬時コンフィギュレーションの次元

ある時刻の瞬時コンフィギュレーション  $\bar{q}(t) \in \mathbb{R}^{N_{\bar{q}}}$  の  $j$  番目の要素  $\bar{q}_j(t) \in \mathbb{R}$  を次式で表す .

$$\bar{q}_j(t) = \sum_{i=0}^{N_{ctrl}-1} p_{j,i} b_{i,n}(t) = \mathbf{p}_j^T \mathbf{b}_n(t) \quad (j = 1, 2, \dots, N_{\bar{q}}) \quad (4.253)$$

ただし，

$$\mathbf{p}_j = \begin{pmatrix} p_{j,0} \\ p_{j,1} \\ \vdots \\ p_{j,N_{ctrl}-1} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{ctrl}} \quad (j = 1, 2, \dots, N_{\bar{q}}) \quad (4.254)$$

$$\mathbf{b}_n(t) = \begin{pmatrix} b_{0,n}(t) \\ b_{1,n}(t) \\ \vdots \\ b_{N_{ctrl}-1,n}(t) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{ctrl}} \quad (4.255)$$

$b_{i,n}(t)$  は B スプライン基底関数である . また， $p_{j,i}$  をそれぞれ制御点と呼ぶ .

したがって， $\bar{q}(t)$  は次式で表される .

$$\bar{q}(t) = \begin{pmatrix} \bar{q}_1(t) \\ \vdots \\ \bar{q}_{N_{\bar{q}}}(t) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \mathbf{p}_1^T \mathbf{b}_n(t) \\ \mathbf{p}_2^T \mathbf{b}_n(t) \\ \vdots \\ \mathbf{p}_{N_{\bar{q}}}^T \mathbf{b}_n(t) \end{pmatrix} = \mathbf{P} \mathbf{b}_n(t) \quad (4.256)$$

ただし ,

$$\mathbf{P} = \begin{pmatrix} \mathbf{p}_1^T \\ \mathbf{p}_2^T \\ \vdots \\ \mathbf{p}_{N_{\bar{q}}}^T \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{\bar{q}} \times N_{ctrl}} \quad (4.257)$$

また ,  $\bar{q}(t)$  は , 制御点を縦に並べたベクトルを分離して次式のようにも表される .

$$\bar{q}(t) = \begin{pmatrix} \mathbf{b}_n^T(t) \mathbf{p}_1 \\ \mathbf{b}_n^T(t) \mathbf{p}_2 \\ \vdots \\ \mathbf{b}_n^T(t) \mathbf{p}_{N_{\bar{q}}} \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \mathbf{b}_n^T(t) & & & \mathbf{O} \\ & \mathbf{b}_n^T(t) & & \\ & & \ddots & \\ \mathbf{O} & & & \mathbf{b}_n^T(t) \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \mathbf{p}_1 \\ \mathbf{p}_2 \\ \vdots \\ \mathbf{p}_{N_{\bar{q}}} \end{pmatrix} = \mathbf{B}_n(t) \mathbf{p} \quad (4.258)$$

ただし ,

$$\mathbf{B}_n(t) = \begin{pmatrix} \mathbf{b}_n^T(t) & & & \mathbf{O} \\ & \mathbf{b}_n^T(t) & & \\ & & \ddots & \\ \mathbf{O} & & & \mathbf{b}_n^T(t) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{\bar{q}} \times N_{ctrl} N_{\bar{q}}}, \quad \mathbf{p} = \begin{pmatrix} \mathbf{p}_1 \\ \mathbf{p}_2 \\ \vdots \\ \mathbf{p}_{N_{\bar{q}}} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{ctrl} N_{\bar{q}}} \quad (4.259)$$

B スプラインによる軌道表現の詳細については第??節参照 .

```
:init &key (name)
  (start-time 0.0)
  (finish-time 10.0)
  (num-control-point 10)
  (bspline-order 3)
  (dim-instant-config 1)
  (stationery-start-finish-regular-scale 1.0)
  (zero-diff-stationery-start-finish-regular-scale 0.0)
  (first-diff-stationery-start-finish-regular-scale stationery-start-finish-regular-scale)
  (second-diff-stationery-start-finish-regular-scale stationery-start-finish-regular-scale)
  (diff-square-integration-regular-scale 1.0)

Initialize instance

:start-time [method]
  return  $t_s$ 

:finish-time [method]
  return  $t_s$ 

:num-control-point [method]
  return  $N_{ctrl}$ 
```

**:dim-instant-config** [method]  
 return  $N_{\bar{q}}$

**:dim-control-vector** [method]  
 return  $\dim(\mathbf{p}) := N_{ctrl}N_{\bar{q}}$

**:bspline-vector**  $tm \ \&key (order-offset 0)$  [method]

$$\mathbf{b}_n(t) := \begin{pmatrix} b_{0,n}(t) \\ b_{1,n}(t) \\ \vdots \\ b_{N_{ctrl}-1,n}(t) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{ctrl}} \quad (4.260)$$

return  $\mathbf{b}_n(t)$

**:bspline-matrix**  $tm \ \&key (order-offset 0)$  [method]

$$\mathbf{B}_n(t) := \begin{pmatrix} \mathbf{b}_n^T(t) & \mathbf{O} \\ & \mathbf{b}_n^T(t) \\ & & \ddots \\ \mathbf{O} & & & \mathbf{b}_n^T(t) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{\bar{q}} \times N_{ctrl}N_{\bar{q}}} \quad (4.261)$$

return  $\mathbf{B}_n(t)$

**:control-vector** [method]

$$\mathbf{p} := \begin{pmatrix} \mathbf{p}_1 \\ \vdots \\ \mathbf{p}_{N_{\bar{q}}} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{ctrl}N_{\bar{q}}} \quad (4.262)$$

return  $\mathbf{p}$

**:control-matrix** [method]

$$\mathbf{P} := \begin{pmatrix} \mathbf{p}_1^T \\ \vdots \\ \mathbf{p}_{N_{\bar{q}}}^T \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{\bar{q}} \times N_{ctrl}} \quad (4.263)$$

return  $\mathbf{P}$

**:differential-matrix**  $\&key (diff-order 1)$  [method]

$$\mathbf{D} := \frac{1}{h} \begin{pmatrix} 1 & -1 & & & \mathbf{O} \\ & 1 & -1 & & \\ & & \ddots & \ddots & \\ & & & \ddots & -1 \\ \mathbf{O} & & & & 1 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{ctrl} \times N_{ctrl}} \quad (4.264)$$

return  $\mathbf{D}^k$

**:extended-differential-matrix** *&key* (*diff-order* 1)

$$\hat{\mathbf{D}}_k := \begin{pmatrix} (\mathbf{D}^k)^T & \mathbf{O} \\ \vdots & \ddots \\ \mathbf{O} & (\mathbf{D}^k)^T \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{ctrl}N_{\bar{q}} \times N_{ctrl}N_{\bar{q}}} \quad (4.265)$$

return  $\hat{\mathbf{D}}_k$

**:instant-config** *tm*

$$\text{return } \bar{\mathbf{q}}(t) = \begin{pmatrix} \mathbf{p}_1^T \mathbf{b}_n(t) \\ \vdots \\ \mathbf{p}_{N_{\bar{q}}}^T \mathbf{b}_n(t) \end{pmatrix} = \mathbf{P} \mathbf{b}_n(t) = \mathbf{B}_n(t) \mathbf{p} \in \mathbb{R}^{N_{\bar{q}}}$$

[method]

**:instant-config-dot** *tm* *&key* (*diff-order* 1)

$$\text{return } \bar{\mathbf{q}}^{(k)}(t) = \frac{d^{(k)} \bar{\mathbf{q}}(t)}{dt^{(k)}} = \mathbf{P} \mathbf{D}^k \mathbf{b}_{n-k}(t)$$

[method]

**:set-control-vector** *control-vector-new* *&key* (*relative?* nil)

Set  $\mathbf{p} \in \mathbb{R}^{N_{ctrl}N_{\bar{q}}}$ .

[method]

**:set-control-vector-from-instant-config** *instant-config*

Set  $\mathbf{p} \in \mathbb{R}^{N_{ctrl}N_{\bar{q}}}$  from  $\bar{\mathbf{q}} \in \mathbb{R}^{N_{\bar{q}}}$ .

[method]

**:convert-instant-inequality-constraint-matrix-for-control-vector** *&key* (*instant-ineq-matrix*) [method]  
(*update?* nil)

$$\bar{\mathbf{q}}(t) = \begin{pmatrix} \bar{q}_1(t) \\ \vdots \\ \bar{q}_{N_{\bar{q}}}(t) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \sum_{i=0}^{N_{ctrl}-1} p_{1,i} b_{i,n}(t) \\ \sum_{i=0}^{N_{ctrl}-1} p_{2,i} b_{i,n}(t) \\ \vdots \\ \sum_{i=0}^{N_{ctrl}-1} p_{N_{\bar{q}},i} b_{i,n}(t) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \mathbf{p}_1^T \mathbf{b}_n(t) \\ \mathbf{p}_2^T \mathbf{b}_n(t) \\ \vdots \\ \mathbf{p}_{N_{\bar{q}}}^T \mathbf{b}_n(t) \end{pmatrix} = \mathbf{P} \mathbf{b}_n(t) \quad (4.266)$$

ただし ,

$$\mathbf{P} = \begin{pmatrix} \mathbf{p}_1^T \\ \mathbf{p}_2^T \\ \vdots \\ \mathbf{p}_{N_{\bar{q}}}^T \end{pmatrix} = (\tilde{\mathbf{p}}_0 \quad \tilde{\mathbf{p}}_1 \quad \cdots \quad \tilde{\mathbf{p}}_{N_{ctrl}-1}) \quad (4.267)$$

$$\tilde{\mathbf{p}}_i = \begin{pmatrix} p_{1,i} \\ p_{2,i} \\ \vdots \\ p_{N_{\bar{q}},i} \end{pmatrix} \quad (i = 0, 1, \dots, N_{ctrl} - 1) \quad (4.268)$$

ここで制御点  $p$  が次式を満たすとする .

$$\mathbf{c}^T \tilde{\mathbf{p}}_i \geq d \quad (i = 0, 1, \dots, N_{ctrl} - 1) \quad (4.269)$$

つまり ,

$$\begin{pmatrix} c_1 & c_2 & \cdots & c_{N_{\bar{q}}} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} p_{1,i} \\ p_{2,i} \\ \vdots \\ p_{N_{\bar{q}},i} \end{pmatrix} = \sum_{j=1}^{N_{\bar{q}}} c_j p_{j,i} \geq d \quad (i = 0, 1, \dots, N_{ctrl} - 1) \quad (4.270)$$

このとき ,

$$\mathbf{c}^T \bar{\mathbf{q}}(t) = \begin{pmatrix} c_1 & c_2 & \cdots & c_{N_{\bar{q}}} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \sum_{i=0}^{N_{ctrl}-1} p_{1,i} b_{i,n}(t) \\ \sum_{i=0}^{N_{ctrl}-1} p_{2,i} b_{i,n}(t) \\ \vdots \\ \sum_{i=0}^{N_{ctrl}-1} p_{N_{\bar{q}},i} b_{i,n}(t) \end{pmatrix} \quad (4.271)$$

$$= \sum_{j=1}^{N_{\bar{q}}} c_j \sum_{i=0}^{N_{ctrl}-1} p_{j,i} b_{i,n}(t) \quad (4.272)$$

$$= \sum_{i=0}^{N_{ctrl}-1} \left( \sum_{j=1}^{N_{\bar{q}}} c_j p_{j,i} \right) b_{i,n}(t) \quad (4.273)$$

$$\geq d \sum_{i=0}^{N_{ctrl}-1} b_{i,n}(t) \quad (4.274)$$

$$= d \quad (4.275)$$

したがって ,

$$\mathbf{C}_{\bar{q}} \bar{\mathbf{q}}(t) \geq \mathbf{d}_{\bar{q}} \quad (4.276)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{C}_{\bar{q}} \tilde{\mathbf{p}}_i \geq \mathbf{d}_{\bar{q}} \quad (i = 0, 1, \dots, N_{ctrl} - 1) \quad (4.277)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} N_{ctrl} & N_{ctrl} & N_{ctrl} \\ \mathbf{C}_{p,0,1} & \mathbf{C}_{p,0,2} & \cdots & \mathbf{C}_{p,0,N_{\bar{q}}} \\ \mathbf{C}_{p,1,1} & \mathbf{C}_{p,1,2} & \cdots & \mathbf{C}_{p,1,N_{\bar{q}}} \\ \vdots & \vdots & \ddots & \vdots \\ \mathbf{C}_{p,N_{ctrl}-1,1} & \mathbf{C}_{p,N_{ctrl}-1,2} & \cdots & \mathbf{C}_{p,N_{ctrl}-1,N_{\bar{q}}} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \mathbf{p}_1 \\ \mathbf{p}_2 \\ \vdots \\ \mathbf{p}_{N_{\bar{q}}} \end{pmatrix} \geq \begin{pmatrix} \mathbf{d}_{\bar{q}} \\ \mathbf{d}_{\bar{q}} \\ \vdots \\ \mathbf{d}_{\bar{q}} \end{pmatrix} \quad (4.278)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{C}_p \mathbf{p} \geq \mathbf{d}_p \quad (4.279)$$

ただし ,

$$\mathbf{C}_{\bar{q}} = \begin{pmatrix} c_1 & c_2 & \cdots & c_{N_{\bar{q}}} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{ineq} \times N_{\bar{q}}} \quad (4.280)$$

$$\mathbf{C}_{p,i,j} = \begin{pmatrix} \mathbf{0} & \cdots & \mathbf{0} & c_j & \mathbf{0} & \cdots & \mathbf{0} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{ineq} \times N_{ctrl}} \quad (4.281)$$

$$(i = 0, 1, \dots, N_{ctrl} - 1, j = 1, 2, \dots, N_{\bar{q}}) \quad (4.282)$$

このメソッドは  $\mathbf{C}_{\bar{q}} \in \mathbb{R}^{N_{ineq} \times N_{\bar{q}}}$  を受け取り ,  $\mathbf{C}_p \in \mathbb{R}^{N_{ctrl} N_{ineq} \times N_{ctrl} N_{\bar{q}}}$  を返す .

:convert-instant-inequality-constraint-vector-for-control-vector *&key* (*instant-ineq-vector*) [method]  
(*update?* nil)

このメソッドは  $\mathbf{d}_{\bar{q}} \in \mathbb{R}^{N_{ineq}}$  を受け取り ,  $\mathbf{d}_p \in \mathbb{R}^{N_{ctrl} N_{ineq}}$  を返す .

:stationery-start-finish-regular-matrix *&key* (*start-time* *\_start-time*)  
(*finish-time* *\_finish-time*)  
(*update?* nil) [method]

$$\mathbf{W}_{stat} = k_{stat,0} \mathbf{B}_n^T(t_s) \mathbf{B}_n(t_s) + k_{stat,0} \mathbf{B}_n^T(t_f) \mathbf{B}_n(t_f) \quad (4.283)$$

$$+ k_{stat,1} (\mathbf{B}_{n-1}(t_s) \hat{\mathbf{D}}_1)^T (\mathbf{B}_{n-1}(t_s) \hat{\mathbf{D}}_1) + k_{stat,1} (\mathbf{B}_{n-1}(t_f) \hat{\mathbf{D}}_1)^T (\mathbf{B}_{n-1}(t_f) \hat{\mathbf{D}}_1) \quad (4.284)$$

$$+ k_{stat,2} (\mathbf{B}_{n-2}(t_s) \hat{\mathbf{D}}_2)^T (\mathbf{B}_{n-2}(t_s) \hat{\mathbf{D}}_2) + k_{stat,2} (\mathbf{B}_{n-2}(t_f) \hat{\mathbf{D}}_2)^T (\mathbf{B}_{n-2}(t_f) \hat{\mathbf{D}}_2) \quad (4.285)$$

return  $\mathbf{W}_{stat} \in \mathbb{R}^{N_{ctrl} N_{\bar{q}} \times N_{ctrl} N_{\bar{q}}}$

```
:differential-square-integration-regular-matrix &key (start-time _start-time) [method]
                                               (finish-time _finish-time)
                                               (delta-time (/ (- finish-time start-time) 100.0))
                                               (diff-order 1)
```

式 (4.172) より、コンフィギュレーション微分の二乗積分は次式で得られる。

$$F_{sqr,k}(\mathbf{p}) = \int_{t_s}^{t_f} \left\| \bar{\mathbf{q}}^{(k)}(t) \right\|^2 dt \quad (4.286)$$

$$= \mathbf{p}^T \mathbf{W}_{sqr,k} \mathbf{p} \quad (4.287)$$

ただし、

$$\mathbf{W}_{sqr,k} = \int_{t_s}^{t_f} \left( \mathbf{B}_{n-k}(t) \hat{\mathbf{D}}_k \right)^T \mathbf{B}_{n-k}(t) \hat{\mathbf{D}}_k dt \quad (4.288)$$

$$= \int_{t_s}^{t_f} \begin{pmatrix} \left( \mathbf{D}^k \mathbf{b}_{n-k}(t) \right) \left( \mathbf{D}^k \mathbf{b}_{n-k}(t) \right)^T & \mathbf{O} \\ \vdots & \left( \mathbf{D}^k \mathbf{b}_{n-k}(t) \right) \left( \mathbf{D}^k \mathbf{b}_{n-k}(t) \right)^T \end{pmatrix} dt \quad (4.289)$$

return  $k_{sqr} \mathbf{W}_{sqr,k} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{p}) \times dim(\mathbf{p})}$

```
:dump-config-data &key (start-time _start-time) (finish-time _finish-time) (delta-time (/ (- finish-time start-time) 100.0))
(data-filename (format nil /tmp/ a.dat (send self :name))) (diff-order 0) [method]
```

## bspline-dynamic-configuration-task

[class]

:super	<b>propertied-object</b>
:slots	(-_robot-env robot-environment instance) (-theta-bst bspline trajectory instance for $\theta$ ) (-cog-bst bspline trajectory instance for $c$ ) (-ang-moment-bst bspline trajectory instance for $L$ ) (-wrench-bst bspline trajectory instance for $\hat{w}$ ) (-torque-bst bspline trajectory instance for $\tau$ ) (-phi-vector $\phi$ ) (-num-kin $N_{kin} :=  \mathcal{T}^{kin-trg}  =  \mathcal{T}^{kin-att} $ ) (-num-contact $N_{cnt} :=  \mathcal{T}^{cnt-trg}  =  \mathcal{T}^{cnt-att} $ ) (-num-variant-joint $N_{var-joint} :=  \mathcal{J}_{var} $ ) (-num-invariant-joint $N_{invar-joint} :=  \mathcal{J}_{invar} $ ) (-num-drive-joint $N_{drive-joint} :=  \mathcal{J}_{drive} $ ) (-num-posture-joint $N_{posture-joint} :=  \mathcal{J}_{posture} $ ) (-num-collision $N_{col} :=$ number of collision check pairs) (-dim-theta-control-vector $dim(\mathbf{p}_\theta) := N_{var-joint} N_{\theta-ctrl}$ ) (-dim-cog-control-vector $dim(\mathbf{p}_c) := 3N_{c-ctrl}$ ) (-dim-ang-moment-control-vector $dim(\mathbf{p}_L) := 3N_{L-ctrl}$ ) (-dim-wrench-control-vector $dim(\mathbf{p}_{\hat{w}}) := 6N_{cnt} N_{\hat{w}-ctrl}$ ) (-dim-torque-control-vector $dim(\mathbf{p}_\tau) := N_{drive-joint} N_{\tau-ctrl}$ ) (-dim-phi $dim(\phi) := N_{invar-joint}$ ) (-dim-config $dim(\mathbf{q}) := dim(\mathbf{p}_\theta) + dim(\mathbf{p}_c) + dim(\mathbf{p}_L) + dim(\mathbf{p}_{\hat{w}}) + dim(\mathbf{p}_\tau) + dim(\phi)$ ) (-dim-kin-task $dim(\mathbf{e}^{kin})$ ) (-dim-eom-trans-task $dim(\mathbf{e}^{eom-trans})$ )

```

(_dim-eom-rot-task  $\dim(\mathbf{e}^{eom\text{-}rot})$ )
(_dim-cog-task  $\dim(\mathbf{e}^{cog})$ )
(_dim-ang-moment-task  $\dim(\mathbf{e}^{ang\text{-}moment})$ )
(_dim-torque-task  $\dim(\mathbf{e}^{trq})$ )
(_dim-posture-task  $\dim(\mathbf{e}^{posture})$ )
(_dim-task  $\dim(\mathbf{e})$ )
(_kin-task-scale  $k_{kin}$ )
(_kin-task-scale-mat-list-func function returning list of  $K_{kin}$ )
(_eom-trans-task-scale  $k_{eom\text{-}trans}$ )
(_eom-rot-task-scale  $k_{eom\text{-}rot}$ )
(_cog-task-scale  $k_{cog}$ )
(_ang-moment-task-scale  $k_{ang\text{-}moment}$ )
(_torque-task-scale  $k_{trq}$ )
(_posture-task-scale  $k_{posture}$ )
(_torque-regular-scale  $k_{trq}$ )
(_stationery-start-finish-regular-scale  $k_{stat}$ )
(_first-diff-square-integration-regular-scale  $k_{sqr,1}$ )
(_second-diff-square-integration-regular-scale  $k_{sqr,2}$ )
(_third-diff-square-integration-regular-scale  $k_{sqr,3}$ )
(_norm-regular-scale-max  $k_{max}$ )
(_norm-regular-scale-offset  $k_{off}$ )
(_variant-joint-list  $\mathcal{J}_{var}$ )
(_invariant-joint-list  $\mathcal{J}_{invar}$ )
(_drive-joint-list  $\mathcal{J}_{drive}$ )
(_posture-joint-list  $\mathcal{J}_{posture}$ )
(_kin-task-time-list time list for kinematics task)
(_eom-task-time-list time list for eom task)
(_centroid-task-time-list time list for centroid task)
(_posture-task-time-list time list for posture task)
(_kin-target-coords-list-func function returning  $\mathcal{T}^{kin\text{-}trg}$ )
(_kin-attention-coords-list-func function returning  $\mathcal{T}^{kin\text{-}att}$ )
(_contact-target-coords-list-func function returning  $\mathcal{T}^{cnt\text{-}trg}$ )
(_contact-attention-coords-list-func function returning  $\mathcal{T}^{cnt\text{-}att}$ )
(_contact-constraint-list-func function returning list of contact-constraint)
(_posture-joint-angle-list  $\bar{\boldsymbol{\theta}}^{trg}$ )
(_variant-joint-angle-margin margin of  $\boldsymbol{\theta}$  [deg] [mm])
(_invariant-joint-angle-margin margin of  $\phi$  [deg] [mm])
(_collision-pair-list list of bodyset-link or body pair)
(_collision-distance-margin-list list of collision distance margin)
(_task-jacobi buffer for  $\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}}$ )
(_collision-theta-inequality-constraint-matrix buffer for  $\mathbf{C}_{col,\theta}$ )
(_collision-phi-inequality-constraint-matrix buffer for  $\mathbf{C}_{col,\phi}$ )
(_collision-inequality-constraint-vector buffer for  $\mathbf{C}_{col}$ )

```

コンフィギュレーション  $q$  の取得・更新，タスク関数  $e(q)$  の取得，タスク関数のヤコビ行列  $\frac{\partial e(q)}{\partial q}$  の取得，コンフィギュレーションの等式・不等式制約  $A, b, C, d$  の取得のためのメソッドが定義されている。

## 初期化

コンフィギュレーション・タスク関数を定めるために，初期化時に以下を与える

- ロボット・環境

`robot-environment` ロボット・環境を表す `robot-environment` クラスのインスタンス

`variant-joint-list`  $\mathcal{J}_{var}$  時変関節

`invariant-joint-list`  $\mathcal{J}_{invar}$  時不变関節（与えなければ時不变関節は考慮されない）

`drive-joint-list`  $\mathcal{J}_{drive}$  駆動関節（与えなければ関節駆動トルクは考慮されない）

- B スプライン軌道

`theta-bst` 時変関節位置  $\theta$  の B スプライン軌道のインスタンス

`cog-bst` 重心位置  $c$  の B スプライン軌道のインスタンス

`ang-moment-bst` 角運動量  $L$  の B スプライン軌道のインスタンス

`wrench-bst` 接触レンチ  $\hat{w}$  の B スプライン軌道のインスタンス

`torque-bst` 関節トルク  $\tau$  の B スプライン軌道のインスタンス

- タスク関数のサンプリング時刻

`kin-task-time-list` 幾何到達拘束  $e^{kin}$  の時刻のリスト

`eom-task-time-list` 並進運動方程式  $e^{eom-trans}$ ，回転運動方程式  $e^{eom-rot}$  の時刻リスト

`centroid-task-time-list` 重心位置  $e^{cog}$ ，角運動量  $e^{ang-moment}$  の時刻リスト

`posture-task-time-list` 関節角目標  $e^{posture}$  の時刻リスト

- 幾何拘束

`kin-target-coords-list-func` 幾何到達目標位置姿勢リスト  $\mathcal{T}^{kin-trg}$  を返す関数

`kin-attention-coords-list-func` 幾何到達着目位置姿勢リスト  $\mathcal{T}^{kin-att}$  を返す関数

- 接触拘束

`contact-target-coords-list-func` 接触目標位置姿勢リスト  $\mathcal{T}^{cnt-trg}$  を返す関数

`contact-attention-coords-list-func` 接触着目位置姿勢リスト  $\mathcal{T}^{cnt-att}$  を返す関数

`contact-constraint-list-func` 接触レンチ制約リストを返す関数

- コンフィギュレーション拘束（必要な場合のみ）

`posture-joint-list`  $\mathcal{J}_{posture}$  着目関節リスト

`posture-joint-angle-list`  $\bar{\theta}^{trg}$  着目関節の目標関節角

- 干渉回避拘束（必要な場合のみ）

`collision-pair-list` 干渉回避する bodyset-link もしくは body のペアのリスト

`collision-distance-margin` 干渉回避の距離マージン（全てのペアで同じ値の場合）

`collision-distance-margin-list` 干渉回避の距離マージンのリスト（ペアごとに異なる値の場合）

- 目的関数の重み

`kin-task-scale`  $k_{kin}$  幾何到達拘束タスクの重み

`kin-task-scale-mat-list-func` 幾何到達拘束タスクの重み行列  $K_{kin}$  を返す関数

`eom-trans-task-scale`  $k_{eom-trans}$  並進運動方程式タスクの重み

eom-rot-task-scale	$k_{eom-rot}$	回転運動方程式タスクの重み
cog-task-scale	$k_{cog}$	重心位置タスクの重み
ang-moment-task-scale	$k_{ang-moment}$	角運動量タスクの重み
torque-task-scale	$k_{trq}$	関節トルクの釣り合いタスクの重み
posture-task-scale	$k_{posture}$	目標関節角タスクの重み
torque-regular-scale	$k_{trq}$	トルク正則化の重み
stationery-start-finish-regular-scale	$k_{stat}$	初期・終端静止正則化の重み
first-diff-square-integration-regular-scale	$k_{sqr,1}$	速度正則化の重み
second-diff-square-integration-regular-scale	$k_{sqr,2}$	加速度正則化の重み
third-diff-square-integration-regular-scale	$k_{sqr,3}$	躍度正則化の重み
norm-regular-scale-max	$k_{max}$	コンフィギュレーション更新量正則化の重み最大値
norm-regular-scale-offset	$k_{off}$	コンフィギュレーション更新量正則化の重みオフセット

### コンフィギュレーション

動的動作は各瞬間ににおいて以下の瞬時状態  $\bar{q}(t)$  を定めることで表現される .

$$\bar{q}(t) := \begin{pmatrix} \theta(t) \\ c(t) \\ L(t) \\ \hat{w}(t) \\ \tau(t) \\ \phi \end{pmatrix} \quad (4.290)$$

$\theta \in \mathbb{R}^{N_{var-joint}}$  時変関節位置 [rad] [m]

$c \in \mathbb{R}^3$  重心位置 [m]

$L \in \mathbb{R}^3$  角運動量 [kgm<sup>2</sup>/s]

$\hat{w} \in \mathbb{R}^{6N_{cnt}}$  接触レンチ [N] [Nm]

$\tau \in \mathbb{R}^{N_{drive-joint}}$  関節トルク [Nm] [N]

$\phi \in \mathbb{R}^{N_{invar-joint}}$  時不变関節位置 [rad] [m]

$\hat{w}$  は次式のように , 全接触部位でのワールド座標系での力・モーメントを並べたベクトルである .

$$\hat{w} = \begin{pmatrix} w_1^T & w_2^T & \cdots & w_{N_{cnt}}^T \end{pmatrix}^T \quad (4.291)$$

$$= \begin{pmatrix} f_1^T & n_1^T & f_2^T & n_2^T & \cdots & f_{N_{cnt}}^T & n_{N_{cnt}}^T \end{pmatrix}^T \quad (4.292)$$

本クラスでは , 瞬時状態  $\bar{q}(t)$  の軌道を B スプラインで表現する . 設計対称のコンフィギュレーション  $q$  は以下から構成される .

$$q := \begin{pmatrix} p_\theta \\ p_c \\ p_L \\ p_{\hat{w}} \\ p_\tau \\ \phi \end{pmatrix} \quad (4.293)$$

$\mathbf{p}_\theta \in \mathbb{R}^{N_{var-joint} N_{\theta-ctrl}}$  時変関節位置の制御点 [rad] [m]

$\mathbf{p}_c \in \mathbb{R}^{3N_{c-ctrl}}$  重心位置の制御点 [m]

$\mathbf{p}_L \in \mathbb{R}^{3N_{L-ctrl}}$  角運動量の制御点 [kgm<sup>2</sup>/s]

$\mathbf{p}_{\hat{w}} \in \mathbb{R}^{6N_{cnt} N_{\hat{w}-ctrl}}$  接触レンチの制御点 [N] [Nm]

$\mathbf{p}_\tau \in \mathbb{R}^{N_{drive-joint} N_{\tau-ctrl}}$  関節トルクの制御点 [Nm] [N]

$\phi \in \mathbb{R}^{N_{invar-joint}}$  時不变関節位置 [rad] [m]

制御点とは、B スプライン基底関数の重み係数を意味する。

## タスク関数

瞬時状態  $\bar{\mathbf{q}}(t)$  に関するタスク関数  $\bar{e}(\bar{\mathbf{q}}(t))$  は以下から構成される。

$$\bar{e}(\bar{\mathbf{q}}) = \begin{pmatrix} \bar{e}^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \phi) \\ \bar{e}^{eom-trans}(\mathbf{c}, \hat{\mathbf{w}}) \\ \bar{e}^{eom-rot}(\boldsymbol{\theta}, \mathbf{c}, \mathbf{L}, \hat{\mathbf{w}}, \phi) \\ \bar{e}^{cog}(\boldsymbol{\theta}, \mathbf{c}, \phi) \\ \bar{e}^{ang-moment}(\boldsymbol{\theta}, \mathbf{L}, \phi) \\ \bar{e}^{trq}(\boldsymbol{\theta}, \hat{\mathbf{w}}, \boldsymbol{\tau}, \phi) \\ \bar{e}^{posture}(\boldsymbol{\theta}) \end{pmatrix} \quad (4.294)$$

$\bar{e}^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \phi) \in \mathbb{R}^{6\bar{N}_{kin}(t)}$  幾何到達拘束 [rad] [m]

$$\bar{e}^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \phi) = \begin{pmatrix} \bar{e}_1^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \phi) \\ \bar{e}_2^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \phi) \\ \vdots \\ \bar{e}_{\bar{N}_{kin}(t)}^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \phi) \end{pmatrix} \quad (4.295)$$

$$\bar{e}_m^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \phi) = \left( \mathbf{p}_m^{kin-trg}(\boldsymbol{\theta}, \phi) - \mathbf{p}_m^{kin-att}(\boldsymbol{\theta}, \phi) \right) \in \mathbb{R}^6 \quad (m = 1, 2, \dots, \bar{N}_{kin}(t)) \quad (4.296)$$

$\mathbf{a}(\mathbf{R})$  は姿勢行列  $\mathbf{R}$  の等価角軸ベクトルを表す。

$\bar{e}^{eom-trans}(\mathbf{c}, \hat{\mathbf{w}}) \in \mathbb{R}^3$  並進運動方程式 [kg m/s<sup>2</sup>]

$$\bar{e}^{eom-trans}(\mathbf{c}, \hat{\mathbf{w}}) = m\ddot{\mathbf{c}} - \left\{ \sum_{m=1}^{N_{cnt}} \mathbf{f}_m - m\mathbf{g} + \sum_{m=1}^{N_{ex}} \mathbf{f}_m^{ex} \right\} \quad (4.297)$$

$\bar{e}^{eom-rot}(\boldsymbol{\theta}, \mathbf{c}, \mathbf{L}, \hat{\mathbf{w}}, \phi) \in \mathbb{R}^3$  回転運動方程式 [kg m<sup>2</sup>/s<sup>2</sup>]

$$\begin{aligned} \bar{e}^{eom-rot}(\boldsymbol{\theta}, \mathbf{c}, \mathbf{L}, \hat{\mathbf{w}}, \phi) &= \dot{\mathbf{L}} - \left( \sum_{m=1}^{N_{cnt}} \{ (\mathbf{p}_m^{cnt-trg}(\boldsymbol{\theta}, \phi) - \mathbf{c}) \times \mathbf{f}_m + \mathbf{n}_m \} \right. \\ &\quad \left. + \sum_{m=1}^{N_{ex}} \{ (\mathbf{p}_m^{ex}(\boldsymbol{\theta}, \phi) - \mathbf{c}) \times \mathbf{f}_m^{ex} + \mathbf{n}_m^{ex} \} \right) \end{aligned} \quad (4.298)$$

$\bar{e}^{cog}(\boldsymbol{\theta}, \mathbf{c}, \phi) \in \mathbb{R}^3$  重心位置 [m]

$$\bar{e}^{cog}(\boldsymbol{\theta}, \mathbf{c}, \phi) = \mathbf{p}_G(\boldsymbol{\theta}, \phi) - \mathbf{c} \quad (4.299)$$

$\bar{e}^{ang-moment}(\theta, L, \phi) \in \mathbb{R}^3$  角運動量 [kg m<sup>2</sup>/s]

$$\bar{e}^{ang-moment}(\theta, L, \phi) = L - \left\{ A_\theta(\theta, \phi) \dot{\theta} + A_\phi(\theta, \phi) \dot{\phi} \right\} \quad (4.300)$$

$\bar{e}^{trq}(\theta, \hat{w}, \tau, \phi) \in \mathbb{R}^{N_{drive-joint}}$  関節トルクの釣り合い [rad] [m]

$$\begin{aligned} \bar{e}^{trq}(\theta, \hat{w}, \tau, \phi) &= \sum_{m=1}^{N_{cnt}} \{ (\mathbf{p}_m^{cnt-trq}(\theta, \phi) - \mathbf{c}) \times \mathbf{f}_m + \mathbf{n}_m \} \\ &\quad + \sum_{m=1}^{N_{ex}} \{ (\mathbf{p}_m^{ex}(\theta, \phi) - \mathbf{c}) \times \mathbf{f}_m^{ex} + \mathbf{n}_m^{ex} \} \end{aligned} \quad (4.301)$$

$\bar{e}^{posture}(\theta) \in \mathbb{R}^{N_{posture-joint}}$  関節角目標 [rad] [m]

$$\bar{e}^{posture}(\theta) = (\bar{\theta}^{try} - \bar{\theta}) \quad (4.302)$$

瞬時状態  $\bar{q}(t)$  の軌道を B スプラインで表現することで、設計対称のコンフィギュレーション  $q$  に関するタスク関数  $e(q)$  は以下から構成される。

$$e(q) = \begin{pmatrix} e^{kin}(\mathbf{p}_\theta, \phi) \\ e^{eom-trans}(\mathbf{p}_c, \mathbf{p}_{\hat{w}}) \\ e^{eom-rot}(\mathbf{p}_\theta, \mathbf{p}_c, \mathbf{p}_L, \mathbf{p}_{\hat{w}}, \phi) \\ e^{cog}(\mathbf{p}_\theta, \mathbf{p}_c, \phi) \\ e^{ang-moment}(\mathbf{p}_\theta, \mathbf{p}_L, \phi) \\ e^{trq}(\mathbf{p}_\theta, \mathbf{p}_{\hat{w}}, \mathbf{p}_\tau, \phi) \\ e^{posture}(\mathbf{p}_\theta) \end{pmatrix} \quad (4.303)$$

ただし、

$$e^*(q) = \begin{pmatrix} \bar{e}^*(\bar{q}(t_1)) \\ \vdots \\ \bar{e}^*(\bar{q}(t_{N_{tm}})) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{tm} dim(\bar{e}^*(\bar{q}(t)))} \quad (4.304)$$

```
:init &key (name)
  (robot-env)
  (variant-joint-list (send robot-env :variant-joint-list))
  (invariant-joint-list (send robot-env :invariant-joint-list))
  (drive-joint-list (send robot-env :drive-joint-list))
  (posture-joint-list)
  (kin-task-time-list)
  (eom-task-time-list)
  (centroid-task-time-list)
  (posture-task-time-list)
  (theta-bst)
  (cog-bst)
  (ang-moment-bst)
  (wrench-bst)
  (torque-bst)
  (kin-target-coords-list-func)
  (kin-attention-coords-list-func)
```

[method]

```

(contact-target-coords-list-func)
(contact-attention-coords-list-func)
(contact-constraint-list-func)
(posture-joint-angle-list)
(variant-joint-angle-margin 3.0)
(invariant-joint-angle-margin 3.0)
(collision-pair-list)
(collision-distance-margin 0.01)
(collision-distance-margin-list)
(kin-task-scale 1.0)
(kin-task-scale-mat-list-func)
(eom-trans-task-scale 1.0)
(eom-rot-task-scale 1.0)
(cog-task-scale 1.0)
(ang-moment-task-scale 1.0)
(torque-task-scale 1.0)
(posture-task-scale 0.001)
(torque-regular-scale 1.000000e-04)
(stationery-start-finish-regular-scale 1.000000e-04)
(first-diff-square-integration-regular-scale 1.000000e-07)
(second-diff-square-integration-regular-scale 1.000000e-07)
(third-diff-square-integration-regular-scale 1.000000e-07)
(norm-regular-scale-max 1.000000e-05)
(norm-regular-scale-offset 1.000000e-07)

```

Initialize instance

<b>:robot-env</b>	[method]
return robot-environment instance	
<b>:variant-joint-list</b>	[method]
return $\mathcal{J}_{var}$	
<b>:invariant-joint-list</b>	[method]
return $\mathcal{J}_{invar}$	
<b>:drive-joint-list</b>	[method]
return $\mathcal{J}_{drive}$	
<b>:num-kin</b>	[method]
return $N_{kin} :=  \mathcal{T}^{kin-trg}  =  \mathcal{T}^{kin-att} $	
<b>:num-contact</b>	[method]
return $N_{cnt} :=  \mathcal{T}^{cnt-trg}  =  \mathcal{T}^{cnt-att} $	
<b>:num-variant-joint</b>	[method]
return $N_{var-joint} :=  \mathcal{J}_{var} $	
<b>:num-invariant-joint</b>	[method]
return $N_{invar-joint} :=  \mathcal{J}_{invar} $	

<b>:num-drive-joint</b>	[method]
return $N_{drive\text{-}joint} :=  \mathcal{J}_{drive} $	
<b>:num-posture-joint</b>	[method]
return $N_{target\text{-}joint} :=  \mathcal{J}_{target} $	
<b>:num-collision</b>	[method]
return $N_{col} :=$ number of collision check pairs	
<b>:dim-config</b>	[method]
return $dim(\mathbf{q})$	
<b>:dim-task</b>	[method]
return $dim(\mathbf{e})$	
<b>:theta-control-vector</b>	[method]
return $\mathbf{p}_\theta$	
<b>:cog-control-vector</b>	[method]
return $\mathbf{p}_c$	
<b>:ang-moment-control-vector</b>	[method]
return $\mathbf{p}_L$	
<b>:wrench-control-vector</b>	[method]
return $\mathbf{p}_{\hat{w}}$	
<b>:torque-control-vector</b>	[method]
return $\mathbf{p}_\tau$	
<b>:phi</b>	[method]
return $\phi$	
<b>:config-vector</b>	[method]
return $\mathbf{q}$	
<b>:set-theta-control-vector</b> <i>control-vector-new &amp;key (relative? nil)</i>	[method]
Set $\mathbf{p}_\theta.$	
<b>:set-cog-control-vector</b> <i>control-vector-new &amp;key (relative? nil)</i>	[method]
Set $\mathbf{p}_c.$	
<b>:set-ang-moment-control-vector</b> <i>control-vector-new &amp;key (relative? nil)</i>	[method]
Set $\mathbf{p}_L.$	
<b>:set-wrench-control-vector</b> <i>control-vector-new &amp;key (relative? nil)</i>	[method]
Set $\mathbf{p}_{\hat{w}}.$	
<b>:set-torque-control-vector</b> <i>control-vector-new &amp;key (relative? nil)</i>	[method]
Set $\mathbf{p}_\tau.$	
<b>:set-phi</b> <i>phi-new &amp;key (relative? nil)</i>	[method]
Set $\phi.$	

<b>:set-config</b> <i>config-new</i> & <i>key</i> ( <i>relative?</i> <i>nil</i> )	[method]
Set <i>q</i> .	
<b>:theta</b> <i>tm</i> & <i>key</i> ( <i>diff-order</i> 0)	[method]
return $\theta(t)$ [rad] [m]	
<b>:cog</b> <i>tm</i> & <i>key</i> ( <i>diff-order</i> 0)	[method]
return $c(t)$ [m]	
<b>:ang-moment</b> <i>tm</i> & <i>key</i> ( <i>diff-order</i> 0)	[method]
return $L(t)$ [kgm <sup>2</sup> /s]	
<b>:wrench</b> <i>tm</i> & <i>key</i> ( <i>diff-order</i> 0)	[method]
return $w(t)$ [N] [Nm]	
<b>:torque</b> <i>tm</i> & <i>key</i> ( <i>diff-order</i> 0)	[method]
return $\tau(t)$ [Nm] [N]	
<b>:apply-config-to-robot</b> <i>tm</i>	[method]
apply <i>q</i> (t) to robot.	
<b>:kin-target-coords-list</b> <i>tm</i>	[method]

$$T_m^{kin-trg} = \{\mathbf{p}_m^{kin-trg}, \mathbf{R}_m^{kin-trg}\} \quad (m = 1, 2, \dots, N_{kin}) \quad (4.305)$$

return  $\mathcal{T}^{kin-trg} := \{T_1^{kin-trg}, T_2^{kin-trg}, \dots, T_{N_{kin}}^{kin-trg}\}$

<b>:kin-attention-coords-list</b> <i>tm</i>	[method]
---	----------

$$T_m^{kin-att} = \{\mathbf{p}_m^{kin-att}, \mathbf{R}_m^{kin-att}\} \quad (m = 1, 2, \dots, N_{kin}) \quad (4.306)$$

return  $\mathcal{T}^{kin-att} := \{T_1^{kin-att}, T_2^{kin-att}, \dots, T_{N_{kin}}^{kin-att}\}$

<b>:kin-scale-mat-list</b> <i>tm</i>	[method]
return list of $K_{kin}$	

<b>:contact-target-coords-list</b> <i>tm</i>	[method]
--	----------

$$T_m^{cnt-trg} = \{\mathbf{p}_m^{cnt-trg}, \mathbf{R}_m^{cnt-trg}\} \quad (m = 1, 2, \dots, N_{cnt}) \quad (4.307)$$

return  $\mathcal{T}^{cnt-trg} := \{T_1^{cnt-trg}, T_2^{cnt-trg}, \dots, T_{N_{cnt}}^{cnt-trg}\}$

<b>:contact-attention-coords-list</b> <i>tm</i>	[method]
---	----------

$$T_m^{cnt-att} = \{\mathbf{p}_m^{cnt-att}, \mathbf{R}_m^{cnt-att}\} \quad (m = 1, 2, \dots, N_{cnt}) \quad (4.308)$$

return  $\mathcal{T}^{cnt-att} := \{T_1^{cnt-att}, T_2^{cnt-att}, \dots, T_{N_{cnt}}^{cnt-att}\}$

<b>:contact-constraint-list</b> <i>tm</i>	[method]
return list of contact-constraint	

**:wrench-list** *tm* [method]  
 return  $\{\mathbf{w}_1, \mathbf{w}_2, \dots, \mathbf{w}_{N_{cnt}}\}$

**:force-list** *tm* [method]  
 return  $\{\mathbf{f}_1, \mathbf{f}_2, \dots, \mathbf{f}_{N_{cnt}}\}$

**:moment-list** *tm* [method]  
 return  $\{\mathbf{n}_1, \mathbf{n}_2, \dots, \mathbf{n}_{N_{cnt}}\}$

**:mass** [method]  
 return  $m$  [kg]

**:mg-vec** [method]  
 return  $m\mathbf{g}$  [kg m/s<sup>2</sup>]

**:cog-from-model** *&key (update? t)* [method]  
 return  $\mathbf{p}_G(\mathbf{q})$  [m]

**:kinematics-instant-task-value** *tm* [method]

$$\bar{\mathbf{e}}^{kin}(\boldsymbol{\theta}(t), \phi) = \begin{pmatrix} \bar{e}_1^{kin}(\boldsymbol{\theta}(t), \phi) \\ \bar{e}_2^{kin}(\boldsymbol{\theta}(t), \phi) \\ \vdots \\ \bar{e}_{\bar{N}_{kin}(t)}^{kin}(\boldsymbol{\theta}(t), \phi) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{6\bar{N}_{kin}(t)} \quad (4.309)$$

$$\bar{\mathbf{e}}_m^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \phi) = \begin{pmatrix} \mathbf{p}_m^{kin-trg}(\boldsymbol{\theta}, \phi) - \mathbf{p}_m^{kin-att}(\boldsymbol{\theta}, \phi) \\ \mathbf{a}(\mathbf{R}_m^{kin-trg}(\boldsymbol{\theta}, \phi)\mathbf{R}_m^{kin-att}(\boldsymbol{\theta}, \phi)^T) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^6 \quad (m = 1, 2, \dots, \bar{N}_{kin}(t)) \quad (4.310)$$

$\mathbf{a}(\mathbf{R})$  は姿勢行列  $\mathbf{R}$  の等価角軸ベクトルを表す .

return  $\bar{\mathbf{e}}^{kin}(\boldsymbol{\theta}(t), \phi) \in \mathbb{R}^{6\bar{N}_{kin}(t)}$

**:kinematics-task-value** *&key (update? t)* [method]

$$\mathbf{e}^{kin}(\mathbf{p}_\theta, \phi) = \begin{pmatrix} \bar{e}^{kin}(\boldsymbol{\theta}(t_1), \phi) \\ \vdots \\ \bar{e}^{kin}(\boldsymbol{\theta}(t_{N_{tm-kin}}), \phi) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{6N_{kin}} \quad \left( N_{kin} := \sum_{t=1}^{t_{N_{tm-kin}}} \bar{N}_{kin}(t) \right) \quad (4.311)$$

return  $\mathbf{e}^{kin}(\mathbf{p}_\theta, \phi)$

**:eom-trans-instant-task-value** *tm* [method]

$$\bar{\mathbf{e}}^{eom-trans}(\mathbf{c}(t), \hat{\mathbf{w}}(t)) = m\ddot{\mathbf{c}} - \left\{ \sum_{\substack{m=1 \\ m \in contact}}^{N_{cnt}} \mathbf{f}_m - m\mathbf{g} \right\} \quad (4.312)$$

$$= m\ddot{\mathbf{c}} - \sum_{\substack{m=1 \\ m \in contact}}^{N_{cnt}} \mathbf{f}_m + m\mathbf{g} \in \mathbb{R}^3 \quad (4.313)$$

return  $\bar{\mathbf{e}}^{eom-trans}(\mathbf{c}(t), \hat{\mathbf{w}}(t))$

**:eom-trans-task-value** *&key (update? t)* [method]

$$\mathbf{e}^{eom-trans}(\mathbf{p}_c, \mathbf{p}_{\hat{w}}) = \begin{pmatrix} \bar{\mathbf{e}}^{eom-trans}(\mathbf{c}(t_1), \hat{\mathbf{w}}(t_1)) \\ \vdots \\ \bar{\mathbf{e}}^{eom-trans}(\mathbf{c}(t_{N_{tm-eom}}), \hat{\mathbf{w}}(t_{N_{tm-eom}})) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{3N_{tm-eom}} \quad (4.314)$$

return  $\mathbf{e}^{eom-trans}(\mathbf{p}_c, \mathbf{p}_{\hat{w}})$

:eom-rot-instant-task-value  $tm$

[method]

$$\bar{\mathbf{e}}^{eom-rot}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \mathbf{L}(t), \hat{\mathbf{w}}(t), \boldsymbol{\phi}) = \dot{\mathbf{L}} - \sum_{\substack{m=1 \\ m \in contact}}^{N_{cnt}} \{(\mathbf{p}_m^{cnt-trg}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) - \mathbf{c}) \times \mathbf{f}_m + \mathbf{n}_m\} \in \mathbb{R}^3 \quad (4.315)$$

return  $\bar{\mathbf{e}}^{eom-rot}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \mathbf{L}(t), \hat{\mathbf{w}}(t), \boldsymbol{\phi})$

:eom-rot-task-value  $\&key (update? t)$

[method]

$$\mathbf{e}^{eom-rot}(\mathbf{p}_\theta, \mathbf{p}_c, \mathbf{p}_L, \mathbf{p}_{\hat{w}}, \boldsymbol{\phi}) = \begin{pmatrix} \bar{\mathbf{e}}^{eom-rot}(\boldsymbol{\theta}(t_1), \mathbf{c}(t_1), \mathbf{L}(t_1), \hat{\mathbf{w}}(t_1), \boldsymbol{\phi}) \\ \vdots \\ \bar{\mathbf{e}}^{eom-rot}(\boldsymbol{\theta}(t_{N_{tm-eom}}), \mathbf{c}(t_{N_{tm-eom}}), \mathbf{L}(t_{N_{tm-eom}}), \hat{\mathbf{w}}(t_{N_{tm-eom}}), \boldsymbol{\phi}) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{3N_{tm-eom}} \quad (4.316)$$

return  $\mathbf{e}^{eom-rot}(\mathbf{p}_\theta, \mathbf{p}_c, \mathbf{p}_L, \mathbf{p}_{\hat{w}}, \boldsymbol{\phi})$

:cog-instant-task-value  $tm$

[method]

$$\bar{\mathbf{e}}^{cog}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \boldsymbol{\phi}) = \mathbf{p}_G(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) - \mathbf{c} \in \mathbb{R}^3 \quad (4.317)$$

return  $\bar{\mathbf{e}}^{cog}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \boldsymbol{\phi})$

:cog-task-value  $\&key (update? t)$

[method]

$$\mathbf{e}^{cog}(\mathbf{p}_\theta, \mathbf{p}_c, \boldsymbol{\phi}) = \begin{pmatrix} \bar{\mathbf{e}}^{cog}(\boldsymbol{\theta}(t_1), \mathbf{c}(t_1), \boldsymbol{\phi}) \\ \vdots \\ \bar{\mathbf{e}}^{cog}(\boldsymbol{\theta}(t_{N_{tm-eom}}), \mathbf{c}(t_{N_{tm-eom}}), \boldsymbol{\phi}) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{3N_{tm-eom}} \quad (4.318)$$

return  $\mathbf{e}^{cog}(\mathbf{p}_\theta, \mathbf{p}_c, \boldsymbol{\phi})$

:ang-moment-instant-task-value  $tm$

[method]

$$\bar{\mathbf{e}}^{ang-moment}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{L}(t), \boldsymbol{\phi}) = \mathbf{L}(t) - \{A_\theta(\boldsymbol{\theta}(t), \boldsymbol{\phi}(t))\dot{\boldsymbol{\theta}}(t) + A_\phi(\boldsymbol{\theta}(t), \boldsymbol{\phi}(t))\dot{\boldsymbol{\phi}}(t)\} \in \mathbb{R}^3 \quad (4.319)$$

本実装では， $A_\theta = A_\phi = \mathbf{O}$  という仮定を置く。このとき，タスク関数は次式となる。

$$\bar{\mathbf{e}}^{ang-moment}(\mathbf{L}(t)) = \mathbf{L}(t) \in \mathbb{R}^3 \quad (4.320)$$

return  $\bar{\mathbf{e}}^{ang-moment}(\mathbf{L}(t))$

:ang-moment-task-value  $\&key (update? t)$

[method]

$$\mathbf{e}^{ang-moment}(\mathbf{p}_L) = \begin{pmatrix} \bar{\mathbf{e}}^{ang-moment}(\mathbf{L}(t_1)) \\ \vdots \\ \bar{\mathbf{e}}^{ang-moment}(\mathbf{L}(t_{N_{tm-eom}})) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{3N_{tm-eom}} \quad (4.321)$$

return  $\mathbf{e}^{ang-moment}(\mathbf{p}_L)$

:posture-instant-task-value  $tm$

[method]

$$\bar{\mathbf{e}}^{posture}(\boldsymbol{\theta}(t)) = k_{posture} (\boldsymbol{\theta}_{posture}^{trg} - \boldsymbol{\theta}_{posture}) \in \mathbb{R}^{N_{posture-joint}} \quad (4.322)$$

$\boldsymbol{\theta}_{posture}^{trg}, \boldsymbol{\theta}_{posture}$  は着目関節リスト  $\mathcal{J}_{posture}$  の目標関節角と現在の関節角 .

return  $\bar{\mathbf{e}}^{posture}(\boldsymbol{\theta}(t))$

:posture-task-value  $\&key (update? t)$

[method]

$$\mathbf{e}^{posture}(\mathbf{p}_\theta) = \begin{pmatrix} \bar{\mathbf{e}}^{posture}(\boldsymbol{\theta}(t_1)) \\ \vdots \\ \bar{\mathbf{e}}^{posture}(\boldsymbol{\theta}(t_{N_{tm-kin}})) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{posture-joint} N_{tm-kin}} \quad (4.323)$$

return  $\mathbf{e}^{posture}(\mathbf{p}_\theta)$

:task-value  $\&key (update? t)$

[method]

$$\mathbf{e}(\mathbf{q}) = \begin{pmatrix} \mathbf{e}^{kin}(\mathbf{p}_\theta, \phi) \\ \mathbf{e}^{eom-trans}(\mathbf{p}_c, \mathbf{p}_{\hat{w}}) \\ \mathbf{e}^{eom-rot}(\mathbf{p}_\theta, \mathbf{p}_c, \mathbf{p}_L, \mathbf{p}_{\hat{w}}, \phi) \\ \mathbf{e}^{cog}(\mathbf{p}_\theta, \mathbf{p}_c, \phi) \\ \mathbf{e}^{ang-moment}(\mathbf{p}_\theta, \mathbf{p}_L, \phi) \\ \mathbf{e}^{trq}(\mathbf{p}_\theta, \mathbf{p}_{\hat{w}}, \mathbf{p}_\tau, \phi) \\ \mathbf{e}^{posture}(\mathbf{p}_\theta) \end{pmatrix} \quad (4.324)$$

return  $\mathbf{e}(\mathbf{q}) \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{e})}$

:kinematics-instant-task-jacobian-with-theta-control-vector  $tm$

[method]

$$\frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{kin}(\boldsymbol{\theta}(t), \phi)}{\partial \mathbf{p}_\theta} = \frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{kin}(\boldsymbol{\theta}(t), \phi)}{\partial \boldsymbol{\theta}} \frac{\partial \boldsymbol{\theta}(t)}{\partial \mathbf{p}_\theta} \quad (4.325)$$

$$\frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{kin}(\boldsymbol{\theta}(t), \phi)}{\partial \boldsymbol{\theta}} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \bar{\mathbf{e}}_1^{kin}(\boldsymbol{\theta}(t), \phi)}{\partial \boldsymbol{\theta}} \\ \vdots \\ \frac{\partial \bar{\mathbf{e}}_{N_{kin}(t)}^{kin}(\boldsymbol{\theta}(t), \phi)}{\partial \boldsymbol{\theta}} \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \mathbf{J}_{1,\theta}(t) \\ \vdots \\ \mathbf{J}_{N_{kin}(t),\theta}(t) \end{pmatrix} \quad (4.326)$$

$$\frac{\partial \boldsymbol{\theta}(t)}{\partial \mathbf{p}_\theta} = \frac{\partial}{\partial \mathbf{p}_\theta} \mathbf{B}_{\theta,n}(t) \mathbf{p}_\theta = \mathbf{B}_{\theta,n}(t) \quad (4.327)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \mathbf{p}_\theta} \in \mathbb{R}^{6N_{kin} \times dim(\mathbf{p}_\theta)}$

:kinematics-task-jacobian-with-theta-control-vector

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \mathbf{p}_\theta} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{kin}(\boldsymbol{\theta}(t_1), \boldsymbol{\phi}(t_1))}{\partial \mathbf{p}_\theta} \\ \vdots \\ \frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{kin}(\boldsymbol{\theta}(t_{N_{tm-kin}}), \boldsymbol{\phi}(t_{N_{tm-kin}}))}{\partial \mathbf{p}_\theta} \end{pmatrix} \quad (4.328)$$

$$\text{return } \frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \mathbf{p}_\theta} \in \mathbb{R}^{6N_{kin} \times \text{dim}(\mathbf{p}_\theta)}$$

:kinematics-instant-task-jacobian-with-phi tm

[method]

$$\frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{kin}(\boldsymbol{\theta}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \boldsymbol{\phi}} = \frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{kin}(\boldsymbol{\theta}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \boldsymbol{\phi}} \quad (4.329)$$

$$\frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{kin}(\boldsymbol{\theta}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \boldsymbol{\phi}} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \bar{\mathbf{e}}_1^{kin}(\boldsymbol{\theta}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \boldsymbol{\phi}} \\ \vdots \\ \frac{\partial \bar{\mathbf{e}}_{N_{kin}(t)}^{kin}(\boldsymbol{\theta}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \boldsymbol{\phi}} \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \mathbf{J}_{1,\phi}(t) \\ \vdots \\ \mathbf{J}_{N_{kin}(t),\phi}(t) \end{pmatrix} \quad (4.330)$$

$$\text{return } \frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \boldsymbol{\phi}} \in \mathbb{R}^{6N_{kin} \times \text{dim}(\boldsymbol{\phi})}$$

:kinematics-task-jacobian-with-phi

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \boldsymbol{\phi}} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{kin}(\boldsymbol{\theta}(t_1), \boldsymbol{\phi}(t_1))}{\partial \boldsymbol{\phi}} \\ \vdots \\ \frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{kin}(\boldsymbol{\theta}(t_{N_{tm-kin}}), \boldsymbol{\phi}(t_{N_{tm-kin}}))}{\partial \boldsymbol{\phi}} \end{pmatrix} \quad (4.331)$$

$$\text{return } \frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \boldsymbol{\phi}} \in \mathbb{R}^{6N_{kin} \times \text{dim}(\boldsymbol{\phi})}$$

:eom-trans-instant-task-jacobian-with-cog-control-vector tm

[method]

$$\frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{eom-trans}(\mathbf{c}(t), \hat{\mathbf{w}}(t))}{\partial \mathbf{p}_c} = m \frac{\partial \ddot{\mathbf{c}}(t)}{\partial \mathbf{p}_c} \quad (4.332)$$

$$= m \frac{\partial}{\partial \mathbf{p}_c} \mathbf{B}_{c,n-2}(t) \hat{\mathbf{D}}_2 \mathbf{p}_c \quad (4.333)$$

$$= m \mathbf{B}_{c,n-2}(t) \hat{\mathbf{D}}_2 \quad (4.334)$$

$$\text{return } \frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{eom-trans}(\mathbf{c}(t), \hat{\mathbf{w}}(t))}{\partial \mathbf{p}_c} \in \mathbb{R}^{3 \times \text{dim}(\mathbf{p}_c)}$$

:eom-trans-task-jacobian-with-cog-control-vector

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{eom-trans}}{\partial \mathbf{p}_c} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{eom-trans}(\mathbf{c}(t_1), \hat{\mathbf{w}}(t_1))}{\partial \mathbf{p}_c} \\ \vdots \\ \frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{eom-trans}(\mathbf{c}(t_{N_{tm-eom}}), \hat{\mathbf{w}}(t_{N_{tm-eom}}))}{\partial \mathbf{p}_c} \end{pmatrix} \quad (4.335)$$

$$\text{return } \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-trans}}{\partial \mathbf{p}_c} \in \mathbb{R}^{3N_{tm-eom} \times \text{dim}(\mathbf{p}_c)}$$

:eom-trans-instant-task-jacobian-with-wrench-control-vector  $tm$

[method]

$$\frac{\partial \bar{e}^{eom-trans}(\mathbf{c}(t), \hat{\mathbf{w}}(t))}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} = \frac{\partial \bar{e}^{eom-trans}(\mathbf{c}(t), \hat{\mathbf{w}}(t))}{\partial \hat{\mathbf{w}}} \frac{\partial \hat{\mathbf{w}}(t)}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} \quad (4.336)$$

$$\frac{\partial \bar{e}^{eom-trans}(\mathbf{c}(t), \hat{\mathbf{w}}(t))}{\partial \hat{\mathbf{w}}} = \begin{pmatrix} -I_3 & O_3 & \cdots & -I_3 & O_3 \end{pmatrix} \quad (4.337)$$

(ただし,  $\mathbf{p}_m^{cnt-trg}$  が nil の接触については,  $O_3$  とする)

$$\frac{\partial \hat{\mathbf{w}}(t)}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} = \frac{\partial}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} \mathbf{B}_{\hat{w},n}(t) \mathbf{p}_{\hat{w}} = \mathbf{B}_{\hat{w},n}(t) \quad (4.338)$$

return  $\frac{\partial \bar{e}^{eom-trans}(\mathbf{c}(t), \hat{\mathbf{w}}(t))}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} \in \mathbb{R}^{3 \times \text{dim}(\mathbf{p}_{\hat{w}})}$

:eom-trans-task-jacobian-with-wrench-control-vector

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{eom-trans}}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \bar{e}^{eom-trans}(\mathbf{c}(t_1), \hat{\mathbf{w}}(t_1))}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} \\ \vdots \\ \frac{\partial \bar{e}^{eom-trans}(\mathbf{c}(t_{N_{tm-eom}}), \hat{\mathbf{w}}(t_{N_{tm-eom}}))}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} \end{pmatrix} \quad (4.339)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{eom-trans}}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} \in \mathbb{R}^{3N_{tm-eom} \times \text{dim}(\mathbf{p}_{\hat{w}})}$

:eom-rot-instant-task-jacobian-with-theta-control-vector  $tm$

[method]

$$\frac{\partial \bar{e}^{eom-rot}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \mathbf{L}(t), \hat{\mathbf{w}}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_{\theta}} = \frac{\partial \bar{e}^{eom-rot}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \mathbf{L}(t), \hat{\mathbf{w}}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \boldsymbol{\theta}} \frac{\partial \boldsymbol{\theta}(t)}{\partial \mathbf{p}_{\theta}} \quad (4.340)$$

$$\frac{\partial \bar{e}^{eom-rot}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \mathbf{L}(t), \hat{\mathbf{w}}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \boldsymbol{\theta}} = \sum_{\substack{m=1 \\ m \in contact}}^{N_{cnt}} \left\{ [\mathbf{f}_m(t) \times] \mathbf{J}_{m,\theta}^{cnt-trg}(t) \right\} \quad (4.341)$$

$$\frac{\partial \boldsymbol{\theta}(t)}{\partial \mathbf{p}_{\theta}} = \frac{\partial}{\partial \mathbf{p}_{\theta}} \mathbf{B}_{\theta,n}(t) \mathbf{p}_{\theta} = \mathbf{B}_{\theta,n}(t) \quad (4.342)$$

return  $\frac{\partial \bar{e}^{eom-rot}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \mathbf{L}(t), \hat{\mathbf{w}}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_{\theta}} \in \mathbb{R}^{3 \times \text{dim}(\mathbf{p}_{\theta})}$

:eom-rot-task-jacobian-with-theta-control-vector

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot}}{\partial \mathbf{p}_{\theta}} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \bar{e}^{eom-rot}(\boldsymbol{\theta}(t_1), \mathbf{c}(t_1), \mathbf{L}(t_1), \hat{\mathbf{w}}(t_1), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_{\theta}} \\ \vdots \\ \frac{\partial \bar{e}^{eom-rot}(\boldsymbol{\theta}(t_{N_{tm-eom}}), \mathbf{c}(t_{N_{tm-eom}}), \mathbf{L}(t_{N_{tm-eom}}), \hat{\mathbf{w}}(t_{N_{tm-eom}}), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_{\theta}} \end{pmatrix} \quad (4.343)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot}}{\partial \mathbf{p}_{\theta}} \in \mathbb{R}^{3N_{tm-eom} \times \text{dim}(\mathbf{p}_{\theta})}$

:eom-rot-instant-task-jacobian-with-cog-control-vector  $tm$

[method]

$$\frac{\partial \bar{e}^{eom\text{-}rot}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \mathbf{L}(t), \hat{\mathbf{w}}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_c} = \frac{\partial \bar{e}^{eom\text{-}rot}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \mathbf{L}(t), \hat{\mathbf{w}}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{c}} \frac{\partial \mathbf{c}(t)}{\partial \mathbf{p}_c} \quad (4.344)$$

$$\frac{\partial \bar{e}^{eom\text{-}rot}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \mathbf{L}(t), \hat{\mathbf{w}}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{c}} = - \sum_{m=1}^{N_{cnt}}_{m \in contact} [\mathbf{f}_m \times] = \left[ \left( - \sum_{m=1}^{N_{cnt}} \mathbf{f}_m \right) \times \right] \quad (4.345)$$

$$\frac{\partial \mathbf{c}(t)}{\partial \mathbf{p}_c} = \frac{\partial}{\partial \mathbf{p}_c} \mathbf{B}_{c,n}(t) \mathbf{p}_c = \mathbf{B}_{c,n}(t) \quad (4.346)$$

return  $\frac{\partial \bar{e}^{eom\text{-}rot}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \mathbf{L}(t), \hat{\mathbf{w}}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_c} \in \mathbb{R}^{3 \times dim(\mathbf{p}_c)}$

:eom-rot-task-jacobian-with-cog-control-vector

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \mathbf{p}_c} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \bar{e}^{eom\text{-}rot}(\boldsymbol{\theta}(t_1), \mathbf{c}(t_1), \mathbf{L}(t_1), \hat{\mathbf{w}}(t_1), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_c} \\ \vdots \\ \frac{\partial \bar{e}^{eom\text{-}rot}(\boldsymbol{\theta}(t_{N_{tm-eom}}), \mathbf{c}(t_{N_{tm-eom}}), \mathbf{L}(t_{N_{tm-eom}}), \hat{\mathbf{w}}(t_{N_{tm-eom}}), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_c} \end{pmatrix} \quad (4.347)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \mathbf{p}_c} \in \mathbb{R}^{3N_{tm-eom} \times dim(\mathbf{p}_c)}$

:eom-rot-instant-task-jacobian-with-ang-moment-control-vector  $tm$

[method]

$$\frac{\partial \bar{e}^{eom\text{-}rot}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \mathbf{L}(t), \hat{\mathbf{w}}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_L} = \frac{\partial \dot{\mathbf{L}}(t)}{\partial \mathbf{p}_L} \quad (4.348)$$

$$= \frac{\partial}{\partial \mathbf{p}_L} \mathbf{B}_{L,n-1}(t) \hat{\mathbf{D}}_1 \mathbf{p}_L \quad (4.349)$$

$$= \mathbf{B}_{L,n-1}(t) \hat{\mathbf{D}}_1 \quad (4.350)$$

return  $\frac{\partial \bar{e}^{eom\text{-}rot}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \mathbf{L}(t), \hat{\mathbf{w}}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_L} \in \mathbb{R}^{3 \times dim(\mathbf{p}_L)}$

:eom-rot-task-jacobian-with-ang-moment-control-vector

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \mathbf{p}_L} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \bar{e}^{eom\text{-}rot}(\boldsymbol{\theta}(t_1), \mathbf{c}(t_1), \mathbf{L}(t_1), \hat{\mathbf{w}}(t_1), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_L} \\ \vdots \\ \frac{\partial \bar{e}^{eom\text{-}rot}(\boldsymbol{\theta}(t_{N_{tm-eom}}), \mathbf{c}(t_{N_{tm-eom}}), \mathbf{L}(t_{N_{tm-eom}}), \hat{\mathbf{w}}(t_{N_{tm-eom}}), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_L} \end{pmatrix} \quad (4.351)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \mathbf{p}_L} \in \mathbb{R}^{3N_{tm-eom} \times dim(\mathbf{p}_L)}$

:eom-rot-instant-task-jacobian-with-wrench-control-vector  $tm$

[method]

$$\frac{\partial \bar{e}^{eom\text{-}rot}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \mathbf{L}(t), \hat{\mathbf{w}}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} = \frac{\partial \bar{e}^{eom\text{-}rot}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \mathbf{L}(t), \hat{\mathbf{w}}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \hat{\mathbf{w}}} \frac{\partial \hat{\mathbf{w}}(t)}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} \quad (4.352)$$

$$\frac{\partial \bar{e}^{eom\text{-}rot}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \mathbf{L}(t), \hat{\mathbf{w}}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \hat{\mathbf{w}}} = \left( [-(\mathbf{p}_1^{cnt-trg}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) - \mathbf{c}) \times] \quad -\mathbf{I}_3 \quad \cdots \quad [-(\mathbf{p}_{N_{cnt}}^{cnt-trg}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) - \mathbf{c}) \times] \right) \quad (4.353)$$

(ただし  $\mathbf{p}_m^{cnt-trg}$  が nil の接触については  $O_3$  とする)

$$\frac{\partial \hat{\mathbf{w}}(t)}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} = \frac{\partial}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} \mathbf{B}_{\hat{w},n}(t) \mathbf{p}_{\hat{w}} = \mathbf{B}_{\hat{w},n}(t) \quad (4.354)$$

$$\text{return } \frac{\partial \bar{e}^{eom\text{-}rot}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \mathbf{L}(t), \hat{\mathbf{w}}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} \in \mathbb{R}^{3 \times \dim(\mathbf{p}_{\hat{w}})}$$

**:eom-rot-task-jacobian-with-wrench-control-vector**

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \bar{e}^{eom\text{-}rot}(\boldsymbol{\theta}(t_1), \mathbf{c}(t_1), \mathbf{L}(t_1), \hat{\mathbf{w}}(t_1), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} \\ \vdots \\ \frac{\partial \bar{e}^{eom\text{-}rot}(\boldsymbol{\theta}(t_{N_{tm\text{-}eom}}), \mathbf{c}(t_{N_{tm\text{-}eom}}), \mathbf{L}(t_{N_{tm\text{-}eom}}), \hat{\mathbf{w}}(t_{N_{tm\text{-}eom}}), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} \end{pmatrix} \quad (4.355)$$

$$\text{return } \frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} \in \mathbb{R}^{3N_{tm\text{-}eom} \times \dim(\mathbf{p}_{\hat{w}})}$$

**:eom-rot-instant-task-jacobian-with-phi**  $tm$

[method]

$$\frac{\partial \bar{e}^{eom\text{-}rot}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \mathbf{L}(t), \hat{\mathbf{w}}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \boldsymbol{\phi}} = \frac{\partial \bar{e}^{eom\text{-}rot}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \mathbf{L}(t), \hat{\mathbf{w}}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \boldsymbol{\phi}} \quad (4.356)$$

$$= \sum_{\substack{m=1 \\ m \in contact}}^{N_{cnt}} \left\{ [\mathbf{f}_m(t) \times] \mathbf{J}_{m,\phi}^{cnt\text{-}trg}(t) \right\} \quad (4.357)$$

$$\text{return } \frac{\partial \bar{e}^{eom\text{-}rot}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \mathbf{L}(t), \hat{\mathbf{w}}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \boldsymbol{\phi}} \in \mathbb{R}^{3 \times \dim(\boldsymbol{\phi})}$$

**:eom-rot-task-jacobian-with-phi**

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \boldsymbol{\phi}} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \bar{e}^{eom\text{-}rot}(\boldsymbol{\theta}(t_1), \mathbf{c}(t_1), \mathbf{L}(t_1), \hat{\mathbf{w}}(t_1), \boldsymbol{\phi})}{\partial \boldsymbol{\phi}} \\ \vdots \\ \frac{\partial \bar{e}^{eom\text{-}rot}(\boldsymbol{\theta}(t_{N_{tm\text{-}eom}}), \mathbf{c}(t_{N_{tm\text{-}eom}}), \mathbf{L}(t_{N_{tm\text{-}eom}}), \hat{\mathbf{w}}(t_{N_{tm\text{-}eom}}), \boldsymbol{\phi})}{\partial \boldsymbol{\phi}} \end{pmatrix} \quad (4.358)$$

$$\text{return } \frac{\partial \mathbf{e}^{eom\text{-}rot}}{\partial \boldsymbol{\phi}} \in \mathbb{R}^{3N_{tm\text{-}eom} \times \dim(\boldsymbol{\phi})}$$

**:cog-instant-task-jacobian-with-theta-control-vector**  $tm$

[method]

$$\frac{\partial \bar{e}^{cog}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_{\theta}} = \frac{\partial \bar{e}^{cog}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \boldsymbol{\theta}} \frac{\partial \boldsymbol{\theta}(t)}{\partial \mathbf{p}_{\theta}} \quad (4.359)$$

$$\frac{\partial \bar{e}^{cog}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \boldsymbol{\theta}} = \mathbf{J}_{G,\theta}(t) \quad (4.360)$$

$$\frac{\partial \boldsymbol{\theta}(t)}{\partial \mathbf{p}_{\theta}} = \frac{\partial}{\partial \mathbf{p}_{\theta}} \mathbf{B}_{\theta,n}(t) \mathbf{p}_{\theta} = \mathbf{B}_{\theta,n}(t) \quad (4.361)$$

$$\text{return } \frac{\partial \bar{e}^{cog}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_{\theta}} \in \mathbb{R}^{3 \times \dim(\mathbf{p}_{\theta})}$$

**:cog-task-jacobian-with-theta-control-vector**

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{cog}}{\partial \mathbf{p}_{\theta}} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \bar{e}^{cog}(\boldsymbol{\theta}(t_1), \mathbf{c}(t_1), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_{\theta}} \\ \vdots \\ \frac{\partial \bar{e}^{cog}(\boldsymbol{\theta}(t_{N_{tm\text{-}eom}}), \mathbf{c}(t_{N_{tm\text{-}eom}}), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_{\theta}} \end{pmatrix} \quad (4.362)$$

$$\text{return } \frac{\partial \mathbf{e}^{cog}}{\partial \mathbf{p}_{\theta}} \in \mathbb{R}^{3N_{tm\text{-}eom} \times \dim(\mathbf{p}_{\theta})}$$

:cog-instant-task-jacobian-with-cog-control-vector  $tm$

$$\frac{\partial \bar{e}^{cog}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_c} = \frac{\partial \bar{e}^{cog}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{c}} \frac{\partial \mathbf{c}(t)}{\partial \mathbf{p}_c} \quad (4.363)$$

$$\frac{\partial \bar{e}^{cog}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{c}} = -\mathbf{I}_3 \quad (4.364)$$

$$\frac{\partial \mathbf{c}(t)}{\partial \mathbf{p}_c} = \frac{\partial}{\partial \mathbf{p}_c} \mathbf{B}_{c,n}(t) \mathbf{p}_c = \mathbf{B}_{c,n}(t) \quad (4.365)$$

$$\text{return } \frac{\partial \bar{e}^{cog}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_c} \in \mathbb{R}^{3 \times \text{dim}(\mathbf{p}_c)}$$

:cog-task-jacobian-with-cog-control-vector

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{cog}}{\partial \mathbf{p}_c} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \bar{e}^{cog}(\boldsymbol{\theta}(t_1), \mathbf{c}(t_1), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_c} \\ \vdots \\ \frac{\partial \bar{e}^{cog}(\boldsymbol{\theta}(t_{N_{tm-eom}}), \mathbf{c}(t_{N_{tm-eom}}), \boldsymbol{\phi})}{\partial \mathbf{p}_c} \end{pmatrix} \quad (4.366)$$

$$\text{return } \frac{\partial \mathbf{e}^{cog}}{\partial \mathbf{p}_c} \in \mathbb{R}^{3N_{tm-eom} \times \text{dim}(\mathbf{p}_c)}$$

:cog-instant-task-jacobian-with-phi  $tm$

[method]

$$\frac{\partial \bar{e}^{cog}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \boldsymbol{\phi}} = \frac{\partial \bar{e}^{cog}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \boldsymbol{\phi}} = \mathbf{J}_{G,\phi}(t) \quad (4.367)$$

$$\text{return } \frac{\partial \bar{e}^{cog}(\boldsymbol{\theta}(t), \mathbf{c}(t), \boldsymbol{\phi})}{\partial \boldsymbol{\phi}} \in \mathbb{R}^{3 \times \text{dim}(\boldsymbol{\phi})}$$

:cog-task-jacobian-with-phi

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{cog}}{\partial \boldsymbol{\phi}} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \bar{e}^{cog}(\boldsymbol{\theta}(t_1), \mathbf{c}(t_1), \boldsymbol{\phi})}{\partial \boldsymbol{\phi}} \\ \vdots \\ \frac{\partial \bar{e}^{cog}(\boldsymbol{\theta}(t_{N_{tm-eom}}), \mathbf{c}(t_{N_{tm-eom}}), \boldsymbol{\phi})}{\partial \boldsymbol{\phi}} \end{pmatrix} \quad (4.368)$$

$$\text{return } \frac{\partial \mathbf{e}^{cog}}{\partial \boldsymbol{\phi}} \in \mathbb{R}^{3N_{tm-eom} \times \text{dim}(\boldsymbol{\phi})}$$

:ang-moment-instant-task-jacobian-with-ang-moment-control-vector  $tm$

[method]

$$\frac{\partial \bar{e}^{ang-moment}(\mathbf{L}(t))}{\partial \mathbf{p}_L} = \frac{\partial \bar{e}^{ang-moment}(\mathbf{L}(t))}{\partial \mathbf{L}} \frac{\partial \mathbf{L}(t)}{\partial \mathbf{p}_L} \quad (4.369)$$

$$\frac{\partial \bar{e}^{ang-moment}(\mathbf{L}(t))}{\partial \mathbf{L}} = \mathbf{I}_3 \quad (4.370)$$

$$\frac{\partial \mathbf{L}(t)}{\partial \mathbf{p}_L} = \frac{\partial}{\partial \mathbf{p}_L} \mathbf{B}_{L,n}(t) \mathbf{p}_L = \mathbf{B}_{L,n}(t) \quad (4.371)$$

$$\text{return } \frac{\partial \bar{e}^{ang-moment}(\mathbf{L}(t))}{\partial \mathbf{p}_L} \in \mathbb{R}^{3 \times \text{dim}(\mathbf{p}_L)}$$

:ang-moment-task-jacobian-with-ang-moment-control-vector

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{ang-moment}}{\partial \mathbf{p}_L} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{ang-moment}(\mathbf{L}(t_1))}{\partial \mathbf{p}_L} \\ \vdots \\ \frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{ang-moment}(\mathbf{L}(t_{N_{tm-eom}}))}{\partial \mathbf{p}_L} \end{pmatrix} \quad (4.372)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{ang-moment}}{\partial \mathbf{p}_L} \in \mathbb{R}^{3N_{tm-eom} \times dim(\mathbf{p}_L)}$

:posture-instant-task-jacobian-with-theta-control-vector  $tm$

[method]

$$\frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{posture}(\boldsymbol{\theta}(t))}{\partial \mathbf{p}_\theta} = \frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{posture}(\boldsymbol{\theta}(t))}{\partial \boldsymbol{\theta}} \frac{\partial \boldsymbol{\theta}(t)}{\partial \mathbf{p}_\theta} \quad (4.373)$$

$$\left( \frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{posture}(\boldsymbol{\theta}(t))}{\partial \boldsymbol{\theta}} \right)_{i,j} = \begin{cases} -k_{posture} & (\mathcal{J}_{posture,i} = \mathcal{J}_{var,j}) \\ 0 & \text{otherwise} \end{cases} \quad (4.374)$$

$$\frac{\partial \boldsymbol{\theta}(t)}{\partial \mathbf{p}_\theta} = \frac{\partial}{\partial \mathbf{p}_\theta} \mathbf{B}_{\theta,n}(t) \mathbf{p}_\theta = \mathbf{B}_{\theta,n}(t) \quad (4.375)$$

return  $\frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{posture}(\boldsymbol{\theta}(t))}{\partial \mathbf{p}_\theta} \in \mathbb{R}^{N_{posture-joint} \times dim(\mathbf{p}_\theta)}$

:posture-task-jacobian-with-theta-control-vector

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}^{posture}}{\partial \mathbf{p}_\theta} = \begin{pmatrix} \frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{posture}(\boldsymbol{\theta}(t_1))}{\partial \mathbf{p}_\theta} \\ \vdots \\ \frac{\partial \bar{\mathbf{e}}^{posture}(\boldsymbol{\theta}(t_{N_{tm-kin}}))}{\partial \mathbf{p}_\theta} \end{pmatrix} \quad (4.376)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}^{posture}}{\partial \mathbf{p}_\theta} \in \mathbb{R}^{N_{posture-joint} N_{tm-kin} \times dim(\mathbf{p}_\theta)}$

:task-jacobian

[method]

$$\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}} = \begin{pmatrix} dim(\mathbf{p}_\theta) & dim(\mathbf{p}_c) & dim(\mathbf{p}_L) & dim(\mathbf{p}_{\hat{w}}) & dim(\mathbf{p}_\tau) & dim(\phi) \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \mathbf{p}_\theta} & \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-trans}}{\partial \mathbf{p}_c} & \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-trans}}{\partial \mathbf{p}_L} & \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-trans}}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-trans}}{\partial \mathbf{p}_\tau} & \frac{\partial \mathbf{e}^{kin}}{\partial \phi} \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-trans}}{\partial \mathbf{p}_\theta} & \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot}}{\partial \mathbf{p}_c} & \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot}}{\partial \mathbf{p}_L} & \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot}}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot}}{\partial \mathbf{p}_\tau} & \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot}}{\partial \phi} \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{eom-rot}}{\partial \mathbf{p}_\theta} & \frac{\partial \mathbf{e}^{cog}}{\partial \mathbf{p}_c} & \frac{\partial \mathbf{e}^{cog}}{\partial \mathbf{p}_L} & \frac{\partial \mathbf{e}^{cog}}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{cog}}{\partial \mathbf{p}_\tau} & \frac{\partial \mathbf{e}^{cog}}{\partial \phi} \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{cog}}{\partial \mathbf{p}_\theta} & \frac{\partial \mathbf{e}^{ang-moment}}{\partial \mathbf{p}_L} & \frac{\partial \mathbf{e}^{ang-moment}}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{ang-moment}}{\partial \mathbf{p}_\tau} & \frac{\partial \mathbf{e}^{ang-moment}}{\partial \phi} & \frac{\partial \mathbf{e}^{ang-moment}}{\partial \phi} \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{ang-moment}}{\partial \mathbf{p}_\theta} & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \mathbf{p}_\tau} & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \phi} & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \phi} & \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \phi} \\ \frac{\partial \mathbf{e}^{trq}}{\partial \mathbf{p}_\theta} & \frac{\partial \mathbf{e}^{posture}}{\partial \mathbf{p}_\theta} & \frac{\partial \mathbf{e}^{posture}}{\partial \mathbf{p}_c} & \frac{\partial \mathbf{e}^{posture}}{\partial \mathbf{p}_L} & \frac{\partial \mathbf{e}^{posture}}{\partial \mathbf{p}_{\hat{w}}} & \frac{\partial \mathbf{e}^{posture}}{\partial \phi} \end{pmatrix} \quad (4.377)$$

return  $\frac{\partial \mathbf{e}}{\partial \mathbf{q}} = \mathbb{R}^{dim(\mathbf{e}) \times dim(\mathbf{q})}$

:theta-max-vector  $\mathcal{E}key$  (*update?* nil)

[method]

return  $\boldsymbol{\theta}_{max} \in \mathbb{R}^{N_{var-joint}}$

:theta-min-vector  $\mathcal{E}key$  (*update?* nil)

[method]

return  $\boldsymbol{\theta}_{min} \in \mathbb{R}^{N_{var-joint}}$

:theta-instant-inequality-constraint-matrix *key* (*update?* nil)

[method]

$$\boldsymbol{\theta}_{min} \leq \boldsymbol{\theta} \leq \boldsymbol{\theta}_{max} \quad (4.378)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \end{pmatrix} \boldsymbol{\theta} \geq \begin{pmatrix} \boldsymbol{\theta}_{min} \\ -\boldsymbol{\theta}_{max} \end{pmatrix} \quad (4.379)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{C}_{\boldsymbol{\theta}} \boldsymbol{\theta} \geq \bar{\mathbf{d}}_{\boldsymbol{\theta}} \quad (4.380)$$

$$\text{return } \mathbf{C}_{\boldsymbol{\theta}} := \begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{2N_{var-joint} \times N_{var-joint}}$$

:theta-instant-inequality-constraint-vector *key* (*update?* nil)

[method]

$$\text{return } \bar{\mathbf{d}}_{\boldsymbol{\theta}} := \begin{pmatrix} \boldsymbol{\theta}_{min} \\ -\boldsymbol{\theta}_{max} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{2N_{var-joint}}$$

:theta-control-vector-inequality-constraint-matrix *key* (*update?* nil)

[method]

$$\mathbf{C}_{\boldsymbol{\theta}} \boldsymbol{\theta} \geq \bar{\mathbf{d}}_{\boldsymbol{\theta}} \quad (4.381)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{C}_{\mathbf{p}_{\boldsymbol{\theta}}} \mathbf{p}_{\boldsymbol{\theta}} \geq \bar{\mathbf{d}}_{\mathbf{p}_{\boldsymbol{\theta}}} \quad (4.382)$$

差分形式で表すと次式となる .

$$\mathbf{C}_{\mathbf{p}_{\boldsymbol{\theta}}} (\mathbf{p}_{\boldsymbol{\theta}} + \Delta \mathbf{p}_{\boldsymbol{\theta}}) \geq \bar{\mathbf{d}}_{\mathbf{p}_{\boldsymbol{\theta}}} \quad (4.383)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{C}_{\mathbf{p}_{\boldsymbol{\theta}}} \Delta \mathbf{p}_{\boldsymbol{\theta}} \geq \bar{\mathbf{d}}_{\mathbf{p}_{\boldsymbol{\theta}}} - \mathbf{C}_{\mathbf{p}_{\boldsymbol{\theta}}} \mathbf{p}_{\boldsymbol{\theta}} \quad (4.384)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{C}_{\mathbf{p}_{\boldsymbol{\theta}}} \Delta \mathbf{p}_{\boldsymbol{\theta}} \geq \mathbf{d}_{\mathbf{p}_{\boldsymbol{\theta}}} \quad (4.385)$$

return  $\mathbf{C}_{\mathbf{p}_{\boldsymbol{\theta}}}$

:theta-control-vector-inequality-constraint-vector *key* (*update?* t)

[method]

return  $\mathbf{d}_{\mathbf{p}_{\boldsymbol{\theta}}} := \bar{\mathbf{d}}_{\mathbf{p}_{\boldsymbol{\theta}}} - \mathbf{C}_{\mathbf{p}_{\boldsymbol{\theta}}} \mathbf{p}_{\boldsymbol{\theta}}$

:cog-max-vector *key* (*update?* nil)

[method]

return  $\mathbf{c}_{max} \in \mathbb{R}^3$  [m]

:cog-instant-inequality-constraint-matrix *key* (*update?* nil)

[method]

$$-\mathbf{c}_{max} \leq \mathbf{c} \leq \mathbf{c}_{max} \quad (4.386)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \end{pmatrix} \mathbf{c} \geq \begin{pmatrix} -\mathbf{c}_{max} \\ -\mathbf{c}_{max} \end{pmatrix} \quad (4.387)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{C}_{\mathbf{c}} \mathbf{c} \geq \bar{\mathbf{d}}_{\mathbf{c}} \quad (4.388)$$

$$\text{return } \mathbf{C}_{\mathbf{c}} := \begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{6 \times 3}$$

:cog-instant-inequality-constraint-vector *key* (*update?* nil)

[method]

$$\text{return } \bar{\mathbf{d}}_{\mathbf{c}} := \begin{pmatrix} -\mathbf{c}_{max} \\ -\mathbf{c}_{max} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^6$$

:cog-control-vector-inequality-constraint-matrix *key* (*update?* nil)

[method]

$$C_c c \geq \bar{d}_c \quad (4.389)$$

$$\Leftrightarrow C_{p_c} p_c \geq \bar{d}_{p_c} \quad (4.390)$$

差分形式で表すと次式となる .

$$C_{p_c}(p_c + \Delta p_c) \geq \bar{d}_{p_c} \quad (4.391)$$

$$\Leftrightarrow C_{p_c} \Delta p_c \geq \bar{d}_{p_c} - C_{p_c} p_c \quad (4.392)$$

$$\Leftrightarrow C_{p_c} \Delta p_c \geq d_{p_c} \quad (4.393)$$

return  $C_{p_c}$

:cog-control-vector-inequality-constraint-vector &key (update? t)

[method]

return  $d_{p_c} := \bar{d}_{p_c} - C_{p_c} p_c$

:ang-moment-max-vector &key (update? nil)

[method]

return  $L_{max} \in \mathbb{R}^3$  [kgm<sup>2</sup>/s]

:ang-moment-instant-inequality-constraint-matrix &key (update? nil)

[method]

$$-L_{max} \leq L \leq L_{max} \quad (4.394)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} I \\ -I \end{pmatrix} L \geq \begin{pmatrix} -L_{max} \\ -L_{max} \end{pmatrix} \quad (4.395)$$

$$\Leftrightarrow C_L L \geq \bar{d}_L \quad (4.396)$$

return  $C_L := \begin{pmatrix} I \\ -I \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{6 \times 3}$

:ang-moment-instant-inequality-constraint-vector &key (update? nil)

[method]

return  $\bar{d}_L := \begin{pmatrix} -L_{max} \\ -L_{max} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^6$

:ang-moment-control-vector-inequality-constraint-matrix &key (update? nil)

[method]

$$C_L L \geq \bar{d}_L \quad (4.397)$$

$$\Leftrightarrow C_{p_L} p_L \geq \bar{d}_{p_L} \quad (4.398)$$

差分形式で表すと次式となる .

$$C_{p_L}(p_L + \Delta p_L) \geq \bar{d}_{p_L} \quad (4.399)$$

$$\Leftrightarrow C_{p_L} \Delta p_L \geq \bar{d}_{p_L} - C_{p_L} p_L \quad (4.400)$$

$$\Leftrightarrow C_{p_L} \Delta p_L \geq d_{p_L} \quad (4.401)$$

return  $C_{p_L}$

:ang-moment-control-vector-inequality-constraint-vector &key (update? t)

[method]

return  $d_{p_L} := \bar{d}_{p_L} - C_{p_L} p_L$

:wrench-instant-inequality-constraint-matrix &key (update? t)

[method]

接触レンチ  $w \in \mathbb{R}^6$  が満たすべき制約（非負制約，摩擦制約，圧力中心制約）が次式のように表されるとする。

$$C_w w \geq d_w \quad (4.402)$$

$N_{cnt}$  箇所の接触部位の接触レンチを並べたベクトル  $\hat{w}$  の不等式制約は次式で表される。

$$C_{w,m} w_m \geq d_{w,m} \quad (m = 1, 2, \dots, N_{cnt}) \quad (4.403)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} C_{w,1} & & & \\ & C_{w,2} & & \\ & & \ddots & \\ & & & C_{w,N_{cnt}} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} w_1 \\ w_2 \\ \vdots \\ w_{N_{cnt}} \end{pmatrix} \geq \begin{pmatrix} d_{w,1} \\ d_{w,2} \\ \vdots \\ d_{w,N_{cnt}} \end{pmatrix} \quad (4.404)$$

$$\Leftrightarrow C_{\hat{w}} \hat{w} \geq d_{\hat{w}} \quad (4.405)$$

return  $C_{\hat{w}} := \begin{pmatrix} C_{w,1} & & & \\ & C_{w,2} & & \\ & & \ddots & \\ & & & C_{w,N_{cnt}} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{\hat{w}-ineq} \times \text{dim}(\hat{w})}$

:wrench-instant-inequality-constraint-vector *&key (update? nil)*

return  $d_{\hat{w}} := \begin{pmatrix} d_{w,1} \\ d_{w,2} \\ \vdots \\ d_{w,N_{cnt}} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{N_{\hat{w}-ineq}}$

:wrench-control-vector-inequality-constraint-matrix *&key (update? nil)*

$$C_{\hat{w}} \hat{w} \geq \bar{d}_{\hat{w}} \quad (4.406)$$

$$\Leftrightarrow C_{p_{\hat{w}}} p_{\hat{w}} \geq \bar{d}_{p_{\hat{w}}} \quad (4.407)$$

差分形式で表すと次式となる。

$$C_{p_{\hat{w}}} (p_{\hat{w}} + \Delta p_{\hat{w}}) \geq \bar{d}_{p_{\hat{w}}} \quad (4.408)$$

$$\Leftrightarrow C_{p_{\hat{w}}} \Delta p_{\hat{w}} \geq \bar{d}_{p_{\hat{w}}} - C_{p_{\hat{w}}} p_{\hat{w}} \quad (4.409)$$

$$\Leftrightarrow C_{p_{\hat{w}}} \Delta p_{\hat{w}} \geq d_{p_{\hat{w}}} \quad (4.410)$$

return  $C_{p_{\hat{w}}}$

:wrench-control-vector-inequality-constraint-vector *&key (update? t)*

return  $d_{p_{\hat{w}}} := \bar{d}_{p_{\hat{w}}} - C_{p_{\hat{w}}} p_{\hat{w}}$

:torque-control-vector-inequality-constraint-matrix

todo

[method]

:torque-control-vector-inequality-constraint-vector

todo

[method]

:phi-max-vector *&key (update? nil)*

return  $\phi_{max} \in \mathbb{R}^{N_{invar-joint}}$

[method]

**:phi-min-vector**  $\&key\ (update?\ nil)$

return  $\phi_{min} \in \mathbb{R}^{N_{invar-joint}}$

[method]

**:phi-inequality-constraint-matrix**  $\&key\ (update?\ nil)$

[method]

$$\phi_{min} \leq \phi + \Delta\phi \leq \phi_{max} \quad (4.411)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \end{pmatrix} \Delta\phi \geq \begin{pmatrix} \phi_{min} - \phi \\ -(\phi_{max} - \phi) \end{pmatrix} \quad (4.412)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{C}_\phi \Delta\phi \geq \mathbf{d}_\phi \quad (4.413)$$

return  $\mathbf{C}_\phi := \begin{pmatrix} \mathbf{I} \\ -\mathbf{I} \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{2N_{invar-joint} \times N_{invar-joint}}$

**:phi-inequality-constraint-vector**  $\&key\ (update?\ t)$

return  $\mathbf{d}_\phi := \begin{pmatrix} \phi_{min} - \phi \\ -(\phi_{max} - \phi) \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^{2N_{invar-joint}}$

[method]

**:config-inequality-constraint-matrix**

[method]

$$\left\{ \begin{array}{l} \mathbf{C}_{p_\theta} \Delta\mathbf{p}_\theta \geq \mathbf{d}_{p_\theta} \\ \mathbf{C}_{p_c} \Delta\mathbf{p}_c \geq \mathbf{d}_{p_c} \\ \mathbf{C}_{p_L} \Delta\mathbf{p}_L \geq \mathbf{d}_{p_L} \\ \mathbf{C}_{p_{\hat{w}}} \Delta\mathbf{p}_{\hat{w}} \geq \mathbf{d}_{p_{\hat{w}}} \\ \mathbf{C}_{p_\tau} \Delta\mathbf{p}_\tau \geq \mathbf{d}_{p_\tau} \\ \mathbf{C}_\phi \Delta\phi \geq \mathbf{d}_\phi \end{array} \right. \quad (4.414)$$

$$\Leftrightarrow \begin{pmatrix} \mathbf{C}_{p_\theta} & & & & & \\ & \mathbf{C}_{p_c} & & & & \\ & & \mathbf{C}_{p_L} & & & \\ & & & \mathbf{C}_{p_{\hat{w}}} & & \\ & & & & \mathbf{C}_{p_\tau} & \\ & & & & & \mathbf{C}_\phi \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \Delta\mathbf{p}_\theta \\ \Delta\mathbf{p}_c \\ \Delta\mathbf{p}_L \\ \Delta\mathbf{p}_{\hat{w}} \\ \Delta\mathbf{p}_\tau \\ \Delta\phi \end{pmatrix} \geq \begin{pmatrix} \mathbf{d}_{p_\theta} \\ \mathbf{d}_{p_c} \\ \mathbf{d}_{p_L} \\ \mathbf{d}_{p_{\hat{w}}} \\ \mathbf{d}_{p_\tau} \\ \mathbf{d}_\phi \end{pmatrix} \quad (4.415)$$

$$\Leftrightarrow \mathbf{C} \Delta\mathbf{q} \geq \mathbf{d} \quad (4.416)$$

return  $\mathbf{C}$

**:config-inequality-constraint-vector**

[method]

return  $\mathbf{d}$

**:config-equality-constraint-matrix**  $\&key\ (update?\ nil)$

return  $\mathbf{A} \in \mathbb{R}^{0 \times dim(\mathbf{q})}$  (no equality constraint)

[method]

**:config-equality-constraint-vector**  $\&key\ (update?\ t)$

return  $\mathbf{b} \in \mathbb{R}^0$  (no equality constraint)

[method]

**:stationery-start-finish-regular-matrix**  $\&key\ (update?\ nil)$

return  $\mathbf{W}_{stat} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{q}) \times dim(\mathbf{q})}$

[method]

**:differential-square-integration-regular-matrix**  $\&key\ (diff-order\ 1)$

return  $\mathbf{W}_{sqr,d} \in \mathbb{R}^{dim(\mathbf{q}) \times dim(\mathbf{q})}$

[method]

**:first-differential-square-integration-regular-matrix** &key (update? nil) [method]  
 return  $\mathbf{W}_{sqr,1} \in \mathbb{R}^{\dim(\mathbf{q}) \times \dim(\mathbf{q})}$

**:second-differential-square-integration-regular-matrix** &key (update? nil) [method]  
 return  $\mathbf{W}_{sqr,2} \in \mathbb{R}^{\dim(\mathbf{q}) \times \dim(\mathbf{q})}$

**:third-differential-square-integration-regular-matrix** &key (update? nil) [method]  
 return  $\mathbf{W}_{sqr,3} \in \mathbb{R}^{\dim(\mathbf{q}) \times \dim(\mathbf{q})}$

**:regular-matrix** [method]

$$\mathbf{W}_{reg} := \min(k_{max}, \|\mathbf{e}\|^2 + k_{off}) \mathbf{I} + k_{stat} \mathbf{W}_{stat} + \sum_{d=1}^3 k_{sqr,d} \mathbf{W}_{sqr,d} \quad (4.417)$$

return  $\mathbf{W}_{reg} \in \mathbb{R}^{\dim(\mathbf{q}) \times \dim(\mathbf{q})}$

**:regular-vector** [method]

$$\mathbf{v}_{reg} := k_{stat} \mathbf{W}_{stat} \mathbf{q} + \sum_{d=1}^3 k_{sqr,d} \mathbf{W}_{sqr,d} \mathbf{q} \quad (4.418)$$

return  $\mathbf{v}_{reg} \in \mathbb{R}^{\dim(\mathbf{q})}$

**:update-collision-inequality-constraint** [method]  
 Not implemented yet.

**:update-viewer** &key (start-time (send \_theta-bst :start-time))  
 (finish-time (send \_theta-bst :finish-time))  
 (delta-time (/ (- finish-time start-time) 100.0)) [method]

Update viewer.

**:print-setting-information** [method]  
 Print setting information.

**:print-status** [method]  
 Print status.

**:play-animation** &key (robot-env)  
 (start-time (send \_theta-bst :start-time))  
 (finish-time (send \_theta-bst :finish-time))  
 (delta-time (/ (- finish-time start-time) 100.0))  
 (loop? t)  
 (visualize-callback-func) [method]

Play motion animation.

**:generate-graph** &key (start-time (send \_theta-bst :start-time))  
 (finish-time (send \_theta-bst :finish-time))  
 (delta-time (/ (- finish-time start-time) 100.0))  
 (data dirname /tmp/bspline-dynamic-config-task)  
 (graph filename /tmp/bspline-dynamic-config-task/graph.pdf) [method]

Generate graph from configuration and task trajectory.

```
:generate-robot-state-list &key (robot-env _robot-env)
  (start-time (send _theta-bst :start-time))
  (finish-time (send _theta-bst :finish-time))
  (joint-name-list (send-all (send robot-env :robot :joint-list) :name))
  (root-link-name (send (car (send robot-env :robot :links)) :name))
  (step-time 0.004)
  (divide-num 100)
  (limb-list (list :rleg :lleg :rarm :larm))
```

[method]

Generate and return robot state list.

## 4.4 離散的な幾何目標に対する逆運動学計算

### 4.4.1 離散的な幾何目標に対する逆運動学計算の理論

min/max 関数の微分可能関数近似

minimum/maximum 関数

$$F_{\min}(\mathbf{x}; f_1, \dots, f_K) \stackrel{\text{def}}{=} \min(f_1(\mathbf{x}), \dots, f_K(\mathbf{x})) \quad (4.419)$$

$$F_{\max}(\mathbf{x}; f_1, \dots, f_K) \stackrel{\text{def}}{=} \max(f_1(\mathbf{x}), \dots, f_K(\mathbf{x})) \quad (4.420)$$

を連続かつ微分可能な関数で近似した smooth minimum/maximum 関数として，次式を用いることができる<sup>12</sup>。

$$\mathcal{S}_\alpha(\mathbf{x}; f_1, \dots, f_K) \stackrel{\text{def}}{=} \frac{\sum_{k=1}^K f_k(\mathbf{x}) e^{\alpha f_k(\mathbf{x})}}{\sum_{k=1}^K e^{\alpha f_k(\mathbf{x})}} \quad (4.421)$$

この関数は以下の性質をもつ。

$$\alpha \rightarrow -\infty \text{ のとき } \mathcal{S}_\alpha \rightarrow F_{\min} \quad (4.422)$$

$$\alpha \rightarrow \infty \text{ のとき } \mathcal{S}_\alpha \rightarrow F_{\max} \quad (4.423)$$

離散的な目標に対するタスク関数の微分可能関数近似

タスク関数として  $e_1(\mathbf{q}), \dots, e_K(\mathbf{q}) \in \mathbb{R}^{N_e}$  が与えられているときに，これらのタスク関数のいずれかをゼロにするコンフィギュレーション  $\mathbf{q} \in \mathbb{R}^{N_q}$  を求める問題を考える。複数個の目標位置のいずれかにリーチングする逆運動学問題などがこの問題に含まれる。

この問題は次式で表される。

$$e_k(\mathbf{q}) = \mathbf{0} \quad (k \text{ は } 1, \dots, K \text{ のいずれか}) \quad (4.424)$$

これは次式と同値である。

$$e_{\min}(\mathbf{q}) = \mathbf{0} \quad (4.425)$$

$$\text{where } e_{\min}(\mathbf{q}) \stackrel{\text{def}}{=} \arg \min_{\mathbf{e}_k \in \mathcal{E}} \|e_k(\mathbf{q})\|^2 \in \mathbb{R}^{N_e} \quad (4.426)$$

$$\mathcal{E} \stackrel{\text{def}}{=} \{e_1, \dots, e_K\} \quad (4.427)$$

---

<sup>12</sup>[https://en.wikipedia.org/wiki/Smooth\\_maximum](https://en.wikipedia.org/wiki/Smooth_maximum)

タスク関数  $e_{min}(\mathbf{q})$  のヤコビ行列  $\frac{\partial e_{min}(\mathbf{q})}{\partial \mathbf{q}}$  が導出できれば、第1章の定式化により最適化計算を行うことでコンフィギュレーション  $\mathbf{q}$  を求めることができる。しかし、 $e_{min}(\mathbf{q})$  は一般に、最小の  $e_k$  が切り替わる点において微分不可能であり、ヤコビ行列を求めることができない。

式(4.421)では、 $f_k(\mathbf{x}) \in \mathbb{R}$  ( $k = 1, \dots, K$ ) の  $\frac{e^{\alpha f_k(\mathbf{x})}}{\sum_{k=1}^K e^{\alpha f_k(\mathbf{x})}}$  による重み付けした和をとることで、min/max の微分可能関数近似を得ている。この近似をスカラ値関数からベクトル値関数へと拡張して、 $e_{min}(\mathbf{q})$  を次式の微分可能関数で近似する。

$$\hat{e}_{min}(\mathbf{q}) \stackrel{\text{def}}{=} \frac{1}{\sum_{\mathbf{e}_k \in \mathcal{E}} \exp(-\alpha \|\mathbf{e}_k(\mathbf{q})\|^2)} \sum_{\mathbf{e}_k \in \mathcal{E}} \exp(-\alpha \|\mathbf{e}_k(\mathbf{q})\|^2) \mathbf{e}_k(\mathbf{q}) \in \mathbb{R}^{N_e} \quad (4.428)$$

$\alpha$  は正の定数で大きいほど近似精度が増す。タスク関数  $\hat{e}_{min}(\mathbf{q})$  のヤコビ行列  $\frac{\partial \hat{e}_{min}(\mathbf{q})}{\partial \mathbf{q}}$  は、解析的に導出可能である。

#### contact-invariant-optimization における微分可能関数近似 (参考)

contact-invariant-optimization の論文<sup>13</sup> の4.1節では、minimum 関数を含むタスク関数が以下のように近似されている。

$$\hat{e}_{min}(\mathbf{q}) \stackrel{\text{def}}{=} \frac{1}{\sum_{\mathbf{e}_k \in \mathcal{E}} \eta(\mathbf{e}_k(\mathbf{q}))} \sum_{\mathbf{e}_k \in \mathcal{E}} \eta(\mathbf{e}_k(\mathbf{q})) \mathbf{e}_k(\mathbf{q}) \in \mathbb{R}^{N_e} \quad (4.429)$$

$$\text{where } \eta(\mathbf{e}_k(\mathbf{q})) = \frac{1}{1 + \beta \|\mathbf{e}_k(\mathbf{q})\|^2} \in \mathbb{R} \quad (4.430)$$

$\beta$  は正の定数で、論文では  $10^4$  としている。これは、式(4.428)における  $\exp(-\alpha \|\mathbf{e}_k(\mathbf{q})\|^2)$  を  $\eta(\mathbf{e}_k(\mathbf{q}))$  で置き換えたものである。

#### LogSumExp による微分可能関数近似 (参考)

式(4.419)、式(4.420)のminimum/maximum 関数を連続かつ微分可能な関数で近似した smooth minimum/maximum 関数として、LogSumExp 関数を用いることができる<sup>14</sup>。

$$LSE_\varepsilon(\mathbf{x}; f_1, \dots, f_K) \stackrel{\text{def}}{=} \frac{\log \left( \sum_{k=1}^K \exp(\varepsilon f_k(\mathbf{x})) \right)}{\varepsilon} \quad (4.431)$$

$\varepsilon$  が負のとき minimum 関数、正のとき maximum 関数の近似となり、絶対値が大きいほど近似精度が増す。

この関数は、重み付け和の形式ではないため、式(4.428)のようにスカラ値関数からベクトル値関数へ拡張することができない。

タスク関数のノルム二乗として表される最適化の目的関数

$$F(\mathbf{q}) \stackrel{\text{def}}{=} \min_{\mathbf{e}_k \in \mathcal{E}} \|\mathbf{e}_k(\mathbf{q})\|^2 \in \mathbb{R} \quad (4.432)$$

は、次の  $\hat{F}(\mathbf{q})$  として近似できる。

$$\hat{F}(\mathbf{q}) \approx \frac{\log \left( \sum_{\mathbf{e}_k \in \mathcal{E}} \exp(-\varepsilon \|\mathbf{e}_k(\mathbf{q})\|^2) \right)}{-\varepsilon} \quad (4.433)$$

式(4.431)の  $\varepsilon$  を改めて  $-\varepsilon$  と置き直した。 $\varepsilon$  が大きいほど近似精度が増す。

<sup>13</sup> Discovery of complex behaviors through contact-invariant optimization, I. Mordatch, et. al., ACM Transactions on Graphics 31.4, 43, 2012.

<sup>14</sup>[https://en.wikipedia.org/wiki/Smooth\\_maximum](https://en.wikipedia.org/wiki/Smooth_maximum)

近似目的関数  $\hat{F}(\mathbf{q})$  の勾配は次式で表される .

$$\frac{\partial \hat{F}(\mathbf{q})}{\partial \mathbf{q}} = \frac{\sum_{\mathbf{e}_k \in \mathcal{E}} 2\varepsilon \exp(-\varepsilon \|\mathbf{e}_k(\mathbf{q})\|^2) \left( \frac{\partial \mathbf{e}_k(\mathbf{q})}{\partial \mathbf{q}} \right)^T \mathbf{e}_k(\mathbf{q})}{\varepsilon \sum_{\mathbf{e}_k \in \mathcal{E}} \exp(-\varepsilon \|\mathbf{e}_k(\mathbf{q})\|^2)} \quad (4.434)$$

近似目的関数  $\hat{F}(\mathbf{q})$  のヘッセ行列も解析的に導出可能である . (タスク関数を考える場合 , そのヤコビ行列が求まれば , 第 1 章のように目的関数のヘッセ行列は導出可能である . しかし , 今回のように目的関数を直接扱う場合は , そのヘッセ行列を陽に導出する必要がある . )

#### 4.4.2 離散的な幾何目標に対する逆運動学計算の実装

##### discrete-kinematics-configuration-task

[class]

:super	instant-configuration-task
:slots	(_smooth-alpha alpha)

離散的な幾何目標を扱えるように拡張された瞬時コンフィギュレーション  $\mathbf{q}^{(l)}$  と瞬時タスク関数  $e^{(l)}(\mathbf{q}^{(l)})$  のクラス .

離散的な幾何目標とは , kin-target-coords-list や kin-attention-coords-list として目標位置姿勢や着目位置姿勢が複数ペア与えられ , それらのいずれかが成り立てば良いという制約のことを指す . 離散的な幾何目標のタスク関数に含まれる min 関数を微分可能関数で近似することで , タスク関数のヤコビ行列を求める .

:init &rest args &key (smooth-alpha 20.0)  
&allow-other-keys

[method]

Initialize instance

:kinematics-task-value &key (update? t)

[method]

$$e^{kin}(\mathbf{q}) = e^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) \quad (4.435)$$

$$= \begin{pmatrix} e_1^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) \\ e_2^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) \\ \vdots \\ e_{N_{kin}}^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) \end{pmatrix} \quad (4.436)$$

$$e_m^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) = \arg \min_{\mathbf{e}_{m,i}^{kin} \in \mathcal{E}_m^{kin}} \| \mathbf{e}_{m,i}^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) \|^2 \in \mathbb{R}^6 \quad (m = 1, 2, \dots, N_{kin}) \quad (4.437)$$

$$\text{where } \mathcal{E}_m^{kin} = \{ \mathbf{e}_{m,i}^{kin} \mid i = 1, 2, \dots, N_{kin-dis,m} \} \quad (4.438)$$

$$e_{m,i}^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) = K_{kin} \left( \frac{\mathbf{p}_{m,i}^{kin-trg}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) - \mathbf{p}_{m,i}^{kin-att}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi})}{a \left( \mathbf{R}_{m,i}^{kin-trg}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) \mathbf{R}_{m,i}^{kin-att}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi})^T \right)} \right) \in \mathbb{R}^6 \quad (i = 1, 2, \dots, N_{kin-dis,m}) \quad (4.439)$$

$a(\mathbf{R})$  は姿勢行列  $\mathbf{R}$  の等価角軸ベクトルを表す .  $e_m^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi})$  を次式で近似する .

$$\begin{aligned} e_m^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) &= \frac{1}{\sum_{\mathbf{e}_{m,i}^{kin} \in \mathcal{E}_m^{kin}} \exp(-\alpha \|\mathbf{e}_{m,i}^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi})\|^2)} \sum_{\mathbf{e}_{m,i}^{kin} \in \mathcal{E}_m^{kin}} \exp(-\alpha \|\mathbf{e}_{m,i}^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi})\|^2) \mathbf{e}_{m,i}^{kin}(\boldsymbol{\theta}, \boldsymbol{\phi}) \\ &\in \mathbb{R}^6 \quad (m = 1, 2, \dots, N_{kin}) \end{aligned} \quad (4.440)$$

$\alpha$  は正の定数で大きいほど近似精度が増す。

return  $e^{kin}(q) \in \mathbb{R}^{6N_{kin}}$

:kinematics-task-jacobian-with-theta

[method]

$$\frac{\partial e^{kin}}{\partial \theta} = \begin{pmatrix} \frac{\partial e_1^{kin}}{\partial \theta} \\ \frac{\partial e_2^{kin}}{\partial \theta} \\ \vdots \\ \frac{\partial e_{N_{kin}}^{kin}}{\partial \theta} \end{pmatrix} \quad (4.441)$$

ここで、

$$\begin{aligned} e_m^{kin}(\theta, \phi) &= \frac{1}{\sum_{e_{m,i}^{kin} \in \mathcal{E}_m^{kin}} \exp(-\alpha \|e_{m,i}^{kin}(\theta, \phi)\|^2)} \sum_{e_{m,i}^{kin} \in \mathcal{E}_m^{kin}} \exp(-\alpha \|e_{m,i}^{kin}(\theta, \phi)\|^2) e_{m,i}^{kin}(\theta, \phi) \\ &= u(\theta, \phi) v(\theta, \phi) \end{aligned} \quad (4.442)$$

$$\text{where } u(\theta, \phi) = \frac{1}{\sum_{e_{m,i}^{kin} \in \mathcal{E}_m^{kin}} \exp(-\alpha \|e_{m,i}^{kin}(\theta, \phi)\|^2)} \in \mathbb{R} \quad (4.443)$$

$$v(\theta, \phi) = \sum_{e_{m,i}^{kin} \in \mathcal{E}_m^{kin}} \exp(-\alpha \|e_{m,i}^{kin}(\theta, \phi)\|^2) e_{m,i}^{kin}(\theta, \phi) \in \mathbb{R}^6 \quad (4.444)$$

であるから、

$$\frac{\partial e_m^{kin}(\theta, \phi)}{\partial \theta} = v(\theta, \phi) \left( \frac{\partial u(\theta, \phi)}{\partial \theta} \right)^T + u(\theta, \phi) \left( \frac{\partial v(\theta, \phi)}{\partial \theta} \right) \quad (4.445)$$

$$\frac{\partial u(\theta, \phi)}{\partial \theta} = \frac{\sum_{e_{m,i}^{kin} \in \mathcal{E}_m^{kin}} 2\alpha A \left( \frac{\partial e_{m,i}^{kin}(\theta, \phi)}{\partial \theta} \right)^T e_{m,i}^{kin}(\theta, \phi)}{\left\{ \sum_{e_{m,i}^{kin} \in \mathcal{E}_m^{kin}} A \right\}^2} \in \mathbb{R}^{N_{var-joint}} \quad (4.446)$$

$$\frac{\partial v(\theta, \phi)}{\partial \theta} = \sum_{e_{m,i}^{kin} \in \mathcal{E}_m^{kin}} A \left\{ -2\alpha e_{m,i}^{kin}(\theta, \phi) e_{m,i}^{kin}(\theta, \phi)^T \left( \frac{\partial e_{m,i}^{kin}(\theta, \phi)}{\partial \theta} \right) + \left( \frac{\partial e_{m,i}^{kin}(\theta, \phi)}{\partial \theta} \right) \right\} \in \mathbb{R}^{6 \times N_{var-joint}} \quad (4.447)$$

$$\begin{aligned} \frac{\partial e_{m,i}^{kin}}{\partial \theta} &= K_{kin} \left\{ J_{\theta, m, i}^{kin-trg}(\theta, \phi) - J_{\theta, m, i}^{kin-att}(\theta, \phi) \right\} \\ &(m = 1, 2, \dots, N_{kin}, \quad i = 1, 2, \dots, N_{kin-dis, m}) \end{aligned} \quad (4.448)$$

ただし、

$$A = \exp(-\alpha \|e_{m,i}^{kin}(\theta, \phi)\|^2) \quad (4.449)$$

とした。

return  $\frac{\partial e^{kin}}{\partial \theta} \in \mathbb{R}^{6N_{kin} \times N_{var-joint}}$

## 5 補足

### 5.1 既存のロボット基礎クラスの拡張

joint

[class]

:super	<b>propertied-object</b>
:slots	(parent-link)
	(child-link)
	(joint-angle)
	(min-angle)
	(max-angle)
	(default-coords)
	(joint-velocity)
	(joint-acceleration)
	(joint-torque)
	(max-joint-velocity)
	(max-joint-torque)
	(joint-min-max-table)
	(joint-min-max-target)

**:child-link** &rest args

[method]

Returns child link of this joint. If any arguments is set, it is passed to the child-link.

Override to support the case that child-link is cascaded-link instantiate. Return the root link of child cascaded-link instantiate in that case.

**:axis-vector**

[method]

Return joint axis vector. Represented in world coordinates.

return  $\mathbf{a}_i \in \mathbb{R}^3$

**:pos**

[method]

Return joint position. Represented in world coordinates.

return  $\mathbf{p}_i \in \mathbb{R}^3$

**bodyset-link**

[class]

:super	<b>bodyset</b>
:slots	(rot)
	(pos)
	(parent)
	(descendants)
	(worldcoords)
	(manager)
	(changed)
	(geometry::bodies)
	(joint)
	(parent-link)
	(child-links)
	(analysis-level)
	(default-coords)
	(weight)
	(acentroid)

(inertia-tensor)  
(angular-velocity)  
(angular-acceleration)  
(spacial-velocity)  
(spacial-acceleration)  
(momentum-velocity)  
(angular-momentum-velocity)  
(momentum)  
(angular-momentum)  
(force)  
(moment)  
(ext-force)  
(ext-moment)

:centroid-with-fixed-child-links [method]

return  $\mathbf{p}_{cog,k} \in \mathbb{R}^3$  [mm]

**:weight-with-fixed-child-links** [method]

return  $m \in \mathbb{R}$  [g]

:mg [method]

return  $mg = \|m\mathbf{g}\| \in \mathbb{R}$  [N]

**:mg-vec** [method]

return  $mg \in \mathbb{R}^3$  [N]

**cascaded-link** [class]

:super	<b>cascaded-coords</b>
:slots	(rot)
	(pos)
	(parent)
	(descendants)
	(worldcoords)
	(manager)
	(changed)
	(links)
	(joint-list)
	(bodies)
	(collision-avoidance-links)
	(end-coords-list)

```
(joint-list (mapcar #'(lambda (mt) (send-all (send self :link-list (send mt :pa
(transform-coords (mapcar #'(lambda (mt) (make-coords)) move-target))
(translation-axis (mapcar #'(lambda (mt) t) move-target))
(rotation-axis (mapcar #'(lambda (mt) t) move-target))
```

*union-joint-list* list of all joints considered in jacobian. column num of jacobian is same with length of *union-joint-list*.

*move-target* list of move-target.

*joint-list* list of joint-list which is contained in each chain of move-target.

*transform-coords* list of transform-coords of each move-target.

*translation-axis* list of translation-axis of each move-target.

*rotation-axis* list of rotation-axis of each move-target.

Get jacobian matrix from following two information: (1) union-joint-list and (2) list of move-target. One recession compared with :calc-jacobian-from-link-list is that child-reverse is not supported. (Only not implemented yet because I do not need such feature in current application.)

*union-joint-list* list of all joints considered in jacobian. column num of jacobian is same with length of *union-joint-list*.

Get CoG jacobian matrix from union-joint-list.

**:find-link-route** to *Optional from* [method]  
Override to support the case that joint does not exist between links. Change from (send to :parent-link) to (send to :parent).

**find-fixed-child-links** *l &key joint-list* [function]  
**set-mass-property-with-fixed-child-links** *robot* [function]

## 5.2 環境と接触するロボットの関節・リンク構造

## 2d-planar-contact

## :super cascaded-link

:slots (\_contact-coords  $T_{cnt}$ )

(\_contact-pre-coords  $T_{cnt-pre}$ )

二次元平面上の長方形領域での接触座標を表す仮想の関節・リンク構造。

**:init** &key (name contact) [method]  
                  (contact-pre-offset 100)

Initialize instance

**:contact-coords** &rest args  
 return  $T_{\text{cont}} := \{p_1, \dots, R_{\text{cont}}\}$

**:contact-pre-coords** *&rest args* [method]  
 return  $T_{cnt-pre} := \{\mathbf{p}_{cnt-pre}, \mathbf{R}_{cnt-pre}\}$

**:set-from-face** *&key (face)* [method]  
*(margin 150.0)*

set coords and min/max joint angle from face.

**look-at-contact** [class]  
 :super    **cascaded-link**  
 :slots    (*\_contact-coords*  $T_{cnt}$ )

ある点を注視するためのカメラ座標を表す仮想の関節・リンク構造 .

**:init** *&key (name look-at)* [method]  
*(target-pos (float-vector 0 0 0))*  
*(camera-axis :z)*  
*(angle-of-view 30.0)*

Initialize instance

**:contact-coords** *&rest args* [method]  
 return  $T_{cnt} := \{\mathbf{p}_{cnt}, \mathbf{R}_{cnt}\}$

**robot-environment** [class]  
 :super    **cascaded-link**  
 :slots    (*\_robot*  $\mathcal{R}$ )  
*(\_robot-with-root-virtual  $\hat{\mathcal{R}}$ )*  
*(\_root-virtual-joint-list list of root virtual joint)*  
*(\_contact-list  $\{\mathcal{C}_1, \mathcal{C}_2, \dots, \mathcal{C}_{N_C}\}$ )*  
*(\_variant-joint-list  $\mathcal{J}_{var}$ )*  
*(\_invariant-joint-list  $\mathcal{J}_{invar}$ )*  
*(\_drive-joint-list  $\mathcal{J}_{drive}$ )*

ロボットとロボット・環境間の接触のクラス .

以下を合わせた関節・リンク構造に関するメソッドが定義されている .

1. 浮遊ルートリンクのための仮想関節付きのロボットの関節
2. 接触位置を定める仮想関節

関節・リンク構造を定めるために、初期化時に以下を与える

**robot**  $\mathcal{R}$  ロボット (cascaded-link クラスのインスタンス) .

**contact-list**  $\{\mathcal{C}_1, \mathcal{C}_2, \dots, \mathcal{C}_{N_C}\}$  接触 (2d-planar-contact クラスなどのインスタンス) のリスト .

ロボット  $R$  に、浮遊ルートリンクの変位に対応する仮想関節を付加した仮想関節付きロボット  $\hat{\mathcal{R}}$  を内部で保持する .

<b>:init</b> $\mathcal{E}$ key (robot)	[method]
(contact-list)	
(root-virtual-mode :6dof)	
(root-virtual-joint-class-list)	
(root-virtual-joint-axis-list)	
(root-virtual-joint-min-angle-list)	
(root-virtual-joint-max-angle-list)	
Initialize instance	
<b>:dissoc-root-virtual</b>	[method]
dissoc root virtual parent/child structure.	
<b>:init-pose</b>	[method]
set zero joint angle.	
<b>:robot</b> $\mathcal{E}$ rest args	[method]
return $\mathcal{R}$	
<b>:robot-with-root-virtual</b> $\mathcal{E}$ rest args	[method]
return $\hat{\mathcal{R}}$	
<b>:contact-list</b> $\mathcal{E}$ rest args	[method]
return $\{\mathcal{C}_1, \mathcal{C}_2, \dots, \mathcal{C}_{N_C}\}$	
<b>:contact</b> name $\mathcal{E}$ rest args	[method]
return $\mathcal{C}_i$	
<b>:variant-joint-list</b> $\mathcal{E}$ optional (jl :nil)	[method]
return $\mathcal{J}_{var}$	
<b>:invariant-joint-list</b> $\mathcal{E}$ optional (jl :nil)	[method]
return $\mathcal{J}_{invar}$	
<b>:drive-joint-list</b> $\mathcal{E}$ optional (jl :nil)	[method]
return $\mathcal{J}_{drive}$	
<b>:root-virtual-joint-list</b>	[method]
return list of root virtual joint	

### 5.3 irteus の inverse-kinematics 互換関数

<b>cascaded-link</b>	[class]
:super <b>cascaded-coords</b>	
:slots     (rot)	
(pos)	
(parent)	
(descendants)	
(worldcoords)	
(manager)	

```
(changed)
(links)
(joint-list)
(bodies)
(collision-avoidance-links)
(end-coords-list)
```

```
:inverse-kinematics-optmotionogen target-coords &key (stop 50) [method]
(link-list)
(move-target)
(debug-view)
(revert-if-fail t)
(transform-coords target-coords)
(translation-axis (cond ((atom move-target) t) (t (make-list
(rotation-axis (cond ((atom move-target) t) (t (make-list
(thre (cond ((atom move-target) 1) (t (make-list (length n)
(rthre (cond ((atom move-target) (deg2rad 1)) (t (make-list
(collision-avoidance-link-pair :nil)
(collision-distance-limit 10.0)
(obstacles)
(min-loop)
(root-virtual-mode :fix)
(root-virtual-joint-min-angle-list)
(root-virtual-joint-max-angle-list)
(joint-angle-margin 0.0)
(posture-joint-list)
(posture-joint-angle-list)
(target-posture-scale 0.001)
(norm-regular-scale-max 0.01)
(norm-regular-scale-offset 1.000000e-07)
(pre-process-func)
(post-process-func)
&allow-other-keys
```

Solve inverse kinematics problem with sqp optimization. ;;; target-coords, move-target, rotation-axis, translation-axis ;;; - $\zeta$  both list and atom OK. target-coords : The coordinate of the target that returns coordinates. Use a list of targets to solve the IK relative to multiple end links simultaneously. Function is not available to target-coords. link-list : List of links to control. When the target-coords is list, this should be a list of lists. move-target : Specify end-effector coordinate. When the target-coords is list, this should be list too. stop : Maximum number for IK iteration. Default is 50. debug-view : Set t to show debug message and visualization. Use :no-message to just show the irtview image. Default is nil. revert-if-fail : Set nil to keep the angle posture of IK solve iteration. Default is t, which return to original position when IK fails. translation-axis : :x :y :z for constraint along the x, y, z axis. :xy :yz :zx for plane. Default is t. rotation-axis : Use nil for position only IK. :x, :y, :z for the constraint around axis with plus direction. When the target-coords is list, this should be list too. Default is t.

thre : Threshold for position error to terminate IK iteration. Default is 1 [mm]. rthre : Threshold for rotation error to terminate IK iteration. Default is 0.017453 [rad] (1 deg).

## cascaded-link

[class]

:super	<b>cascaded-coords</b>
:slots	(rot)
	(pos)
	(parent)
	(descendants)
	(worldcoords)
	(manager)
	(changed)
	(links)
	(joint-list)
	(bodies)
	(collision-avoidance-links)
	(end-coords-list)

## :inverse-kinematics-trajectory-optmotiongen target-coords-list &key (stop 50) [method]

```
(move-target-list)
(debug-view)
(revert-if-fail t)
(transform-coords-list :nil)
(translation-axis-list :nil)
(rotation-axis-list :nil)
(thre 1.0)
(rthre (deg2rad 1))
(thre-list :nil)
(rthre-list :nil)
(collision-avoidance-link-pair :nil)
(collision-distance-limit 10.0)
(obstacles)
(min-loop)
(root-virtual-mode :fix)
(root-virtual-joint-invariant? nil)
(root-virtual-joint-min-angle-list)
(root-virtual-joint-max-angle-list)
(joint-angle-margin 0.0)
(posture-joint-list (make-list (length target-coords-list)))
(posture-joint-angle-list (make-list (length target-coords-list)))
(norm-regular-scale-max 0.001)
(norm-regular-scale-offset 1.000000e-07)
(adjacent-regular-scale 0.0)
(pre-process-func)
```

*(post-process-func)*  
*&allow-other-keys*

Solve inverse kinematics problem with sqp optimization. target-coords-list : The coordinate of the target that returns coordinates. Use a list of targets to solve the IK relative to multiple end links simultaneously. Function is not available to target-coords. move-target-list : Specify end-effector coordinate. When the target-coords is list, this should be list too. stop : Maximum number for IK iteration. Default is 50. debug-view : Set t to show debug message and visualization. Use :no-message to just show the irtview image. Default is nil. revert-if-fail : Set nil to keep the angle posture of IK solve iteration. Default is t, which return to original position when IK fails. translation-axis-list : :x :y :z for constraint along the x, y, z axis. :xy :yz :zx for plane. Default is t. rotation-axis-list : Use nil for position only IK. :x, :y, :z for the constraint around axis with plus direction. When the target-coords is list, this should be list too. Default is t. thre : Threshold for position error to terminate IK iteration. Default is 1 [mm]. rthre : Threshold for rotation error to terminate IK iteration. Default is 0.017453 [rad] (1 deg).

## robot-model

[class]

:super	<b>cascaded-link</b>
:slots	(rot) (pos) (parent) (descendants) (worldcoords) (manager) (changed) (links) (joint-list) (bodies) (collision-avoidance-links) (end-coords-list) (larm-end-coords) (rarm-end-coords) (lleg-end-coords) (rleg-end-coords) (head-end-coords) (torso-end-coords) (larm-root-link) (rarm-root-link) (lleg-root-link) (rleg-root-link) (head-root-link) (torso-root-link) (larm-collision-avoidance-links) (rarm-collision-avoidance-links) (larm) (rarm) (lleg)

```
(rleg)
(torso)
(head)
(force-sensors)
(imu-sensors)
(cameras)
(support-polygons)
```

**:limb** *limb method &rest args*

[method]

Extend to support to call :inverse-kinematics-optmotiongen.

**contact-ik-arg**

[class]

:super	<b>cascaded-link</b>
:slots	(_contact-coords $T_{cnt}$ )

inverse-kinematics-optmotiongen の *target-coords*, *translation-axis*, *rotation-axis*, *transform-coords* 引数に対応する接触座標を表す仮想の関節・リンク構造。

**:init** *&key (target-coords)*

[method]

```
(translation-axis)
(rotation-axis)
(transform-coords target-coords)
(name (send target-coords :name))
```

Initialize instance

**:contact-coords** *&rest args*

[method]

```
return  $T_{cnt} := \{p_{cnt}, R_{cnt}\}$ 
```

**ik-arg-axis->axis-list** *ik-arg-axis*

[function]

Convert translation-axis / rotatoin-axis to axis list.

**generate-contact-ik-arg-from-rect-face** *&key (rect-face)*

[function]

```
(name (send rect-face :name))
(margin (or (send rect-face :get :margin) 0))
```

Generate contact-ik-arg instance from rectangle face.

**generate-contact-ik-arg-from-line-segment** *&key (line-seg)*

[function]

```
(name (send line-seg :name))
(margin (or (send line-seg :get :margin) 0))
```

Generate contact-ik-arg instance from line segment.

**axis->index** *axis*

[function]

**axis->sgn** *axis*

[function]

## 5.4 関節トルク勾配の計算

*contact-coords* に対応する接触部位の番号を  $m$  とする。*contact-coords* の位置を  $p_m \in \mathbb{R}^3$  , *drive-joint-list* の関節角度ベクトルを  $\psi \in \mathbb{R}^{(N_{\text{drive-joint}})}$  として, 次式を満たすヤコビ行列  $J_m$  を返す .

$$\mathbf{J}_m = \begin{pmatrix} \mathbf{j}_m^{(1)} & \mathbf{j}_m^{(2)} & \cdots & \mathbf{j}_m^{(N_{drive-joint})} \end{pmatrix} \quad (5.1)$$

$$\mathbf{j}_m^{(i)} = \begin{cases} \bar{\mathbf{j}}_m^{(i)} & \text{接触リンクが } i \text{ 番目の駆動関節変位 } \psi_i \text{ に依存している場合} \\ \mathbf{0} & \text{otherwise} \end{cases} \quad (5.2)$$

$\vec{j}_m^{(i)}$  は基礎ヤコビ行列の列ベクトルで次式で表される .

$\psi_i$  が回転関節の場合

$$\vec{j}_m^{(i)} = \begin{pmatrix} \mathbf{a}_{\psi_i} \times (\mathbf{p}_m - \mathbf{p}_{\psi_i}) \\ \mathbf{a}_{\psi_i} \end{pmatrix} \quad (5.3)$$

$\psi_i$  が直動関節の場合

$$\bar{\mathbf{j}}_m^{(i)} = \begin{pmatrix} \mathbf{a}_{\psi_i} \\ \mathbf{0} \end{pmatrix} \quad (5.4)$$

$a_{\psi_i}, p_{\psi_i} \in \mathbb{R}^3$  は  $i$  番目の関節の回転軸ベクトルと位置である。

return  $J_m \in \mathbb{R}^{6 \times N_{drive-joint}}$

ロボットの接触部位に加わる接触レンチによって生じる関節トルク  $\tau^{cnt}$  は、以下で得られる。

$$\boldsymbol{\tau}^{cnt} = \sum_{m=1}^{N_{cnt}} \boldsymbol{J}_m^T \boldsymbol{w}_m \quad (5.5)$$

$w_m$  は  $m$  番目の接触部位で受ける接触レンチである。

return  $\tau^{cnt} \in \mathbb{R}^{N_{drive-joint}}$

以下では、 $p_B^A$  は  $A$  から  $B$  へ向かう位置ベクトルをワールド座標系で表記したものとする。 $A, B$  は、

*drive-joint-list* の関節位置  $\psi_i$  , *joint-list* の関節位置  $\theta_i$  , *contact-coords* の位置  $m$  のいずれかを指す .

$$\frac{\partial \boldsymbol{\tau}^{cnt}}{\partial \boldsymbol{\theta}} = \frac{\partial}{\partial \boldsymbol{\theta}} \sum_{m=1}^{N_{cnt}} \boldsymbol{J}_m^T \boldsymbol{w}_m \quad (5.6)$$

$$= \frac{\partial}{\partial \boldsymbol{\theta}} \sum_{m=1}^{N_{cnt}} \left( \boldsymbol{j}_m^{(1)} \quad \boldsymbol{j}_m^{(2)} \quad \cdots \quad \boldsymbol{j}_m^{(N_{drive-joint})} \right)^T \boldsymbol{w}_m \quad (5.7)$$

$$= \sum_{m=1}^{N_{cnt}} \frac{\partial}{\partial \boldsymbol{\theta}} \begin{pmatrix} \boldsymbol{w}_m^T \boldsymbol{j}_m^{(1)} \\ \boldsymbol{w}_m^T \boldsymbol{j}_m^{(2)} \\ \vdots \\ \boldsymbol{w}_m^T \boldsymbol{j}_m^{(N_{drive-joint})} \end{pmatrix} \quad (5.8)$$

$$= \sum_{m=1}^{N_{cnt}} \left[ \boldsymbol{w}_m^T \frac{\partial}{\partial \theta_j} \boldsymbol{j}_m^{(i)} \right]_{i,j} \quad (i = 1, 2, \dots, N_{drive-joint}, \quad j = 1, 2, \dots, N_{joint}) \quad (5.9)$$

したがって , 各接触力によるトルクのヤコビ行列の各要素は次式で得られる .

$\psi_i$  が回転関節の場合

$$\boldsymbol{w}_m^T \frac{\partial}{\partial \theta_j} \boldsymbol{j}_m^{(i)} = \begin{pmatrix} \boldsymbol{f}_m \\ \boldsymbol{n}_m \end{pmatrix}^T \frac{\partial}{\partial \theta_j} \begin{pmatrix} \boldsymbol{a}_{\psi_i} \times \boldsymbol{p}_m^{\psi_i} \\ \boldsymbol{a}_{\psi_i} \end{pmatrix} \quad (5.10)$$

$$= \boldsymbol{f}_m^T \frac{\partial}{\partial \theta_j} (\boldsymbol{a}_{\psi_i} \times \boldsymbol{p}_m^{\psi_i}) + \boldsymbol{n}_m^T \frac{\partial}{\partial \theta_j} \boldsymbol{a}_{\psi_i} \quad (5.11)$$

$$= \boldsymbol{f}_m^T \left\{ \left( \frac{\partial}{\partial \theta_j} \boldsymbol{a}_{\psi_i} \right) \times \boldsymbol{p}_m^{\psi_i} + \boldsymbol{a}_{\psi_i} \times \left( \frac{\partial}{\partial \theta_j} \boldsymbol{p}_m - \frac{\partial}{\partial \theta_j} \boldsymbol{p}_{\psi_i} \right) \right\} + \boldsymbol{n}_m^T \frac{\partial}{\partial \theta_j} \boldsymbol{a}_{\psi_i} \quad (5.12)$$

$\psi_i$  が直動関節の場合

$$\boldsymbol{w}_m^T \frac{\partial}{\partial \theta_j} \boldsymbol{j}_m^{(i)} = \begin{pmatrix} \boldsymbol{f}_m \\ \boldsymbol{n}_m \end{pmatrix}^T \frac{\partial}{\partial \theta_j} \begin{pmatrix} \boldsymbol{a}_{\psi_i} \\ \mathbf{0} \end{pmatrix} \quad (5.13)$$

$$= \boldsymbol{f}_m^T \frac{\partial}{\partial \theta_j} \boldsymbol{a}_{\psi_i} \quad (5.14)$$

$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \boldsymbol{a}_{\psi_i}$  (*drive-jnt-axis-derivative*) ,  $\frac{\partial}{\partial \theta_j} \boldsymbol{p}_{\psi_i}$  (*drive-jnt-pos-derivative*) は以下のように計算される .

(A) 関節  $\theta_j$  が関節  $\psi_i$  よりもルートリンクに近いとき , もしくは関節  $\theta_j$  と関節  $\psi_i$  が同一のとき ,

(I) 関節  $\theta_j$  が回転関節のとき , 回転系での基礎方程式から ,

$$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \boldsymbol{a}_{\psi_i} = \boldsymbol{a}_{\theta_j} \times \boldsymbol{a}_{\psi_i} \quad (5.15)$$

$$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \boldsymbol{p}_{\psi_i} = \boldsymbol{a}_{\theta_j} \times \boldsymbol{p}_{\psi_i}^{\theta_j} \quad (5.16)$$

(II) 関節  $\theta_j$  が直動関節のとき

$$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \boldsymbol{a}_{\psi_i} = \mathbf{0} \quad (5.17)$$

$$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \boldsymbol{p}_{\psi_i} = \boldsymbol{a}_{\theta_j} \quad (5.18)$$

(B) (A) でないとき , つまり

関節  $\psi_i$  が関節  $\theta_j$  よりもルートリンクに近いとき , もしくは , ルートリンクから関節  $\theta_j$  までの間にルートリンクから関節  $\psi_i$  までの間に共通の関節が存在しないとき , 関節  $\theta_j$  の変化は関節  $\psi_i$  の位置 , 回転軸のベクトルに影響を与えないため ,

$$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \boldsymbol{a}_{\psi_i} = \mathbf{0} \quad (5.19)$$

$$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \boldsymbol{p}_{\psi_i} = \mathbf{0} \quad (5.20)$$

$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{p}_m$  (contact-pos-derivative) は以下のように計算される .

(a) 関節  $\theta_j$  の変位が  $\mathbf{p}_m$  に影響を与えるとき (このパターンは contact-target-coords が仮想関節の先にが設置されている場合などに発生する)

(i) 関節  $\theta_j$  が回転関節のとき

$$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{p}_m = \mathbf{a}_{\theta_j} \times \mathbf{p}_m^{\theta_j} \quad (5.21)$$

(ii) 関節  $\theta_j$  が直動関節のとき

$$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{p}_m = \mathbf{a}_{\theta_j} \quad (5.22)$$

(b) (a) でないとき , つまり

関節  $\theta_j$  の変位が  $\mathbf{p}_m$  に影響を与えないとき

$$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{p}_m = \mathbf{0} \quad (5.23)$$

return  $\frac{\partial \boldsymbol{\tau}^{cnt}}{\partial \boldsymbol{\theta}} \in \mathbb{R}^{N_{drive-joint} \times N_{joint}}$

**get-link-jacobian-for-gravity-torque** &key (robot) [function]  
 (drive-joint-list)  
 (gravity-link)

gravity-link のリンク番号を  $k$  とする . gravity-link の重心位置を  $\mathbf{p}_{cog,k} \in \mathbb{R}^3$  , drive-joint-list の関節角度ベクトルを  $\psi \in \mathbb{R}^{N_{drive-joint}}$  として , 次式を満たすヤコビ行列  $\mathbf{J}_{cog,k}$  を返す .

$$\dot{\mathbf{p}}_{cog,k} = \mathbf{J}_{cog,k} \dot{\psi} = \sum_{i=1}^{N_k} \bar{\mathbf{j}}_{cog,k}^{(i)} \dot{\psi}_i \quad (5.24)$$

$$\mathbf{J}_{cog,k} = \left( \mathbf{j}_{cog,k}^{(1)} \quad \mathbf{j}_{cog,k}^{(2)} \quad \cdots \quad \mathbf{j}_{cog,k}^{(N_{drive-joint})} \right) \quad (5.25)$$

$$\mathbf{j}_{cog,k}^{(i)} = \begin{cases} \bar{\mathbf{j}}_{cog,k}^{(i)} & \text{gravity-link が } i \text{ 番目の駆動関節変位 } \psi_i \text{ に依存している場合} \\ \mathbf{0} & \text{otherwise} \end{cases} \quad (5.26)$$

$\bar{\mathbf{j}}_{cog,k}^{(i)}$  は基礎ヤコビ行列の列ベクトルで次式で表される .

$\psi_i$  が回転関節の場合

$$\bar{\mathbf{j}}_{cog,k}^{(i)} = \mathbf{a}_{\psi_i} \times (\mathbf{p}_{cog,k} - \mathbf{p}_{\psi_i}) \quad (5.27)$$

$\psi_i$  が直動関節の場合

$$\bar{\mathbf{j}}_{cog,k}^{(i)} = \mathbf{a}_{\psi_i} \quad (5.28)$$

$\mathbf{a}_{\psi_i}, \mathbf{p}_{\psi_i} \in \mathbb{R}^3$  は  $i$  番目の関節の回転軸ベクトルと位置である .

return  $\mathbf{J}_{cog,k} \in \mathbb{R}^{3 \times N_{drive-joint}}$

**get-gravity-torque** &key (robot) [function]  
 (drive-joint-list)  
 (gravity-link-list)

ロボットのリンク自重によって生じる関節トルク  $\tau^{grav}$  は、ロボットモーション P111 式 (3.3.22) より以下で得られる。

$$\boldsymbol{\tau}^{grav} = \left( \sum_{k=1}^{N_{gravity-link}} m_k \mathbf{J}_{cog,k}^T \right) \mathbf{g} \quad (5.29)$$

$m_k$  は  $k$  番目のリンクの質量である。

return  $\boldsymbol{\tau}^{grav} \in \mathbb{R}^{N_{drive-joint}}$

**get-gravity-torque-jacobian &key (robot)** [function]  
 (joint-list)  
 (drive-joint-list)  
 (gravity-link-list)

$$\frac{\partial \boldsymbol{\tau}^{grav}}{\partial \boldsymbol{\theta}} = \frac{\partial}{\partial \theta_j} \sum_{k=1}^{N_{gravity-link}} \mathbf{J}_{cog,k}^T m_k \mathbf{g} \quad (5.30)$$

$$= \frac{\partial}{\partial \theta_j} \sum_{k=1}^{N_{gravity-link}} \begin{pmatrix} \mathbf{j}_{cog,k}^{(1)} & \mathbf{j}_{cog,k}^{(2)} & \cdots & \mathbf{j}_{cog,k}^{(N_{drive-joint})} \end{pmatrix}^T m_k \mathbf{g} \quad (5.31)$$

$$= \sum_{k=1}^{N_{gravity-link}} \frac{\partial}{\partial \theta_j} \begin{pmatrix} m_k \mathbf{g}^T \mathbf{j}_{cog,k}^{(1)} \\ m_k \mathbf{g}^T \mathbf{j}_{cog,k}^{(2)} \\ \vdots \\ m_k \mathbf{g}^T \mathbf{j}_{cog,k}^{(N_{drive-joint})} \end{pmatrix} \quad (5.32)$$

$$= \sum_{k=1}^{N_{gravity-link}} \left[ m_k \mathbf{g}^T \frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{j}_{cog,k}^{(i)} \right]_{i,j} \quad (i = 1, 2, \dots, N_{drive-joint}, \quad j = 1, 2, \dots, N_{joint}) \quad (5.33)$$

したがって、各リンクの重力によるトルクのヤコビ行列の各要素は次式で得られる。

$k$  番目の gravity-link-list が  $i$  番目の駆動関節変位  $\psi_i$  に依存していない場合

$$m_k \mathbf{g}^T \frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{j}_{cog,k}^{(i)} = 0 \quad (5.34)$$

$k$  番目の gravity-link-list が  $i$  番目の駆動関節変位  $\psi_i$  に依存していて、 $\psi_i$  が回転関節の場合

$$m_k \mathbf{g}^T \frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{j}_{cog,k}^{(i)} = m_k \mathbf{g}^T \frac{\partial}{\partial \theta_j} (\mathbf{a}_{\psi_i} \times \mathbf{p}_{cog,k}^{\psi_i}) \quad (5.35)$$

$$= m_k \mathbf{g}^T \left\{ \left( \frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{a}_{\psi_i} \right) \times \mathbf{p}_{cog,k}^{\psi_i} + \mathbf{a}_{\psi_i} \times \left( \frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{p}_{cog,k} - \frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{p}_{\psi_i} \right) \right\} \quad (5.36)$$

$k$  番目の gravity-link-list が  $i$  番目の駆動関節変位  $\psi_i$  に依存していて、 $\psi_i$  が直動関節の場合

$$m_k \mathbf{g}^T \frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{j}_{cog,k}^{(i)} = m_k \mathbf{g}^T \frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{a}_{\psi_i} \quad (5.37)$$

$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{a}_{\psi_i}$  (drive-jnt-axis-derivative),  $\frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{p}_{\psi_i}$  (drive-jnt-pos-derivative) は以下のように計算される。

(A) 関節  $\theta_j$  が関節  $\psi_i$  よりもルートリンクに近いとき、もしくは関節  $\theta_j$  と関節  $\psi_i$  が同一のとき、

(I) 関節  $\theta_j$  が回転関節のとき、回転系での基礎方程式から、

$$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{a}_{\psi_i} = \mathbf{a}_{\theta_j} \times \mathbf{a}_{\psi_i} \quad (5.38)$$

$$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{p}_{\psi_i} = \mathbf{a}_{\theta_j} \times \mathbf{p}_{\psi_i}^{\theta_j} \quad (5.39)$$

(II) 関節  $\theta_j$  が直動関節のとき

$$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{a}_{\psi_i} = \mathbf{0} \quad (5.40)$$

$$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{p}_{\psi_i} = \mathbf{a}_{\theta_j} \quad (5.41)$$

(B) (A) でないとき , つまり

関節  $\psi_i$  が関節  $\theta_j$  よりもルートリンクに近いとき , もしくは , ルートリンクから関節  $\theta_j$  までの間にルートリンクから関節  $\psi_i$  までの間に共通の関節が存在しないとき , 関節  $\theta_j$  の変化は関節  $\psi_i$  の位置 , 回転軸のベクトルに影響を与えないため ,

$$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{a}_{\psi_i} = \mathbf{0} \quad (5.42)$$

$$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{p}_{\psi_i} = \mathbf{0} \quad (5.43)$$

$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{p}_{cog,k}$  (*centroid-derivative*) は以下のように計算される .

(a)  $k$  番目の *gravity-link-list* が  $j$  番目の関節変位  $\theta_j$  に依存しているとき

(i) 関節  $\theta_j$  が回転関節のとき

$$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{p}_{cog,k} = \mathbf{a}_{\theta_j} \times \mathbf{p}_{cog,k}^{\theta_j} \quad (5.44)$$

(ii) 関節  $\theta_j$  が直動関節のとき

$$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{p}_{cog,k} = \mathbf{a}_{\theta_j} \quad (5.45)$$

(b) (a) でないとき , つまり

$k$  番目の *gravity-link-list* が  $j$  番目の関節変位  $\theta_j$  に依存していないとき

$$\frac{\partial}{\partial \theta_j} \mathbf{p}_{cog,k} = \mathbf{0} \quad (5.46)$$

return  $\frac{\partial \boldsymbol{\tau}^{grav}}{\partial \boldsymbol{\theta}} \in \mathbb{R}^{N_{drive-joint} \times N_{joint}}$